

五、水 戸

(1) 一般右翼團體

葵 會

事務所 東茨城郡常磐村二、一〇三ノ二
 創立 大正十二年九月
 系 統 國家主義
 關係團體 春秋會
 資金ノ出所 會員ノ負擔
 背後ノ人物 徳川圀順、菊地謙二郎
 幹部及主 幹事―石川銳二、西郷三郎、森孝
 ナル會員 數 五九名
 主ナル行動
 一、常磐神社瑞龍山ノ參拜講演會座談會ヲ開催シ時々會合ス
 一、昭和七年四月一日役員ノ改選ヲ行ヒ、同年五月二十一日座談會ヲ開催シ席上三反主義ヲ以テ進ムベク協議セリ

其ノ他參考事項

一、大正十二年九月帝都大震災ノ際舊藩主徳川家羅災ノ爲之レガ見舞ノ目的ヲ以テ水戸在住舊藩士等會合シタルヲ其ノ儘葵會ト名稱シ爾來親睦的會合ヲナシツツアリタリ、然ルニ最近ノ社會狀勢ニ鑑ミ思想善導三反主義ニ則リ純國粹主義ヲ以テ座談會等ヲ開催シ國家主義者ヲ輩出スルニ至レリ

皇 風 會

事務所 眞壁郡下妻町大字下妻乙四一四
 創立 大正十五年十一月十五日
 系 統 國粹主義
 資金ノ出所 入會費(通常會員一圓、特別會員三圓)及寄附ニ依ル
 背後ノ人物 加藤玄智、河野省三、佐藤鐵太郎
 幹部及主 幹事―松本源祐
 ナル會員 數 五、〇二名
 主ナル行動
 明治天皇ノ鴻大無窮ナル聖德ヲ欽仰シ、萬世不磨ノ聖訓タル御製ヲ奉體シ、國民思想ノ善導ヲ圖ルヲ目的トス
 一、眞壁郡關本町、黒子、河内、其ノ他附近各町村ニ支部ヲ組織シ、支部長ニハ町村長若ハ小

學校長ヲ推シ、廣ク會員ヲ勸誘シ年一回乃至二回ノ會合ヲナシ御製ノ朗讀講演ヲナス
其ノ他參考事項

二七八

一、事業

本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ(會則第二條)

一、本會ノ謹選ニ係ル御製集ヲ會員ニ配布シ會員ハ毎日三首以上拜誦シテ實踐躬行ニ努ムルコト

二、講演會及講習會ヲ開催スルコト

三、徳行者ノ獎勵ヲ爲スコト

四、有益ナル出版物ヲ發行スルコト

五、其ノ他必要ト認メタル事項ヲ行フコト

護 國 堂

事務所 東茨城郡磯濱町宇東光臺

創立 昭和二年三月

系統 國家主義

關係團體 成章寮、愛郷會、紫山塾

資金ノ出所 水濱電車株式會社負擔

背後ノ人物 高井徳次郎、頭山滿、頭山秀三、權藤成郷、本間憲一郎、前田虎雄、宮川信篤

幹部及主 井上昭、本間憲一郎、頭山秀三、(故)小幡源之助。——古内榮司、小沼正、鈴木善

ナル會員

一、木島完之、檜山誠治、江幡勝一、村岡某、川又政雄、岩田一、永井正、峯四郎、

黒澤大二、菱沼五郎、川崎長光、堀川秀雄、小野田伊衛門、照沼操、黒澤金吉。(霞

ヶ浦航空隊)——藤井、鈴木、伊藤各將校等

會員數 二六名

主義綱領 日蓮宗ヲ遵奉シ國家主義社會ノ實現ヲ期セントス

主ナル行動

一、昭和二年三月水濱電車株式會社ニ於テ地方發展並乗客吸集策トシテ堂宇ヲ東茨城郡磯濱町

宇東光臺ニ建設シ、日蓮ノ肖像ト宇都宮高綱所有「御臺陀羅」ヲ安置、護國堂ト名付ケテ衆

人參拜ノ用ニ供シ堂守トシテ井上昭ヲ聘シタリ

一、井上昭ハ日號ヲ日召ト稱シ縣下各地ニ護國堂ヲ紹介スベク布教講演ヲ爲シタル結果各地ヨ

リ多數ノ參拜者蚶集スルニ至リ、之等參拜者ヲ堂内ニ導キ題目ヲ唱ヘシメ本名モ亦日蓮宗ノ

僧侶ヲ裝ヒテ題目ヲ唱ヘ或ハ附近住民ノ疾病ニ對シ加持ヲ爲シ又ハ巧ミナル座談ヲ以テ之等

信者ノ信用ヲ博スルニ至リタリ

一、井上昭ハ日蓮宗ノ僧侶ニ非ズシテ日蓮ノ研究者ニシテ日蓮宗ヲ遵奉シ眞劍ニ國事ヲ論ズル

モノナリ其ノ主張ハ皇室中心ノ國家主義ヲ標榜シ、其ノ主義ノ共鳴者紫山塾長本間憲一郎、

金鷄學院主權藤成郷等アリ護國堂ニ出入ス

一、昭和五年九月井上昭ハ護國堂ヲ解雇セラレタルガ、其ノ間護國堂ニ出入シ井上ノ指導ヲ受

SP. 249

293

SP. 249

292

二七九

I-0726

ケ又ハ其ノ主義ヲ同ジウセルモノニシテ、日蓮宗ニ歸依シ政治的批判、社會制度ノ改革等ヲ論議シタル者ハ前記本間、權藤ノ外ニ、頭山秀三、鈴木善一、古内榮司、小沼正、霞ヶ浦航空隊海軍將校等アリ、遂ニ血盟團事件五・一五事件ノ源泉ヲ爲スニ至レリ

一、井上昭解雇後堂守トシテ高崎宣亮來堂シタルモ常ニ堂内ニ於テ麻雀ヲ爲シ解雇セラレ、昭和六年七月大津政泰(當ニ十八年)堂守トシテ來堂、昭和七年六月二十五日解雇

一、昭和七年六月二十六日和田諦禪堂守トナリ現在ニ至ル

一、昭和七年七月二十三日ヨリ三日間愛國學生聯盟三原朝雄外三名ヲ宿泊セシム

其ノ他參考事項

一、護國堂ハ水濱電車株式會社ノ建設所有ニ係ルモノニシテ管理者ハ同會社專務取締役竹内勇之助ナリ

一、目下堂守トシテ居住ノ和田諦禪ハ茨城縣久慈郡譽田村久昌寺住職井上日豊ノ弟子ニシテ明治三十年九月六日生本籍熊本縣飽託郡川尻町三〇九番地東洋大學中途退學者ニシテ表面過激ノ言動ナシ

常陽明治記念會

事務所 東茨城郡磯濱町宇東光臺
創立 昭和四年四月十四日
系統 國家主義
資金ノ出所 幹部ノ寄附ニ依ル

SP. 249

294

幹部及主ナル會員

顧問―徳川圀順。會長―田中光顯。副會長―室田義文、深尾隆太郎。常務理事―大山鷹之助、横山信義、高井徳次郎。理事―井坂孝、西野元、岡澤慶太郎、竹内勇之助、福原終、江幡梧郎、鹽澤昌夫、平輪彰。幹事―加納友之助、前島平、杉浦甲子郎

會員數 五〇名

主義綱領

明治天皇ノ威徳ヲ欽仰シ國體ノ精華ヲ發揚セシムルモノトス
主ナル行動

- 一、大正十五年十月創立ヲ企圖ス
- 一、昭和四年四月十四日創立ス
- 一、昭和七年五月二十七日財團法人設立許可
- 一、昭和七年七月三十日増築落成シタルヲ以テ舊記念館ヲ明治聖像殿トシ増築建造物ヲ常陽明治記念館トス、同日之ガ開館式ヲ同所聖像殿廣場ニ於テ舉行、參列者前記幹部外地方有力者等多數アリタリ
- 一、昭和七年七月三十一日東久邇宮稔彦王殿下御成被遊

紫 山 塾

事務所 新治郡真鍋町宇臺一、三三三
創立 昭和四年四月

SP. 249

295

系 統 國家主義

關係團體 成章寮、愛郷會、黒龍會

資金ノ出所 頭山滿ノ援助ニ依リ維持ス

背後ノ人物 滿山滿、風見章、權藤成郷

幹部及主 幹長―本間憲一郎。西川英雄、岡本政治(八雲光)

ナル會員 數 一、二名

主ナル行動

一、熟長本間憲一郎ハ、夙ニ頭山滿ト親交アリ、血盟團事件五・一五事件等ニ關シ、夫等關係人ニ對シ、間接ニ後援シツツアリ

春 秋 會

事務 所 水戸市上市島見町九六五ノ二

創 立 昭和四年十一月

系 統 純日本主義

關係團體 奏會

機關紙 春秋會誌(時期ヲ定メズ隨時發行シ會員ニ頒布ス)

資金ノ出所 有志ノ寄附

幹部及主 會長―關東。機關紙編輯主任―鶴殿順吉

會 員 數 六〇名
主義綱領

趣旨ノ概要

一、歐洲輸入ノ物質的文化ノ産トシテ最近ノ思想著シク激變シタル配毒ニ對シ、神聖無比ナル國體ノ遵嚴ヲ維持シ社會ノ進運ニ貢獻スルコト

二、昭和成辰ノ國難來ニ當リ之レカ救済ヲ獨リ當路ノ爲政者及教育家ニノミ委任スルコトナク國民必須ノ禮義、信義並ニ義務心ヲ道義の感念ヲ向上セシムルコト

三、汎猶太主義ノ宣傳ニ共鳴スル輕佻奇激ノ言動ニ對シ、飽迄聖勅ヲ奉體服膺セシムルニ努力シ、獨特ノ大和民族性ヲ發揮顯彰セシムルコト

四、義烈兩公ノ高唱サレタル大義名分ニ立脚シ、水戸學ヲ鼓吹シ猜疑、嫉妬ヲ排斥シ、共同精神ヲ發揚セシメ、水戸人ノ心胸ヲ明ルク正シク開拓スルコト

五、無力ナラサル然モ暴力ナラサル正義ノ旗幟下ニ人格ヲ尊重シ、市民ノ超然的覺醒ヲ促シ、自治的改善ヲ圖ルコト

綱 領

一、聖訓ニ遵ヒ國體ヲ擁護シ、皇國ノ隆盛ヲ企圖センコトヲ期ス

二、道義ヲ尊ヒ、時弊ヲ矯正シ、郷土ノ美德ヲ發揚センコトヲ期ス

主ナル行動

一、毎年春秋二回宛總會ヲ開催シツツアリタルガ、昭和七年七月十日會長關東方ニ臨時會合ヲ

ナシ、最近ニ於ケル社會狀勢ニ鑑ミ規約ニ基ヅク行動ヲ積極的ニナサントシ「敢テ我春秋會ニ聲援ヲ仰ク」ト題スル印刷物ヲ作成關係方面並ニ地方有志ニ發送セリ
一、又年二回發行ノ機關紙「有保證新聞」ヲ發刊會員ニ頒布シツツアリ
其ノ他參考事項

一、本會ハ退役陸軍歩兵大佐關東ノ主宰スルモノナルカ、昭和元年十二月中同志數名ト共ニ舊友會ヲ組織シ親睦的團體タリシ處、昭和四年十一月本縣下ニ於テ施行ノ陸軍特別大演習ニ際シ今上陛下行幸ヲ記念スベク春秋會ト改稱スルニ至リタリ、而シテ最近ノ社會狀勢ニ鑑ミ思想善導ヲ目標トスト稱シツツアルモ、會長關ノ言動矯激ナル爲憂國團體ト評サルルニ至レリ

水戸學朗讀會

事務所 水戸市常磐神崎五、九一七
創立 昭和五年十一月
系統 國家主義
資金ノ出所 會長ノ負擔
幹部及主 會長一雨谷毅
ナル會員 數 三〇名
主義綱領

SP. 249 298

水戸學ヲ鼓吹スル目的ヲ以テ之ヲ釋義朗讀スルヲ本旨トスルト雖國家主義ヲ主張シツツアリ
主ナル行動

一、隨時會員ノ會合ヲナシ水戸學ノ朗讀研究ヲナシツツアルモ會員中ヨリ國家又ハ國民社會主義者ヲ輩出シツツアリ
其ノ他參考事項

一、昭和四年三月八日本縣公會堂ニ於テ水戸學研究會ノ發會ヲナシ爾來彰考館ヲ事務所トシテ繼續シ居リタル處、橘孝三郎、井上日召、藤井齊、野口幹男等ノ來リ投ズルニ及ヒ同研究會ニ急進派ヲ生シ遂ニ昭和五年十一月分裂、急進派ハ水戸一洗會ヲ組織シ、保守派ハ水戸學朗讀會トシテ現在ニ至ル

(2) 農本主義團體

愛 郷 會

事務所 東茨城郡常磐村三、〇三九
創立 昭和四年十一月二十三日
關係團體 自治農民協會、農本聯盟、成章寮、紫山塾、護國堂
機關紙 農村研究
資金ノ出所 會員ヨリ毎月十錢宛徴收ス

SP. 249 299

二八五

I-0726

背後ノ人物 權藤成郷、長野朗、和合恒男、風見章
幹部及主 會長―橋孝三郎。副會長―林正三。幹部―後藤園彦、橋徳次郎、杉浦孝、林正吾、
ナル會員 大槻敬三、主ナル會員―高安政一郎、本田勇吉、後藤信彦、中井武夫
會員數 五―三名
主義綱領

二八六

愛郷運動綱領

一、大本

- (1) 愛郷運動ハ一切ノ不自然ト不合理ト腐敗情落ヲ大自然本來ノ合理性ト健全状態ト神聖ヘ
ヨミカヘス爲ノモノテナクテハナラナイ
 - (2) 愛郷運動ハ一切ノ不安ト動搖ヲ土ノ安定サニシタテナホス運動テナクテハナラナイ
 - (3) 愛郷運動ハ眞心ヲ捧ケ、受ケ容レ合ヒツ諸共ニ心カラ動ク所ノ勤勞生活者ノ兄弟主義
團體ニヨツテ一切ノ創造スヘキ運動テナクテハナラナイ
- 二、政 策
- (1) 愛郷會組織擴大
 - (2) 愛郷主義純粹組合運動ノ普及及進展
 - (3) 自營的農民勤勞教育ノ創造充實
 - (4) 愛郷共濟組合ニヨル保險ノ農村社會化
 - (5) 理想部落建設

SP. 249

300

愛郷會々則

- 一、本會ハ愛郷會ト稱ス
- 二、本會ハ愛郷道ノ精神ノ開發機關タルヲ以テ使命トナシ之ヲ研究部、教育部、傳道部ノ三部
ニ分チ其ノ使命ヲ果サムカ爲ニ適切ナル各般ノ事業ヲ遂行スルヲ以テ目的トナス
- 三、本會々員ハ本會ノ使命ヲ體スルモノヲ以テナシ其ノ加入脱退ハ自由ナリトス
- 四、本會ハ之ヲ本部支部ニ分チ本部ハ茨城縣茨城郡常磐村三、〇三九兄弟村ニ置キ 支部ヲ
各地ニ置ク
- 五、本會々員ハ會費毎月一口(金拾錢)以上ヲ納メ本會カ會員ノ爲ニ起シタル各種ノ事業ニ關
與シ得ルモノトス

愛郷會々員心得大本

- 一、嘘、偽リナシニ、本氣ヲ生キテユクコト、即チ眞心ノ限リヲ盡シテ生キテ行クコト、ソノ
眞心ノ限リヲ捧ケ、受ケ容レアツテ、お互、共ニモロ共ニ手ヲ引キアツテ生キテ行クトイフ
事カ愛郷道ノ眞精神テアリマス
- 愛郷會員ノ皆様ハ、コノ愛郷道ノ眞精神ニ生キテ行ク人テナクテハナリマセン。之ヲ愛郷者
ト申シマスカ、第一ソノ愛郷者ニナツテイタカカネハナリマセン
- 二、愛郷者ハ心得大本第一ニ示ス所ニ從ツテ、何ヨリモ愛郷者ノ團結ヲ、固ク、イヤカ上ニナ
ホ堅クイタサネハナランノテアリマスカ、ソノ據リ所ヲ天地大自然ノ恩惠ノアル所ニ求メ
ナクテハ外ニソノ據リ所カナイト言フ事ヲヨクヨク御ワキマヘ下サイ

二八七

SP. 249

301

I-0726

ソシテソノ天地大自然ノ恩惠ノアル所、即チ大地ノ上ニシツカリ生活ヲ打テ立テイタタカ
ネハナリマセン

二八八

三、心得大本ノ一及ヒ二ハイツモ愛郷者トシテイツモオ忘レアツテハ相叫ハヌモノテアリマ
ス。更ニ、ソノ心得大本ノアル所ニ照シテ考ヘテ見マス、只今世ノ中ノ有様ハ、マコトニ
困ツタモノテアリマシテ、ドコヘマイリマシテモ、如何ナル事柄ヲ見マシテモ、情ナイコト
ハカリ、人ハクサリハテテ、社會ハ亡ヒサウニ思ハレマス。ソコテ、コレヲドウシテモ正シ
ク、スコヤカニ、命カケテガンバラネハナラント言フ事ガマタ愛郷者ノ最モ大キナ使命トナ
ツテマイルノテアリマシテ、愛郷會々員ノ皆様ハ、ヨク／＼ココノ所ヲ御理解下サツテ、一
大覺悟ヲ持ツテ、愛郷道眞精神ヲ現實ニ生シテイタタカネハナリマセン

愛郷會支部會員心得

一、支部會員ノ皆様ハ、セヒ愛郷會員心得大本ヲ御ノミコミ下サツテ支部ヲ起シマシタ目的使
命ノアル所ニ從ヒ、愛郷道ノ實際的ナ行者、使徒ニナツテイタタキタイ
二、ソレテ、アタリト相争フヤウナ事ハサケテイタタキタイ。ヨク敬ヒ、ヨク愛シ合ツテイタ
タキタイ。イツモキレインナ心ヲ持ツテ周圍ノタメニ奉仕シテイタタキタイ
三、相ナルヘク機械ノ利用組合トカ、共同購買トカ言フヤウナ經濟的協同運動ノ實際ヲ愛郷
道眞精神ニ基イテ起シテイタタキタイ。講演會、座談會、研究會等ヲ開キ、精神の開發ノ實際
運動ヲ大イニ起シテイタタキタイ。何事ニヨラス、爲ニナル事ハ卒先シテ起シテイタタキ
イ

SP. 249

302

四、イツモ本部トノ完全ナ連絡ヲトツテ、又各支部間トノ協同運動ヲ圓滑ニ能率的ニイタスマ
ウ務テイタタキタイ
五、イツモ農村ヲ救フモノハ農民自身以外ニナイコトヲオ忘レナク、ミツチリヤツテイタタキ
タイ
六、イツモ愛郷道眞精神ニ生キタル我々愛郷農民コソハ、眞ニ正シク、眞ニ價値アル、眞ニ幸福
ナ生活ヲ營ンテオル者テアルト同時ニ我々愛郷農民テナクテハ、只今ノ困ツタコノ世ノ中ヲ
建テ直ス者カナイント言フ自覺ヲ強ク抱イテイタタキタイ
七、イツモ／＼我々愛郷農民ノソトメヲオ忘レナイヤウニ、ソレヲ寸テモ分テモ、オ果シ下サ
ルヤウニシテイタタキタイ
八、團結第一、眞心第一、コレハ大本ニ示ス通りテアリマス。更ニヨク／＼肝心ト心得テイタ
タキタイ
以 上

主ナル行動

一、昭和六年四月事務所内ニ愛郷會ヲ設立シ、塾生十五、六名位ヲ塾内ニ寄宿セシメ農村經濟、
農村社會等ニ關スル講義ヲ爲シ、一面農園牧舍等ニ配屬セシメテ農事ノ實地指導ヲ爲シ、別
添主義、綱領ニ則ル教養ニ努メ政策ノ實現ニ努メツツアリ
一、機關紙「農村研究」ヲ發行シ全會員ニ頒布シツツアリ
一、會長自ラ講師トシテ各支部ヲ巡回講演シ會員ノ勸誘並會ノ擴大ニ努メツツアリ
一、會長ハ農本聯盟ノ常任委員トシテ該聯盟ノ目的遂行ニ努メツツアリ

二八九

SP. 249

303

I-0726

一、會長橋孝三郎ハ愛郷會創立以來農本運動ニ專念シ來リタルガ、最近ニ於ケル社會ノ狀勢ノ衰頹ヲ痛憤シ憤然起ツテ之レガ改革ヲ爲サントスルノ決意ヲ抱クニ至リシガ、當時所謂錦旗革命事件並血盟團事件ニ關係アリタル海軍中尉古賀清志、中村義雄、其ノ他思想的ニ共鳴シ居リタル一部陸海軍々人ト提携ヲ結び、現下ノ社會情勢ノ行詰レル、腐敗セル既成政黨並ニ之ヲ傀儡トセル財閥及特權階級ノ批政ニ基因スルモノナレバ之等ヲ膺懲スベク直接行動ヲ加ヘ之ヲ導火線トシテ社會改造斷行ノ全國的氣運ヲ促進セシメントスル目的ノ下ニ、昭和七年五月十五日塾生後藤信彦外十名ヲ指揮シ前記陸海軍々人ト共同シテ首相ヲ射殺シ、首相官邸外五ヶ所並東京市外淀橋變電所外四變電所ヲ襲撃シ、所謂帝都不穩事件ヲ勃發セシメタリ

一、昭和七年五月初旬以來自治農民協會、其ノ他農本主義團體ト提携シテ農村救濟三ヶ條請願運動ヲ起シ、第六十二臨時議會ヲ目標トシテ各支部ニ指令シテ之レガ賛成調印ヲ取纏メ、約千九百三十名ノ賛成調印ヲ得テ臨時議會ニ提出セリ

一、五・一五事件ニヨリ塾頭及尖銳分子ヲ失ヒタル結果其ノ活動頓ニ萎微沈衰シ指導的分子又靜觀主義ヲ採リタルヲ以テ愛郷運動ハ一時行詰ノ狀態ヲ見タリシガ、昭和七年八月頃ヨリ塾生大槻敬三及指導的分子ハ密カニ愛郷會ノ再建ニ腐心シ、實費診療所ノ開設、購買組合、畜産組合等ヲ確立シ相互扶助の提携ニヨツテ會員ノ結合ニ奔走シ居リタルトコロ、同年十月大要左ノ如キ「愛郷會再建ニ關スル具體的方針(草案)」ヲ決定シ、次イデ同年十一月機關紙「農村研究」紙上ニ於テ從來ノ靜觀的態度ヲ棄テ積極的實踐的運動ヲ展開スベキコトヲ表明シタリ

二九〇

304

SP. 249

記

一、農本主義ノ基本目的ハ反資本主義、反官治主義、反都會主義ナリ、故ニ農本運動ハ階級運動ヲ包含スル全農村運動トシテ展開セサル可ラス

農本運動ハ政治運動ヲ中心トシテ經濟運動ト文化運動ヲ兩翼トシテ進展セシムヘキモノニシテ、文化運動ノ中心ヲナスモノハ教育運動ナリ、從來愛郷塾及愛郷會ハ事實上混同セラレ居リタルカ將來ハ兩者ヲ劃然區別シ、前者ハ専ラ教育機關トシテ其ノ機能ヲ充實セシムヘキテアル

二、愛郷會ノ組織

教育、經濟、政治ノ三部門ヲ設クルコト

三、地區聯盟

從來ノ各支部ヲ以テ地區ヲ構成シ、地區ノ聯合體タル地區聯盟ヲ置キ統制ヲ圖ルコト

四、機關

最高機關ヲ總會トシ其ノ下ニ委員會及常任委員會ヲ置ク、尙事務處理ノタメ事務局、書記局等ヲ設ク

五、各部ノ使命

- (1) 教育部ハ講演會、講習會、座談會等ヲ開催シ出版物ヲ發行シテ一般農民ノ啓蒙的運動ヲ擔任スルコト
- (2) 經濟部ハ購買組合、畜産組合等ノ設置擴大、無料診療所ノ開催等一般農民經濟生活解放

二九一

SP. 249

305

I-0726

(3) 運動ヲ擔任スルコト
政治部ハ凡ユル機會ヲ捉ヘ政治的運動ニ進出シ政治的解放運動ヲ擔任スルコト

二九二

愛 郷 塾

事務所 東茨城郡常磐村三、〇三九
創立 昭和六年四月十五日
關係團體 愛郷會、自治農民協會、農本聯盟、成章寮、護國堂、紫山塾
資金ノ出所 塾生ヨリ一人毎月白米一斗現金五圓ヲ徵收ス
背後ノ人物 權藤成郷、長野明、和合恒男、風見章
幹部及主 塾長―橋孝三郎。講師―林正三、後藤園彦、杉浦孝、林正吾、橋徳太郎、春田信義
ナル會員 三六名
會員數 三六名
主義綱領
愛郷會本部ト同一
主ナル行動
一、創立以來愛郷運動ノ教育機關トシテ農本主義的教育ニ努メツツアリ
一、五・二五事件ニ對シテハ塾長橋孝三郎ヲ首領トシ塾生並幹部十名ハ之ニ參畫シタリ

SP. 249 306

六、宇 都 宮

(1) 一般右翼團體

國 華 會

事務所 上郡賀郡今市町、二宮尊武館
創立 昭和六年十二月十五日
系 統 政友會系
資金ノ出所 會費二十錢ヲ徵ス
背後ノ人物 長島源次郎
幹部及主 顧問―長島源次郎。相談役―狐塚延生吉、谷田貝兼吉。會長―尾崎彦三郎。副會長
ナル會員 一橋本美代次。會長祕書―福田正吉。經濟部長―渡邊榮次郎。記録部長―山縣國藏。
事業部長―柿沼正之。人事部長―吉新正己。幹事―阿久津佐平
會員數 二一名
主義綱領
本會ハ自衛上地方ノ治安維持人民ノ保護ニ任シ、舊來ノ陋習ヲ打開シ身心共ニ鍛練シ沈滞セル
志氣精神ヲ作興スルヲ以テ目的トス
本會ハ左ノ事業ヲ行フ

SP. 249 307

二九三

I-0726

一、身心鍛練會
 二、地方人情勢視察
 三、時局ニ關シテノ研究會
 本會ノ會員ハ會ノ趣旨目的ニ共鳴スル英氣激刺タル義心ニ富ム壯年ヲ以テ組織ス
 主ナル行動
 一、本會ハ設立後何等ノ行動ナシ、然レドモ背後ニ長島源次郎ナルモノ支援シ居ルヲ以テ事件
 ニ依リテハ過激ノ行動ヲ爲ス會ト認メラル

二九四

308

SP. 249

七、靜岡

(1) 一般右翼團體

君が代同盟

事務所 沼津市城内字添地二五八
 創立 大正十四年六月五日
 系統 國家主義
 資金ノ出所 會費一ヶ月金拾錢ヲ徵收シ尙篤志家ノ寄附ニ依リ維持ス
 幹部及主 幹事—(商)宇野秀吉、(同)黒柳源藏
 ナル會員 數 四〇〇名
 主義綱領
 我カ國固有ノ精神ヲ振作シ國體ノ精華ノ發揮スルヲ以テ目的トス
 主ナル行動
 一、創立以來行動トシテ見ルベキモノナン
 其ノ他參考事項
 一、有名無實ノ狀況

二九五

309

SP. 249

I-0726

静岡縣青年聯盟

二九六

事務所 沼津市緑町松下七反田九〇二
創立 昭和六年十二月二十日

系統 國家主義

機關紙 建設青年

資金ノ出所 會費月額十錢ヲ徵收シ其ノ他篤志家ノ寄附等

背後ノ人物 清水行之助

幹部及主ナル會員 常任委員―萩倉藤己、田代隆治、土屋六郎、根上欣二、高橋幹夫

會員數 一〇〇名

主義綱領

一、我々ハ日本ノ指導的青年ノ人格の結合ヲ計ラネハナラズ
一、今ヤ我等カ祖國ハ年若クシテ情實ニ因ハルルコトナク炎々タル敬天愛人ノ理想ニ燃ユル實
行的指導者ヲ要スルノヲアル。我國ニ於ケル大化ノ改新モ明治維新ノ大業モ更ニ露西亞、伊
太利、印度ニ於ケル近代革命モ熱血燃ユル若人ノ血潮ニ依ツテ完成セラレタルモノテ、昭和
維新ニ於ケル新日本建設コソハ我等青年ニ課セラレタ歴史の使命ヲアルト確信スル
一、我等ハ區々タル人理ヲ超越シテ天地ヲ一貫セル大法ヲ認識シ我等カ胸中ニ煌々ノ光ヲ放テ
ル良心ノ命スルママニ權威ニ屈セス、水火ヲ辭セス、地上ニ横行スル政治惡、經濟惡、社會
惡ノ一切ヲ絶滅シ眞ニ理想的の社會ヲ建設スヘク青年大衆ノ結盟ヲ提唱シ各人胸中ノ秘奧ニ相

SP. 249

310

結ヒ一日モ早く全國ニ號令シ得ル時ノ來ランコトヲ待望ス
主ナル行動

一、創立以來資金難ニテ特記スベキ事項ナカリシモ昭和七年七月ヨリ聯盟幹部ニテ静岡縣勢調
査所ヲ設置シ「自力更生」ノ資料トシテ全縣下ノ經濟等ノ調査ニ着手セリ

聖 劍 社

事務所 静岡市七間町一丁目一四

創立 大正十四年十月

系統 行地社(國家主義)

關係團體 全日本愛國者共同闘争協議會

機關紙 行地社發行ノ「日本」ヲ購讀ス

資金ノ出所 會員ヨリ支出ノ都度徵收ス

背後ノ人物 大川周明

幹部及主ナル會員 幹部―狩野敏、寺尾元成、渡邊寛治

會員數 二四名

主義綱領

一、維新日本ノ建設
二、正義仁俠

二九七

SP. 249

311

I-0726

三、武斷即大業
主ナル行動

一、創立後毎年一回行地社長大川周朋ヲ聘シ講演會、座談會ヲ開催スル外特記スベキ行動ナシ
其ノ他參考事項
一、幹部狩野敏ハ全日本愛國者共同闘争協議會副會長タリ、聖劔社會員ハ行地社機關紙「日本」ヲ購讀ス

八、長 野

(1) 一般右翼團體

愛國至誠會

事務所 松本市下横田町一、三三九番地
創立 昭和六年十月二十五日
系統 國家社會主義系
關係團體 大日本生産黨長野支部
資金ノ出所 黨員ヨリ一ヶ月十錢宛徴收シ維持ス
幹部及主ナル會員 幹事長—小松古公木。常任理事—津田正美。幹事—山田奇作。會員—二本元次郎
會員數 一〇名
主義綱領 大日本生産黨長野支部主義綱領ニ準ス
主ナル行動 一、昭和六年十月二十五日發會式ヲ舉行セルノミ
其ノ他參考事項 一、大日本生産黨八幡兼松ニ對スル個人的感情ヨリ同長野支部ヲ脱退シ一時本會ヲ創設シタ

I-0726

ルモ目下融和シ居ルモノナリ

信州郷軍同志會

事務所 松本市六九町二三七
創立 昭和七年七月二十三日

系 統 國家主義

資金ノ出所 會員ヨリ毎年一圓宛ヲ徵收ス

幹部及主

幹事長 帝國在郷軍人會松本市聯合分會長豫備陸軍三等軍醫正關重忠。專任幹事 帝國在郷軍人會松本市第七分會長豫備陸軍歩兵少將中田三雄。豫備陸軍砲兵少尉森山精一。幹事 出浦茂男、武重孝一、細田延一郎、西澤辨吉、外十五名。相談役 中原謹司

會 員 數 五〇名

主義綱領

本會ノ目的ハ重大ナル時局ニ處シ難局ヲ打開シテ國運ノ隆昌ヲ期センカ爲メ吾人在郷軍人カ忠良ナル臣民トシ國民ノ中堅トシテ如何ニ處スヘキヤヲ研究シ以テ盡忠報國ノ赤誠ヲ發現スルニアリ(規約第二條)

一、國民精神ヲ作興シ國本ヲ固クス

二、國防思想ヲ振興シ帝國々防ノ充實ヲ期ス

三〇〇

314

SP. 249

- 三、東洋永遠ノ平和ヲ確立スル爲メ滿洲國ノ發達ヲ極力援助ス
- 四、國民自力更生對策
- 五、國民民福ヲ増進スヘキ適切ナル對策(規約第三條)

趣 意 書

帝國内外ノ狀勢ハ日ニ多事多難ヲ加ヘ今ヤ未會有ノ國難ニ直面セリ、帝國ハ須ク舉國一致斷乎タル決意ヲ以テ内ハ剛健ナ國民精神ヲ振作シ、國防ヲ完備シ積年ノ改弊ヲ一掃シテ善政ノ實現ヲ圖ルト共ニ外ハ滿洲國ノ發達ヲ徹底的ニ援助シ、積極自主ノ外交ニ依リ東洋永遠ノ平和ヲ確立シ以テ國策ノ貫徹ニ邁進スヘキ秋ナリ

國防ノ重責ニ任シ國民ノ中堅タル吾人在郷軍人ハ、非常重大ノ時局ニ處シ憂國ノ至誠禁スル能ハス、自ラ其ノ本分ニ奮起スルト共ニ一致協力進シテ時代のニ活動シ、國民精神ヲ作興シテ國本ヲ固クシ、政黨政派ヲ超越シテ國論ノ正導ニ力メ、國防ノ充實ヲ期シ、政界ノ肅正ヲ圖リ、皇道布施ノ大義ニ則リ國運轉回ノ原動力トナリ以テ國體ノ精華ヲ顯揚セントス、先憂ノ士冀クハ奮テ贊同セラレンコトヲ

昭和七年五月二十九日

主ナル行動

- 一、昭和七年八月十九日東京麻布三聯隊在郷將校團藤田茂一郎外四名旅行ノ途次松本市ニ下車セルヲ機トシ幹部關重忠、中原謹司、小野祐之、松本聯隊區司令部員古志中佐等ハ同市松本館(料亭)ニ歡迎會ヲ開催、席上今後ノ同會ノ運動方針其ノ他ノ協議ヲナシタリ

三〇一

315

SP. 249

I-0726

赤化鎮壓同盟

三〇二

事務所 下水内郡柳原村大字富倉一、七八六ノ一
創立 昭和七年八月十七日

系 統 國家主義

資金ノ出所 會員ヨリ會費トシテ徵收シ其ノ他篤志家ノ寄附

幹部及主 委員長 仲條廣司。副委員長 兼會計 仲條進太郎。委員 仲條保、手塚一、丸山武、高橋幸作

會員數 三二名

主義綱領

一、我等同志ハ堅ク一致團結シ渾沌タル思想界ノ趨勢ニ鑑ミ、萬國無比ノ國體ヲ尊重シ帝國ヲシテ益健全ナラシメ萬世一系ノ皇室ヲ擁護シ以テ萬國ニ冠タルヘキコトヲ期ス
一、抑我同志ノ意思ニ基キ社會改善ノ爲メ遺憾ナク最善ノ努力ヲ拂フヲ惜マサルモノナリ、先前者ニ反スル徒輩アラハ國家ノ仇敵トナシ、我等ノ同志ハ祖國ノ爲メ如何ナル難關ニ接スルトモ敢テ辭セス反抗シ其ノ撲滅ヲ期ス

主ナル行動

一、昭和七年八月十八日宣傳ビラ約二十枚ヲ同區全般ニ頒布ス
一、同年九月五日富倉青年總會ノ席上同志ノ赤化鎮壓ニ關スル演說ヲ爲シ宣傳ビラ約五十枚ヲ同區全般ニ頒布ス

SP. 249

316

(2) 農本主義團體

日本農民協會

事務所 長野縣東筑摩郡波多村四、四一七
創立 昭和六年八月十五日

關係團體 自治農民協會

機關紙 百姓

幹部及主 文學士和合恒男、神戸八郎、和田豊作

ナル會員數 一〇六名

主義綱領

一、吾等ハ日本國體ニ基キ自治的農本政治ノ確立ヲ期ス
一、吾等ハ自治的經濟組織ノ確立ニ依リ國家社會ノ安全ヲ期ス
一、吾等ハ惟神農本文化ノ建設ニ依リ全人類ノ健全ナル發達ヲ期ス

主ナル行動

一、昭和七年四月以來自治農民協會ノ長野明ト共ニ議會ニ對スル農民救済ノ請願運動ニ從事シ、同年六月ノ臨時議會ニハ全國農民數萬(內長野縣ノミニテ約二萬五千)ノ署名ヲ得テ所謂三ヶ條ノ請願ヲ爲シ八月ノ臨時議會ニ對シテハ數萬ノ署名ヲ得テ五ヶ條ノ請願ヲ爲シタリ

三〇三

SP. 249

317

九、新 潟

(1) 一般右翼團體

愛郷青年聯盟

事務所 南蒲原郡加茂町
 創立 大正十五年九月五日
 系統 反動團體
 資金ノ出所 寄附金及會費
 幹部及主 中橋計須計
 ナル會員 數 九六名
 主義綱領

一、勞資協調セシテ農村振興セシ、故ニ我等ハ第一ニ勞資ノ協調ニ全努力ヲ捧ク
 一、非國家的思想ト極端ナル言動ハ却テ我郷土ヲ荒亂ス、故ニ我等ハ之ヲ徹底的ニ排除ス
 一、我郷ハ文化ニ遅レ時代ニ捨テラレタリ、故ニ我等ハ盛ニ各種問題ヲ研究シ以テ我郷文化ノ向上發展ニ資ス
 一、我郷ハ既ニ老廢ス、故ニ我等ハ大ニ青年ノ奮起ヲ促シソノ活躍ヲ援ケ以テ之ヲ郷土ノ中堅タラシメンコトヲ期ス

三〇四

318

SP. 249

主ナル行動

一、農民組合ノ詭激ナル宣傳運動ニ對シ反動的態度ヲ持ツツアリタリ
 一、主幹者高橋計須計所在不明トナリ自然消滅ノ形ナリ

越南興國青年聯盟

事務所 南魚沼郡六日町大字六日町
 創立 昭和二年十月九日
 系統 反動團體
 資金ノ出所 寄附金
 幹部及主 江崎補貞、小林理平、勝田一義
 ナル會員 數 五五名
 主義綱領

信 條

一、吾等ハ政治的ニ色彩ヲ有スルモノニ非ス
 一、吾等ハ皇室中心主義ヲ根本トシ君國ノ強大ヲ圖ル者テアル
 一、吾等ニ議論ノタメ議論ナシ
 一、吾等ハ己レノ力ヲ充實シテ己レヲ強クスル事ヲ計ルモノテアル
 一、吾等ハ相互ニ絶對無限ノ義務ニ服シ自ら進ンテ自己ノ權利ヲ主張シナイ

三〇五

319

SP. 249

I-0726

一、吾等ハ常ニ質素、着實、勤勉、剛健、快活ヲ旨トシ困苦缺乏ニ耐ユルヲ厭ハナイ
一、吾等ノ正義ハ大ニシテ簡ナルモノテアル
主ナル行動
一、創立後見ルベキ活動ナク自然消滅ノ形ナリ

三〇六

下越愛國青年聯盟

事務所 北蒲原郡木崎村
創立 大正十五年十一月十六日
系統 反動團體
資金ノ出所 會員及寄附金
幹部及主ナル會員 小林小右衛門
會員數 一七五名
主義綱領
一、我等ハ國民精神ノ動搖ニヨル祖國ノ前途ヲ憂フ、故ニ我等ハ建國ノ精神ニ立脚シ詭激ナル思潮ヲ排除シテ堅實ナル國運進展ニ寄與センコトヲ期ス
一、我等カ農村ハ文化ニ遅レ時代ニ捨テラレタリ、故ニ我等ハ各種問題ヲ研究シテ文化農村ノ建設ニ全努力ヲ捧ク
一、我等カ郷土ニハ争鬭相次キ隣保相セメクノ忌ムヘキ事件頻出ス、故ニ我等ハ同志ノ奮起ヲ

促シテ同胞相愛ノ實ヲ擧ケンコトヲ期ス
主ナル行動

國防充實期成同盟會

一、農民組合青年部ニ對抗スル反動團體ナルモ特記スベキ活動ナク自然消滅ノ形ナリ
事務所 高田市 商工會議所内
創立 昭和六年九月十二日
系統 國家主義
資金ノ出所 會員ノ據出ニ依リテ維持ス
幹部及主ナル會員 玉井義太郎、山口保之、川瀬慎藏、川合直次、川上大造、伊峯數雄、八木仁作、鶴見信宜、田中光義、大瀧舜治
會員數 三〇名
主義綱領
帝國々防充實ノ速進ヲ期セントス
主ナル行動
一、會員ハ將校ノミヲ以テ組織ス
二、同盟會結成ノ動機ハ軍縮ニ依リ第十四師團ガ廢止セララルル模様ニシテ高田獨立山砲隊ガ長野縣松本市又ハ宇都宮市ニ移轉セララルル風評アリ、之レガ抑止策トシテ中村大尉虐殺事件發

三〇七

SP. 249

321

SP. 249

320

I-0726

生ヲ動機ニ高田市役所並商工會議所主謀ノ下ニ設立セラレタルモノナリ

三〇八

興國會

事務所 高田市聯隊區司令部

創立 昭和六年九月二十八日

系統 國家主義

資金ノ出所 有志ノ寄附ニ依ル

背後ノ人物 現役陸軍中將中川軍藏

幹部及主 大瀧舜治、佐野丈夫、川瀬慎藏、大塚平三郎、安原鐵之助、大塚林太郎、田口薫之

ナル會員 助、駒形宇多八、市川豊太、牧野喜平治

會員數 一〇〇名

主義綱領

政黨派ヲ離レ滿蒙問題、國防問題等ヲ研究シテ民論ヲ是正シ、國論ノ一致ヲ致シ以テ皇國ノ振興ヲ計ル

主ナル行動

一、會員ハ目下聯隊區管内一市八郡ノ各聯合會分會長ヲ支部長トシ、各村在郷軍人分會長ヲ班長トシ二十歳以上ノ男女ヲ入會勸誘中ニシテ逐次増加シツツアリ

北 溟 社

SP. 249

322

事務所 新潟市西堀通四番町

創立 昭和四年六月十三日

系統 國家主義

資金ノ出所 會員ハ一ケ年五十錢ノ會費ヲ出シ不足ノ場合ハ有志ノ寄附ニ依ル

背後ノ人物 頭山滿

幹部及主 松木弘、加藤美生、松井那治、鹿野愈、新保八十平、佐藤正男、笹川加津惠、兒玉

ナル會員 三郎、北村傳吉、結城作松、長谷川長吉、逢坂軍次

會員數 八〇名

主義綱領

日本主義ヲ遵奉シ自己鍊磨ヲ目的トス

一、我等ハ自己ヲ窮メ健全ナル自己鍊磨ニ努力ス

一、我等ハ社會正義顯揚ノ爲メ任侠的行動ニ殉ス

一、我等ハ日本主義ヲ奉シ一切ノ非國民的思想並ニ反動的行爲ヲ排撃ス

主ナル行動

一、昭和六年滿蒙問題ノ勃發スルヤ是ガ權益擁護輿論喚起ノ爲メ市内數ヶ所ニ演說會ヲ開催ス其ノ他參考事項

一、顧問 新潟市仲通一番町 辯護士松木弘

一、本會ノ北村傳吉、結城作松ハ無頼ノ徒ニシテ所謂暴力團ニ類スルモノナリ

三〇九

SP. 249

323

I-0726

北越青年聯盟

事務所 南蒲原郡田上村
創立 昭和四年八月七日

系統 國家主義

關係團體 民政黨

資金ノ出所 會員ノ會費（一年五十錢）

背後ノ人物 大竹貫一、高岡忠弘、田下政治

幹部及主 高橋尙、小林貞一郎、豊田恭平、田卷佐久平、高橋時郎

ナル會員 數 八四名

主義綱領

我等ハ公正ニシテ純真ナル精神ニ立脚シ腐敗セル社會ノ淨化ニ努メ新興日本ノ建設ニ盡力セン
事ヲ期ス

一、我等ハ立憲ノ本義ヲ明カニシテ公正ニシテ穩健ナル社會ノ建設ニ努ム

一、我等ハ言論、文章ノ自由ヲ主張シ非國家思想ヲ排除ス

一、我等ハ腐敗情落ノ社會ヲ革新シ以テ帝國ノ平和ト興隆ニ貢獻セン事ヲ期ス

一、吾カ帝國ハ今ヤ幾多ノ國難ニ直面ス、故ニ我等ハ大ニ青年ノ奮起ヲ促シ其ノ活躍ヲ援ケ吾
カ帝國ノ中堅タランコトヲ期ス

主ナル行動

一、特記スベキ行動ナシ

北信俠粹團

事務所 新潟市西港町

創立 昭和六年四月五日

系統 反動團體

資金ノ出所 寄附金

幹部及主 梅原竹次郎

ナル會員 數 二三名

主義綱領

國家主義ヲ宣傳シ惡思想ヲ排除ス

主ナル行動

一、特記スベキ活動ナク本團ハ暴力團ノ類ナリ

(2) 農本主義團體

共働村落期成會

事務所 中蒲原郡鷲卷村大字東笠卷新田 丸山作司宅

創立 昭和七年五月一日

SP. 249

325

SP. 249

324

I-0726

關係團體 農本聯盟
背後ノ人物 岡本利吉
幹部及主 横野晋作、丸山作司、宮崎繁次郎、丸山久作、本間敏達、内藤清一
ナル會員 數 六名
會員 數 六名
主義綱領
一、我等ハ共働規範人完成ニ努力スル
一、我等ハ共働規範村落ノ確立ニ獅子奮迅スル

主ナル行動
一、昭和七年五月十六日農本主義ノ實際ヲ體驗スルタメ會員六名ニテ丸山作司ノ小作田一反歩ニ對シ共同田打ヲナシタリ

一、農本聯盟第一回全國協議會ニ於テ協定セル趣旨ニ基キ、裏日本ヲ一貫シテ各地方トノ連絡ヲ計ルタメ連絡員ヲ決定スル豫定ナルモ經費ノ都合上未ダ決定ノ運ニ至ラズ、當分横野晋作丸山作司ノ兩名ニテ之ガ連絡ヲ採リツツアリ
一、昭和七年五月二十七日山形縣下所在協働村落文化研究會連絡員佐藤喜代治來縣セルヲ機トシ、同日丸山作司宅ニ於テ佐藤ヲ講師トシテ共働規範村落確立並岡本利吉ノ主張スル農本主義聽取ノ座談會ヲ開催ス、會同者十餘名何レモ其ノ趣旨ニ共鳴ス
一、五月二十七日前記佐藤喜代治ヨリ山形縣下ニ於ケル狀況ヲ聽取スルト共ニ今後ノ活動方針並同志獲得等ニ關シ協議シ、同志ノ獲得ヲ計ルタメ農本聯盟本部常任委員岡本利吉ヲ招聘シ

六月二十七日頃講演會ヲ開催スルコトセリ

農民文化研究會

事務所 中蒲原郡萩川村大字結、阿部長藏方
創立 昭和七年七月二十日
關係團體 農本聯盟、先驅者同盟、共働村落期成會
資金ノ出所 會員ノ共同出資ニ依リ維持ス
幹部及主 常任委員—(書記兼對外係)小柴小太郎、(會計兼聯絡係)友坂久太郎。會員—阿部長ナル會員 數 一一名

主義綱領
一、主義綱領トシテハ決定セルモノナシ

二、目的

一、本會ハ農村問題ニ關スル思想ノ研究ヲ爲スヲ以テ目的トス
二、本會ハ會員相互ノ圓滿ヲ圖ルタメ統制者ヲ置カス、記録ヲ殘シ或ハ對外的ニ或ハ會計或ハ聯絡等々ノ必要ヨリ常任委員二名ヲ選定シ以テ本會ヲ有效ナラシム、但シ之カ任期ハ三ヶ月トス、抽籤ニヨリ決定ス
三、本會ハ初期ノ目的ヲ貫徹ノ上月一回以上座談會ヲ開催シ農村救濟、思想ノ研究及之カ討

三一三

SP. 249

327

326

SP. 249

論ヲナスコト

主ナル行動

一、創立ニ至ル迄ノ經過

中蒲原郡新津町大字蒲原寺小柴小太郎當三十年ハ、昭和三年頃ヨリ農本主義ニ共鳴シ本年三月下旬頃農本聯盟本部ヨリ機關紙「農本社會」ノ郵送ヲ受ケ之ヲ講讀シ來リ、昭和七年五月一日中蒲原郡鷺卷村ニ於テ結成セラレタル共働村落期成會ノ中心人物横野晋作等ト常ニ連絡ヲトリ主義ノ研究ヲ爲シ居リ、尙六月二十五日山形縣協働村落文化研究會幹部佐藤喜代治等ノ講演ノ爲前記鷺卷村ニ來レルヲ機トシ翌二十六日新津町ナル自宅ニ於テ同人等ヲ聘シテ座談會ヲ開催シタル結果、現下ノ農村窮乏ハ如何ニシテモ農村青年ノ自覺ト活動ニ俟タザルベカラズトナシ、中蒲原郡茨川村大字結、阿部長藏(全農組合員)ト相謀リ七月二十日阿部方ニ於テ小柴小太郎外十一名會合シ座談的ニ本研究會組織ニ關シ協議ノ結果之ガ結成ヲ見ルニ至レリ

二、主ナル行動

創立日尙淺ク見ルベキ行動ナキモ昭和七年八月十七、八兩日中蒲原郡鷺卷村共働村落期成會主催ノ下ニ開カルベキ夏季農村自治大學(講師岡本利吉)ニハ小柴小太郎、阿部長藏(二名)ヲシテ受講セシメ相當本研究會ノ活動ヲ活潑ナラシムベク努メツツアリ

有限責任六所共働社

事務所 南蒲原郡中之島大字六所丙一一五番地

創立 昭和六年八月二十日

關係團體 農本聯盟

資金ノ出所 一口一圓、現在資金五十圓

幹部及主 小杉由衛

ナル會員 數 一八名

主義綱領

中間搾取ヲ排シ萬人ノ共働共同ニヨル眞ノ理想社會ノ實現ヲ期ス

主ナル行動

本組會組織後別段特記スベキ行動ナキモ現在組合員十八名ヲ有シ一般日用品ヲ直接卸商ヨリ購入シ實費ヲ以テ組合員ニ配給シ中間小賣商人ノ利益搾取ヲ排除ノ目的ニ出タルモノニシテ組合員間ニ好評ヲ受ケツツアリ

I-0726

第二節 大阪地方

一、京 都

(1) 一般右翼團體

愛國青年會

事務所 京都市中京區釜座通夷川上ル 林弘之助方
創立 昭和三年十月七日
關係團體 國粹會、神州報國會
資金ノ出所 會員ヨリノ會費、其ノ他一般ノ寄附
背後ノ人物 中安信三郎
幹部及主 會長―大國弘吉。專任幹事―林弘之助、大橋忠吉、山崎重大郎
ナル會員 數 約五〇名(主トシテ在郷軍人)
主義綱領 主義綱領等何等制定セラレタルモノナク思想善導、精神作興ヲ爲ス修養團體ナリト主張シ從來
其ノ範圍ヲ出ヅルガ如キ行動ナカリシモ、昭和七年初メ頃ヨリ一般ニフアツシヨ的傾向據頭セ

三一七

SP. 249

330

I-0726

024

ルヨリ之ニ刺戟ヲ受ケ稍々同傾向ヲ帯ヒ來レリ
主ナル行動

- 一、昭和三年十月七日在郷軍人タル林弘之助、大橋忠吉、山崎重太郎主トナリ京都市中京區梅屋學區在郷軍人ヲ中心トシテ組織セラレ
- 一、同年十一月三日京都市内彌榮尋常小學校ニ於テ第十六師團司令部陸軍少將四王天延孝ヲ招キテ思想善導講演會ヲ開催ス
- 一、昭和四年八月二十五日服役セザル壯丁ヨリ非役壯丁稅ヲ徵シ服役家族救濟ヲ爲スベキ請願書ヲ内務陸軍兩大臣宛ニ發送ス
- 一、同年十二月一日京都市上京區日出會館ニ於テ映畫及琵琶ノ會ヲ催シ利益金百七十餘圓ヲ得、之ニ會ノ基本金ヲ加ヘテ額面二百圓ノ公債證書ヲ買ヒ財政困難打開ノ爲ト稱シテ政府ニ獻金ス
- 一、昭和六年十一月滿洲派遣軍慰問金ノ募集ヲ爲シ金三百五十餘圓ヲ得テ之ヲ第十六師團ニ送ル
- 一、昭和七年五月二十一日神州報國會ノ提唱ニ依リ同會事務所ニ於テ開催セラレタル全京都愛國團體聯合會ニ專任幹事林弘之助外三名出席、神州報國會、興國青年同盟、京大猶興學會等ト今後提携ヲ約ス

愛國社本部

事務所 伏見區深草飯食町八二五

SP. 249 331

創立 昭和七年十一月三日
 系統 大日本生産黨京都支部
 關係團體 皇國戰士同盟
 機關紙 融和時報 發行部數毎回一、〇〇〇部
 資金ノ出所 機關紙ノ販賣及廣告料ニ依リ維持ス
 背後ノ人物 西村力、横江善治郎
 ナル會員 主幹―河上利治。會員―坂本光雄、安平佐越
 會員數 一五名

主義綱領

大日本主義ヲ以テ國家ノ經綸ヲ行フニアリ

- 一、欽定憲法ニ遵ヒ君民一致ノ善政ノ徹底ヲ期ス
- 二、國家ノ進運ニ適合セザル制度、法律ノ改廢ヲ行ヒ政治機關ヲ簡易化、内鮮融和、且ツ不合理的ナル國內少數同胞ニ對スル差別觀念ノ解放ヲ期ス

主ナル行動

- 一、昭和七年十一月三日午後二時岡崎平安神宮前ニ於テ結成大會ヲ開催シ同三時散會ス
- 一、同日結成大會終了後國內少數同胞ニ對スル因襲的差別觀念ノ徹廢ニ關スルビラヲ約五、〇〇〇部作成シ市内樞要ノ場所ニ於テ通行人ニ手交配布ス

SP. 249 332

彌榮日本人同志會

三三〇

事務所 上京區北野天神森町 舌政次郎方

創立 昭和六年九月一日

關係團體 敬天愛人運動本部

資金ノ出所 會員ヨリ支出スル毎月三十錢ノ會費及寄附金等ヲ充ツ

幹部及主

實行委員長 藤田龜三郎。副委員長 澤田宗太郎。理事 北川安次郎、舌政次郎、

岸本留吉、上田松之助。第一班長 上林喜十郎。第二班長 長谷川喜久次。第三班

長 佐々木久次郎。第四班長 神川市太郎。第五班長 竹村竹治郎。第六班長 大

井吉太郎。第七班長 後藤久一郎。第八班長 淺井作治郎。第九班長 上田榮太郎。

第十班長 藤井龜之助。第十一班長 酒井勸七。第十二班長 門田利一郎。

會員數 約二〇〇名

主義綱領

別ニ綱領規約等ヲ制定セザルモ其ノ主張セル處ハ、近時我國ノ現状ヲ觀ルニ建國ノ精神ト相容
レザル共產主義思想瀾漫シ我ガ立國ノ大本タル君主制ヲ破壞シ、ソヴィエトロシヤノ如キ共
産主義國家ノ實現ヲ企圖シ皇室ニ對シテ危害ヲ加ヘ奉ラムトスル者サヘ出ムトスル狀態ニ拘ラ
ズ、我國現在ノ政治ニ携ハル政黨ハ徒ラニ黨利黨略ニノミ狂奔シ何等國民利福ヲ意トセザル結
果我カ國民大多數ノ生活ハ極度ニ貧困化シ、政治ニ對スル信頼ハ全ク地ヲ拂フニ至リ彼等共產
主義者ヲシテ益々跋扈ノ餘地ヲ與ヘ、國民思想ヲ愈々惡化セシメ正ニ國難ノ危機ニ直面ス、從

SP. 249

333

主ナル行動

一、昭和六年十一月眞博士ノ揮毫「彌榮」ノ二字ヲ染抜キタル會旗ヲ作成、市内上京區烏丸通
リ出水上ル別格官警社護王神社ニ於テ會旗入魂式ヲ舉行セリ

一、昭和七年六月六日ヨリ帝都不詳事件犯人ナル海軍將校ノ減刑ノ請願ヲ爲スベク減刑同意書

ナルモノヲ作成之ニ署名ヲ徵シタル上平沼騏一郎男、頭山滿等ノ手ヲ經テ樞密院ニ請願スヘ

ク計劃シ減刑運動ニ着手セリ

一、昭和七年六月二十五日夜藤田龜三郎外一名ハ五・一五事件犯人減刑同意書ヲ頭山滿ニ提出

シ適當ナル減刑嘆願ヲ依頼スベク東上セリ

一、同年八月二十日岡崎公會堂ニ於ケル右翼團體敬天愛人運動同人他九團體聯合ノ國難打開演

說會等ノ開催ニ當リ之ニ參加セリ

一、同年九月五日上京區北野櫻井屋ニ於ケル右翼團體聯合協議會開催ニ當リ代表トシテ藤田龜

三郎出席シ、同協議會ニ於テ右翼團體ノ提携機關タル昭和維新聯盟ノ結成ヲ見同會ヲ之ニ加

盟セシムルコトトセリ

一、同年九月十八日昭和維新聯盟主催ノ滿洲事變一週年紀念ノ宣傳タル自動車隊行進ニ參加

三三二

SP. 249

334

I-0726

セリ

改進黨青年同盟

事務所 下京區河原町通五條下ル手居町 田村方
創立 昭和七年八月二十六日

系 國家主義

幹部及主 執行委員長—田村好美。書記長—麻田淺一。統制部長—高橋寛。實踐部長—小林豊

ナル會員 信。執行委員—松本藤義、祝前良雄、堀口一雄、東義則、小野博千

會員數 約一五名

主ナル行動

- 一、元右翼團體愛國青年同志會ヲ組織シ居リタル田村好美ハ昭和七年初旬頃ヨリ國家主義運動擔頭ノ氣運ニ乗ジ改進黨青年同盟ナルモノノ組織ニ着手シ會員十五名ヲ得、昭和七年八月二十六日之ガ創立總會ヲ開催ス
- 一、同年八月二十八日頃ヨリ觀興稅反對從業員大會ノ開催ヲ目標トシテ役員等ヲ舉ゲ市内カフエー從業員等間ヲ奔走贊成調印ヲ求メ約百名ノ贊成者ヲ得タリ
- 一、同年八月三十一日「娼妓諸君ニ急告ス」ト題スル印刷物一千部ヲ作成シ市内各方面ノ遊廓地帯ニ配布セリ

敬天愛人運動本部

三三三

SP. 249

335

事務所 上京區大將軍鷹司町二四ノ二 山田主一郎方

創立 昭和五年二月十一日

機關紙 脱殻(月刊)

資金ノ出所 主唱者山田主一郎私財、其ノ他同人ノ寄附ニ依ル

幹部及主 後備陸軍歩兵大尉山田主一郎、豫備海軍少佐齋藤直幹、豫備陸軍主計監宮里熊五郎

ナル會員 會員數 約二〇名(主トシテ軍籍關係アルモノ)

主義綱領

元 義

天皇ハ天ノ表現ニシテ人類ノ核心、社會ノ中樞ナリ

理想

社會的自由ト個人ノ自由ノ一致スル全人類ノ健全ナル有機的社會ノ創造ヲ期ス

綱 領

- 一、天皇ヲ政教ノ淵源トシ維新ノ鴻業ヲ翼贊シテ其ノ發展完成ヲ期スルコト
- 二、社會ノ單位ヲ家族トシ、統治ノ單位ヲ氏子中心トスルコト
- 三、經濟ト道德ノ一致ヲ求メ土地或ハ職業ヲ與ヘテ一人ノ飢民ナカラシムルコト
- 四、社會ノ均勢ヲ正シテ保ツヘク個的膨脹ニヨリ畸型ヲ訂正スルコト
- 五、社會ノ血液タル財ノ普遍的循環ヲ正シテ血滯的財ノ偏在ヲ療治スルコト
- 六、文化向上ノ施設ヲ諮リ大衆ヲシテ齊シク其ノ澤ニ浴セシムルコト

三三三

SP. 249

336

I-0726

- 七、生産ト消費トノ均衡ヲ量リ天物人力ノ浪費ヲ避クルコト
- 八、仕事ト趣味ノ一致ヲ求メテ人心ノ暢達ヲ圖リ社會ノ安定ヲ期スルコト
- 九、職業ニ高下ヲ認メス等シク單位ヲ高メシメ機械化、奴隸化ヲラシメサルコト
- 一〇、金融、交通、通信、生産物ノ配給等統治ノ動脈タルモノハ凡ヘテ國營トスルコト
- 一一、人種平等ノ徹底ヲ期ス
- 一二、移住ノ自由ト關稅ノ撤廢ヲ期ス

三三四

主ナル行動

- 一、昭和五年二月十一日陸軍後備步兵大尉山田主一郎、豫備役陸軍主計監宮里熊五郎等中心トナリテ組織シ前記主義綱領ヲ決定ス
- 一、昭和七年六月十五日機關紙トシテ「脱殻」第一號約一千部ヲ發行シタルガ直接行動、殊ニ五・二五事件ヲ是認セムトスルガ如キ記事アリ内務大臣ヨリ注意ヲ受ケタリ
- 一、昭和五年八月十日午後八時十五分市内中京區河原町三條下ル喫茶店錦光社ニ於テ京都ニ於ケル各右翼團體ト共同シテ第六十三議會開會ニ先テ所謂愛國團體ノ意氣ヲ示スベシト爲シ、八月二十一日演說會開催及示威運動の行動ヲ計劃シ八月十一日九團體二十一名ノ出席者ヲ得テ協議會ヲ開催シタリ

興國青年同盟

事務所 下京區八條内田町六十一番地

SP. 249

337

創立 昭和七年四月二十七日

系 統 國家主義

關係團體 神州報國會、京大猶興學會、洛北青年同盟京都支部、日本新興學生協會
 資金ノ出所 會費月二十錢ヲ徵收ス
 幹部及主ナル會員 泉靜夫、田本房司、柴山滿、矢羽田慶造、高橋利夫、一宮新造、明石梅松、龜井高之助

會員數 二〇餘名

主義綱領

- 一、大日本主義ヲ奉ス
- 一、本會ハ一君萬民ノ本義ニ基キ眞日本ノ建設ヲ期ス
- 一、本會ハ新興階級ノ愛國意識高揚ニ依リ昭和維新ノ一大展開ヲ期ス
- 一、本會ハ凡ユル非國家主義思想トシテ運動ノ徹底的撲滅ヲ期ス
- 一、本會ハ日本國家ノ世界の使命ヲ自覺シ世界の道義國家ノ建設ヲ期ス

主ナル行動

- 一、昭和七年四月二十七日創立セララル
- 尙本同盟ハ曩ニ昭和六年四月愛國勤勞黨京都支部内ノ青年分子ヲ以テ組織セラレ爾來常ニ左翼排撃新日本ノ建設ヲ唱ヘテアデビラ撤布、傳單貼付、パンフレットノ作成配布等ヲ爲シ、昭和七年二月十一日ニ神州報國會洛北青年同盟等ト共ニ建國祭ヲ舉行スル等ノ行動アリシガ

三二五

SP. 249

338

I-0726

昭和七年四月十日愛國勤勞黨京都支部ヲ解散シタル爲同時解散ヲ聲明シタルガ、更ニ前記ノ
通同月二十七日再結成ヲ爲シタルモノナリ

三二六

- 一、同年五月一日メーデーニ際シテハ神州報國會ト提携シテ「翻譯的亡國行列メーデー」を撲滅
せよト題スルアデビラヲ作成シタル上同盟員高橋利夫、平井幸夫、上藤吉ノ三名ハ神州報
國會員ト共ニ當日メーデー示威行列ヲ妨碍スベク其ノ集合地タル千本丸太町角刑務所跡ニ至
リ參加勞働組合ノ整列中ニ飛込ミ前記ビラヲ撒布シ列員トノ間ニ競合ヲ演ジ始メ三名檢束セ
ラル
- 一、同月二十四日神州報國會事務所ニ於テ開催ノ京都ニ於ケル各右翼團體聯合協議會ニ委員長
泉靜夫外三名出席シ神州報國會、京大猶興學會等ト今後ノ提携ヲ約ス
- 一、同年六月十八日豫ネテ興國青年同盟闘争歌、共同闘争歌ヲ作成シ同盟員等ニ配布シツツア
リシガ發賣額布禁止差押處分ニ附セラレタリ
- 一、同年九月七日興國同志會(昭和七年七月六日創立)ヲ併合シ之ガ合同大會ヲ開催シ、合同
聲明書、主義綱領變更ノ件其ノ他ヲ決定セリ
- 一、同年十一月二十九日神武會ノ依頼ニ應ジ大川周明減刑嘆願書ニ會員ノ署名ヲ取經メ神武會
本部宛送附セリ

SP. 249

339

國體主義同盟

一、左京支部(昭和七年十月十日創立、事務所左京區田中樋之口町六〇)

事務所 左京區吉田本町五番地 里見岸雄方

創立 昭和七年六月十九日

關係團體 里見日本文化學研究所、友誼團體トシテ明治會、國社會アリ

機關紙 里見日本文化學研究所機關紙「社會ト團體」ヲ同盟機關紙ニ準用ス

資金ノ出所 總長ノ著述並機關紙ニ依ル收入ヲ以テ充ツ

背後ノ人物 明治會々々長田中智學

幹部及主
ナル會員

總長―里見岸雄。理事長―藤井重郎。副理事長―水谷市太郎。常任理事―西田宗繼

理事―高見正雄、福井清、田村金太郎。幹事―中西石松、岡本永治、宮武伊知郎。

書記―濱本清

會員數 五〇名

主義綱領

科學的國體主義

一、正シキ尊皇精神ヲ強調シ國體ニ對スル理解ヲ大衆ニ普及スルト共ニ一切ノ反國體的邪想及

行動ヲ排除スルコトヲ目的トス

二、一切ノ政黨政派、宗教、右翼、左翼ノ既成諸團體ヲ超越シ目的ヲ遂行スルニ必要適切ナル

手段ヲ講ス

主ナル行動

一、昭和七年六月上旬所長里見岸雄ハ同人ノ主ナル者ト相謀リ里見日本文化學研究所ヲ母體ト

三二七

SP. 249

340

I-0726

シ、國體主義同盟ノ創建ヲ計劃シ自ラ總長トナリ同月十九日里見日本文化學研究所ニ於テ發會式ヲ舉グ

三二八

- 一、同年六月十九日事務所ヲ左京區吉田本町五番地里見日本文化學研究所内ニ置ク
- 一、同年六月二十日趣意書約一千部ヲ印刷シ研究所同人其ノ他關係方面ニ配布ス

興國戰士同盟

事務所 伏見區墨染町六八七 澁谷方

創立 昭和七年九月二十三日

系統 國家主義

幹部及主 執行委員長―澁谷啓介。統制部長―山本千代藏。組織宣傳部長―畑義一。調査部長
 ナル會員 吉村健朝。體育部長―井本勇藏。常任書記兼會計部長―湊正和。書記長―西本健
 太郎。前衛部長―白井泰弘。教育出版部長―渡邊昌夫。辯論部長―竹端榮次郎。事
 業部長―植村欣一

會員數 約一一名

主義綱領

- 一、皇道日本ノ大義ニ則リ皇國ノ威風ヲ宇内ニ宣揚ス
- 一、凡ユル非皇國ノ思想ノ撲滅ヲ期ス
- 一、大日本主義ノ徹底ノ普及ヲ期ス

SP. 249

341

主ナル行動

- 一、體育並ニ尙武ヲ獎勵シ剛健日本ノ建設ヲ期ス
- 一、昭和七年九月二十三日伏見區墨染町澁谷方ニ於テ澁谷啓介、西本健太郎等中心トナリ創立總會ヲ開催シ名稱役員等ヲ決定セリ
- 一、同年十月一日宣言、主義、綱領、規約ヲ決定發表セリ
- 一、其ノ他特記スベキ活動ナシ

國家社會農民組合準備會

事務所 日本國家社會黨京都府聯事務所内

創立 昭和七年七月

系統 國家社會主義

關係團體 國社黨京都府聯、國家社會主義青年同盟京都支部
 幹部及主 國社黨京聯農長―早川忠次郎。元全農京聯書記―山田正一、同井上好雄
 ナル會員 國社黨京聯農長―早川忠次郎。元全農京聯書記―山田正一、同井上好雄

主義綱領

- 一、君萬民ノ國民精神ニ基キ搾取ナキ新日本ノ建設ヲ期ス
- 一、吾等ハ農村ニ於ケル國民運動ニ依リ農村ヲ搾取スル資本主義ヲ打破シ皇道政治ノ徹底ヲ期ス

三二九

SP. 249

342

I-0726

一、吾等ハ合法的手段ニ依リ資本主義機構ヲ打破シ國家統制經濟ノ實現ニ依リ農民生活ノ保證ト解放ヲ期ス

主ナル行動

- 一、昭和七年七月二十二日全農京聯常任書記山田正一ハ全農ヲ脱退シ國社黨京聯ニ入黨、岩本書記長、早川農長部長等ト協議ノ結果國社黨支持ノ國家社會農民組合ヲ組織スルコトニ決定シ翌二十三日意見書ヲ發表セリ
- 一、昭和七年八月三日國家社會農民組合準備會「ニュース」第一號ヲ發行、關係地方ニ配布セリ
- 一、同年八月十三日全農京聯書記井上好雄右準備會ニ加入山城地區ノ責任者トナル
- 一、同年八月二十日山城地區委員會組織準備並同會ノ趣旨宣傳ノ目的ヲ以テ府下相樂郡川西村ニ於テ農村窮乏打破演說會ヲ開催セリ
- 一、同年八月二十八日「綱領規約草案」百五十部ヲ作成シ關係方面ニ配布セリ

里見日本文化學研究所

事務所 左京區吉田本町四番地
創立 大正十三年十二月
關係團體 明治會、國社會
機關紙 社會ト國體 (月刊)

資金ノ出所 里見ノ個人的收入及機關紙、其他ノ刊行物販賣ニ依ル利益

背後ノ人物 田中智學 (里見岸雄ノ實父)

幹部及主 所長—里見岸雄。京大法二岡本永治、中西石松、陸軍中將小磯國昭、陸軍大佐藤井

ナル會員 十郎、陸軍大佐板垣征四郎、三菱重役梶武雄

會 員 數 研究所同人約二〇〇名、門下生約二〇〇名

主義綱領

主義綱領ノ制定セラレタルモノナキモ其ノ主張スル處ハ日本國體ヲ認メザル「マルキシズム」ヲ排撃スルト共ニ之ニ對シ觀念的國體論ハ全ク無力ナルヲ以テ之ヲ科學的ニ克服スベキ國體科學ヲ創造セントスルモノニシテ、又資本主義制度ハ反國體的ナルヲ以テ之ヲ廢シ社會主義ヲ國體化シ之ヲ基調トシテ社會ヲ改造スヘシト爲スニ在ルモノノ如ク之ヲ科學的國體主義ト稱シ居

主ナル行動

- 一、大正十三年十二月里見岸雄ニ依テ創立セラレ事務所ヲ兵庫縣西宮市ニ置ク
- 一、大正十五年二月ヨリ機關紙月刊「日本文化」ノ發行ヲ始ム
- 一、昭和四年十二月國體科學聯盟ト改稱ス
- 一、其ノ後機關紙ヲ「國體主義」月刊、「社會新聞」日刊等ニ改題、發行聯盟員ノ獲得ニ努メ、昭和六年ニ入りテハ全國的ニ數百名ノ聯盟員ヲ得ルニ至リシ處、里見ハ斯ル組織體ヲ有スルコトハ却テ自己ノ研究著作等ノ活動ガ拘束セララルル結果ヲ來スト爲シ、昭和七年十月初メ聯

盟ヲ解散シ再ビ里見文化學研究所ト改稱シ機關紙ヲ「社會ト國體」ト改題ス、尙創立以來里見岸雄ノ執筆セル「國體科學叢書」十二卷「天皇とプロレタリア」等ノ單行本數種ヲ發行ス

一、同年十二月里見岸雄ノ執筆セル「日本興廢ノ前夜」ヲ發行ス

一、昭和七年三月十六日事務所ヲ同區吉田本町四番地ニ移ス

一、同年四月末現在ニ於テ研究所同人ト稱スル者及里見ノ門下生ト稱スル者約二百名(何レモ各地ニ散在)アリ、時々事務所ニ於テ一部同人門下生等集合研究會、講演會等ヲ開催ス

一、日本現下ノ情勢ハ單ナル研究ノ態度ヲ以テ臨ムヲ許サズ、宜シク同志ヲ糾合シテ國民全般ニ國體科學主義ヲ徹底セシメザルベカラズトシ國體主義同盟ヲ組織スルコトヲ計劃シ規約、趣意書、役員等ヲ決定シ、昭和七年六月十九日事務所ニ於テ右同盟發會式ヲ舉行シタリ

一、同年八月二十日市内黎明館ニ於ケル里見岸雄ノ實父田中智學ノ主宰スル明治會京都支部主催ノ講演會ニ臨ミ「噫日本興廢ノ岐路」ト題シ講演ヲ爲セリ

神州報國會

事務所 東山區東大路安井上ル
創立 昭和六年十一月十日
關係團體 日本生產黨、洛北青年同盟
機關紙 興國新聞(月刊)
資金ノ出所 會長ノ私有財産及毎月各幹事ヨリ融出ス

背後ノ人物 西村力、内田良平、草野庄三、横江善次郎
幹部及主 會長―柴田コト北野金三郎。理事長―柴山滿。書記長―澤村喜代治。常任理事―村
ナル會員 田耕造、矢羽田慶三。理事―増田正次

會員數 二〇名
主義綱領

趣旨

内ニ共產黨ノ暴虐非道ナル賣國運動ヲ始メ、左翼社會民主主義等々ノ如キ悉ク外國模倣ノ亡國思想ニヨリテ祖國ノ産業、經濟、政治思想ヲ改惡セントスル徒輩跋扈シ、名ヲ大衆運動ノ僞裝下ニ今ヤ亂舞ノ極ニ狂奔シツツアル、更ニ政黨腐敗ノ政治ハ政道ノ中心ヲ忘レ政權奪略ニ日ヲ送り國家萬年ノ大計ヲ樹ツヲ知ラス、國民ノ上下モ又交々利慾ヲ相追ヒテ分裂シ、陛下ノ赤子タルノ自覺ト信念ヲ失ハントシテキル、加フルニアメリカ病ノ流行ハ、日ト共ニ全日本ニ充滿シ、ソノ世紀末ノ頹廢氣風ハ之レヲ明治初年ノ彼ノ鹿鳴館時代ニ求ムルモ尙ソレニ百倍スルノ時世ヲ現出シ轉々寒心ニ堪ヘサル危機ニアルノタ、見ヨ國內不統一、國民團結ノ龜裂ニ來シタル狂暴支那ノ攻勢其ノ極ニ達シ、某強大國家ハ左手ニ平和親善ノ僞旗ヲ揚ケ、右手ニ銳キ軍備ヲ振翳シ、東洋ノ君子國我等カ祖國ヲ十重二十重ニ圍ミ追ラントスルノ秋!! カカル祖國ノ客觀的狀勢ハ醉生夢死ノ我等ヲシテ熱狂的輿論ヲ喚起セシメタ我等ハ、微弱ナカラ祖國ノ現狀ヲ座視スルニ忍ヒス我日本民族ノ把握スル光輝アル日本主義ノ實踐ニヨリテ此ノ大國難ヲ打開スルト共ニ、強固ナル民族ノ團結力ヲ以テ東亞ニ於ケル我等ノ使命ヲ全フセンコトヲ期スルモ

三三三

I-0726

ノテアル

綱領

- 一、本會ハ高明、清朗、雄大、不拔ノ大日本帝國建國ノ大精神ニ基キ皇道ヲ中外ニ宣揚ス
- 一、本會ハ一切悉クノ亡國的思想勢力ト對立シ此レカ徹底的克服ヲ期ス
- 一、本會ハ規則ノ不正ナル國際情勢ヲ打破シ世界的道義ノ確立ニ據ル國際正義ノ樹立ヲ期ス

主ナル行動

- 一、昭和六年九月頃ヨリ元當府思注(無政府主義ヲ抱持シ其ノ後思想轉換セル者)柴田事北村金三郎ガ在東京大民俱樂部員村田耕三ノ應援ヲ得テ之ガ組織ニ着手、會員獲得ニ奔走ス
- 一、同年十月二十五日京都市右京區花園龍安寺村田耕三方ニ於テ神州報國會發會式ヲ舉行
- 一、同年十一月三日明治節當日「内外の國難益々加る眞に舉國一致して滿蒙を奪還せよ」「我が生命線滿蒙の權益を死守せよ」ト各題スル傳單約五千枚ヲ作成市内ニ配布ス
- 一、同年十一月十日從來ノ綱領ヲ廢シ現在ノ綱領ニ改ム
- 一、同年十一月二十八日三條青年會館ニ於テ滿蒙突擊演說會ヲ開催ス
- 一、同年十二月七日會長北野金三郎ハ福島佐太郎外一名ト共ニ滿洲軍慰問ノ爲メ渡滿、同月十五日駐滿軍慰問ヲ終ヘ歸洛ス
- 一、昭和七年十二月十八日軍縮全權一行ガ桃山御陵參拜ノ砌リ之ガ激勵ノ決議文ヲ手交ス
- 一、昭和七年一月十三日立憲政友會京都支部幹事長江羅直三郎ヲ通ジテ不敬事件ニ關シ犬養内閣ノ留任ヲ祝福スベキ決議文ヲ手交セリ

三三四

SP. 249

347

- 一、同年一月二十一日會長北野金三郎、幹事長村田耕三ハ日本生産黨ニ入黨シ同時ニ會長北野金三郎ハ日本生産黨總裁内田總裁ヨリ京都地方擴張委員ヲ命ゼラル
- 一、同年一月三十一日關西映畫說明者同盟ニ對シ伏見帝國館ノ爭議ニ關シ應援スルヲ痛憤シ之ガ警告文二百部ヲ作成發送ス
- 一、同年二月十一日平安神宮前ニ於テ興國青年同盟、洛北青年同盟等ト共ニ在郷軍人會上京分會長伊藤陸軍豫備大尉ニ其ノ指揮ヲ依頼シ其ノ承諾ヲ得テ同人指揮ノ下ニ建國祭ヲ舉行セルガ當日參加者百五十四名アリ
- 一、同年二月十一日、十三日、十四日、十五日ノ四日間在上海駐屯軍ノ慰問金ノ街頭募集ヲナシ計百二圓五十八錢ヲ得テ京都聯隊區ニ其ノ處分ヲ依頼ス
- 一、同年三月八日神州一般勞働組合ヲ組織セリ
- 一、同年四月十三日「メーデー」の撲滅を宣し同志諸君に激す」ト題スル印刷物ヲ配布ス
- 一、同年四月二十三日事務所ニ於テ茶話會ヲ開催シ同月二十一日日本愛國同土聯盟代表服部孝太郎、櫻井清一郎ガ本會ニ合流シタシト交渉シ來リタルニ付右合流ニ付協議シタルニ異議ナク之ヲ承認セリ
- 一、同年五月二十一日西園寺公爵宛ニ「單獨政黨内閣ヲ排シ超然内閣ノ成立ニ努力セラレ度シ」ト打電セリ

SP. 249

348

三三五

I-0726

議會役員選任、五・一五事件犠牲者救援運動等ニ付協議セリ、參加團體左ノ如シ
神州報國會(出席者十名)、興國青年同盟(出席者四名)、神武會京都支部(出席者一名)、京
大猶興學會(出席者一名)、愛國青年會(出席者四名)、個人參加(三名)
一、同年四月十六日京都市左京區太秦峰ヶ岡町新興キネマ株式會社太秦撮影所ニ爭議發生スル
ヤ、會長北野金三郎、書記長澤村喜代治等ハ生産黨京都支部準備會幹部ト共ニ爭議調停ト稱
シテ同社ニ出入シ、五月十二日北野、澤村及萩田正一ノ三名ハ遂ニ爭議團員ト衝突シ澤村ハ
全治二週間、萩田ハ同一週間ノ負傷ヲ受ケタリ
一、同年五月十八日事務所ニ於テ研究會ヲ開催、豫備海軍少佐齋藤直幹ヲ聘シ「戰爭ニ就テ」
ト題スル講演ヲ聽ク

三三六

辛 羊 會

事務所 左京區吉田町 京都帝國大學配屬將校室
創立 昭和六年十一月十四日
資金ノ出所 會員一人宛年額三十錢ヲ支出シテ維持ス
背後ノ人物 京都衛戍病院長山本順一、第十六師團軍醫部長星野健太郎
幹部及主 會長—醫學博士戸田正三。名譽會員—配屬將校柳下重治、配屬將校西村良三。委員
ナル會員 (委託學生)青木久司、(同)布施政一。幹事—(委託學生)大島登輝夫
會員數 普通會員一二(委託學生)、名譽會員六二(卒業生)

SP. 249

319

主義綱領

會則中ニ會員相互ノ親睦向上ヲ計ルト規定スルモ政黨、財閥ノ打倒、天皇御親政ノ實現等ヲ
主張スルモノノ如クナルモ其ノ主張明瞭ナラズ

主ナル行動

一、昭和六年十一月十四日京大配屬將校室ニ於テ準備協議會ヲ開催、會則ヲ作成シ役員ヲ左ノ
如ク決定ス

會長—京大醫學部長戸田正三。幹事—(委託學生)大島登輝夫。委員—(委託學生)青木久司

(同)布施政一

一、同年十一月二十二日午後五時ヨリ中京區木屋町松原上ル紺鶴料亭ニ於テ先輩第十六師團軍

醫部長星野健太郎他九名、京大配屬將校柳下大佐他二名、委託學生十四名出席シテ發會式ヲ

舉グ

一、同年四月十日十六師團僧行社ニ於テ懇親會ヲ開催、先輩軍醫ノ處世上ノ注意及體驗談ヲ聽

取ス

昭和維新聯盟

事務所 京都市
創立 昭和七年九月五日
系統 國家主義
關係團體 敬天愛人運動本部、神武會京都支部、彌榮日本人同志會、青年自由黨準備會、青年自

三三七

SP. 249

350

I-0726

幹部及主
ナル會員

由軍、興民同志會、生産黨京都支部準備會、日本國家社會黨京都支部聯合會、日本
愛國同志聯盟、興國青年同盟、神州報告會
常任委員―敬天愛人運動本部代表山田圭一郎。國社京都府聯代表岩本健一、西光太
郎、青年自由黨準備會代表坂本光三郎、西本健太郎。神州報告會代表北野金三郎、
矢羽田慶造。愛國青年會代表林弘之助。神武會京都支部代表西澤季績、生産黨京都
支部準備會柴山滿等

主義綱領

未定

主ナル行動

一、昭和七年八月以來敬天愛人運動本部外十團體ハ共同シテ演說會、國民大會ヲ開催、御陵神
社ノ參拜等ヲ爲シ來タリシガ更ニ一步ヲ進メ相互提携ノ爲メ聯合體ヲ組織スルコトトシ、昭
和七年九月五日代表者二十五名集合、協議會ヲ開催本聯盟ヲ結成シタリ
一、昭和七年九月十一日建國會北陸支部長淺野安太郎ヲ招キ滿洲事件一週年記念講演會ヲ開催
引續キ參謀本部付諫山少佐ノ臨席ヲ得テ懇談會ヲ開催シタリ
一、同年九月十八日滿洲事變一週年記念當日、加盟團體敬天愛人運動本部外八團體代表五十四
名ハ開旗、スローガン等ヲ掲揚セル自動車十臺ニ分乘シ宣傳ピラヲ配布シツツ市内樞要道路
ヲ行進セリ

青年自由軍

事務所
創立
幹部及主
ナル會員
會員數
主義綱領

中京區裏寺町通繪藥師上ル 篠原金次郎方

昭和七年七月二十五日

總理―熊野喜三郎。理事長―篠原金次郎。書記―權藤一介、大杉利男。理事―岡本

喜一、柴田己之助、中澤藤四郎、堀川久太郎、三浦利一

約一六名

日本主義

一、吾等ハ日本人タルコトヲ誇リトスルカ故ニ日本人タルノ名譽ヲ確保シ其ノ權利義務ヲ完全
ニ遂行セムコトヲ期ス
一、吾等ハ自主獨立ノ英氣ヲ養ヒ日本人タルノ本來ノ面目ヲ發揮シ苟モ四民平等ノ大義ヲ冒瀆
スル者アラバ戮力之ヲ勦滅セシムルコトヲ期ス
一、吾等ハ宇内ノ形勢ヲ達觀シ世界經濟ノ歸趨ヲ定メ平時ノ闘ニ雄越セル國連ノ進展ヲ希求シ
不斷ノ努力ヲ拂ハントス、道途若シ吾等ノ前途ヲ擁塞スルモノアラハ個人ヲ問ハス階級ヲ論
セス之ヲ軍神ノ祭壇ニ供フルコトヲ敢テ辭セス

主ナル行動

一、昭和七年七月二十五日發會式ヲ舉グ
一、同年八月二十五日市公會堂ニ於テ開催ノ右翼團體聯合ノ演說會ニ際シ齊藤内閣打倒ノ「ス
ローガン」ニ反對ナリトシテ會場ニ闖入妨害ヲ爲シ熊野喜三郎他十名ハ所轄川端警察署ニ檢

束セラ

- 一、同年九月三十日軍歌ヲ作成騰寫シ團員ニ配布セリ
- 一、同年十一月二十三日幹部會ヲ開催シ役員ノ一部改選ヲ行ヒ上記ノ如ク決定ス
- 一、同年十一月二十三日國際聯盟總會帝國全權ニ對シ激勵文ヲ郵送ス
- 一、同年十一月二十四日陸軍特別大演習ニ際シ御警衛ニ從事シタル京都、大阪兩府警察部、京都憲兵隊、第十六師團長宛感謝狀ヲ郵送ス

大日本國粹會

事務所 下京區河原町通佛光寺上ル、商工ビル四階

創立 大正八年九月

系統 國家主義

機關紙 時々會報ヲ發行ス

資金ノ出所 寄附金及幹部ノ支出ニ依ル

背後ノ人物 床次竹次郎、鈴木喜三郎、中橋徳五郎、頭山滿

幹部及主ナル會員

名譽總裁—鈴木喜三郎。會長—中安信三郎(昭和七年十一月死去)。幹事長胎中楠右衛門。顧問—床次竹次郎、中橋徳五郎、頭山滿、川村竹治、古賀廉造、高橋是清、三土忠造、望月圭介、廣岡宇一郎、岡崎邦輔、丸山鶴吉、藏園三四郎。理事—橋本五雄(東京)、太田進一(同)、蓮井繼太郎(同)、増田伊三郎(京都)、土屋久五郎(三

會 員 數 全國會員二〇萬ト稱ス

主義綱領

趣 旨

本會ハ任侠ヲ以テ本領トシ、皇室中心主義ヲ以テ國難ニ處シ、緩急ニ應シ奉公ノ實ヲ舉ゲンコトヲ期ス

綱 領

本會ハ皇室中心主義ヲ以テ國家國民ノ正義ヲ擁護シ、共產主義、其ノ他矯激ナル思想ヲ驅逐シ勞資ノ協調ヲ保チ共存共榮ノ實ヲ舉ゲ、以テ民衆生活ノ向上ヲ計リ國體ノ精華ヲ揚ケ、國家ノ安寧ニ貢獻センコトヲ期ス

吾徒ノ信條

- 一、吾徒ハ皇室中心主義ニヨリテ道德ノ大綱ヲ繫キ忠孝ノ大義ヲ宣明シ以テ國家道德ノ頽壞ヲ防止シ國體ヲ擁護センコトヲ期ス
- 一、吾徒ハ仁俠ノ精神ニ基キ國難ニ當リ社會ノ秩序ヲ整頓センコトヲ期ス

三四一

SP. 249

354

三四〇

SP. 249

353

I-0726

一、吾徒ハ生活問題ヲ解決シ資本家ト労働者トノ協調ヲ計リ以テ社會ノ安定ヲ期ス
一、吾徒ハ國家組織ヲ脅威スル社會主義者ニ對シ國民的制裁ヲ加ヘ遷善勸化ノ實行ヲ期ス
一、吾徒ハ廣ク同志ヲ糾合シ一心同體ヲ以テ此ノ信條ノ遂行ヲ期ス
主ナル行動

三四二

一、大正八年七月頃ヨリ急激ニ増加シ來レル労働争議及外來過激思想ノ擡頭ニ鑑ミ代議士高橋
光威、村野常次郎、胎中楠右衛門、中安信三郎、貴族院議員伯爵大木遠吉、子爵渡邊千冬、
湯淺凡平等協議シ頭山滿、内田良平、吉井千代吉(滋賀)、増田伊三郎(京都)、佐々木長之進
(大阪)、花房仙太郎(岡山)、中川出来太郎(廣島)、井上初太郎(名古屋)、土屋久五郎(三重)
今田丑松(奈良)等ノ思想堅實ナル國士俠客ト謀リ大日本國粹會組織準備ヲ進メタリ。
一、同年九月東京ニ於テ創立大會ヲ開キ伯爵大木遠吉ヲ總裁ニ推シ、會長ニ高橋光威、副會長
ニ村野常右衛門、理事長ニ中安信三郎ヲ舉ゲ、顧問ニ床次竹次郎、鈴木喜三郎、高橋是清、
古賀廉造、川村竹治、望月圭介、渡邊千冬、湯淺凡平、頭山滿、内田良平其ノ他朝野ノ名士
ヲ推シ、理事トシテ各府縣代表ノ俠客其ノ他知名士等ヲ舉ゲタリ。
一、其ノ後各府縣ニ本支部ヲ設置セシメテ之ヲ統制シ、當時ハ會員總數百萬ト稱セシモ大正
十四、五年頃ヨリ幹部間ニ内訌ヲ生ジ漸次勢力衰頹ス。
一、昭和六年八月二十九日理事長中安信三郎東上シテ南陸相ヲ官邸ニ訪ヒ愈々險惡ナラムトス
ル日支問題ニ對シ、支那在留日本人及奉天其ノ他國粹會ノ現狀ニ付具陳シテ陸軍省當局ノ意
嚮ヲ糾シ、更ニ逗子町櫻山別邸ニ靜養中ノ高橋會長ヲ見舞ヒ九月五日歸洛ス。

SP. 249

355

一、昭和七年九月九日支那青島暴民約三十名ガ大日本國粹會青島本部ヲ襲撃シタル事件アリ、
中安理事長外三名ハ之レガ真相調査並ニ青島國粹會本部慰問ノ爲メ出張ス。
一、同年十月十日理事長中安信三郎ハ奉天ニ於ケル大日本國粹會奉天本部長吉川之康ノ招聘ニ
ヨリ奉天ニ至リ滿洲事變並ニ戰跡ノ調査視察ヲナシ朝鮮經山シテ十月二十七日歸洛ス。
一、同年九月二十八日高橋會長ノ病狀愈々昂進シ其ノ職ニ絶ヘズトナシ會長ヲ辭任シ後任會長
トシテ中安信三郎ヲ推薦スル旨通知シ來リタルモ、當時中安ハ滿蒙視察ノ爲メ渡滿中ナリシ
ヲ以テ何等確答ヲ爲サズ。
一、同人ハ歸洛後會長就任ヲ決意シ昭和七年十一月十三日高橋前會長ニ宛テ受諾ノ通知ヲ發
ス。
一、昭和七年二月五日付ヲ以テ高橋前會長病氣辭任ト中安會長就任ニ對スル經過及中安會長ノ
滿蒙及青島國粹會襲撃事件ノ調査視察ノ報告ヲ兼ネ「大日本國粹會總本部第一次報告書」ト
題スル印刷物一千五百部ヲ各府縣本支部及關係者ニ宛テ郵送セリ。
一、同年二月十三日京都市岡崎公會堂ニ於テ舞鶴防備隊司令官海軍大佐鈴木幸一ヲ聘シ滿蒙視
察報告ヲ兼ネ講演會ヲ開催ス。
一、同年二月十五日付ヲ以テ全國資産家及婦人會等ニ對シ滿洲、上海事件等引繼ク事件ノ軍費
トシテ政府ニ對シ公債及(指輪、簪、腕輪、首飾等)奢侈品ノ所持者ニ對シ獻金ヲ勸誘スル
印刷物五千部ヲ作成シ各本支部其ノ他一般ニ發送ス。
一、同年十月二十六日會長中安信三郎ハ自邸ニ於テ突如狭心症ノタメ死去ス。

三四三

SP. 249

356

I-0726

一、在京都國粹會總本部員ハ京都府國粹會本部員等ト協議ノ上葬儀委員稻畑勝太郎(大阪商工
會議所會頭勅選議員)外三十名ヲ舉ゲ、昭和七年十一月十八日京都市下京區寺町通り四條下
ル大雲院ニ於テ葬儀ヲ行フコトヲ決定ス
一、昭和七年十一月十八日京都市中京區河原町通三條下ル東洋亭ニ於テ故中安會長沒後ニ於ケ
ル善後策ニ關スル協議會ヲ開催シ、葬儀參列ノ各府縣本支部代表者並ニ京都府本部増田伊三
郎外十名計三十九名出席シ、荒川卯之助(京都)開會ノ辭ヲ述ベ座長ニ滋賀縣本部長吉井千
代吉ヲ推シ
イ、國粹會將來ニ關スル件(座長提案)
國粹會ハ時代思想ノ變遷ニ依リ最早ヤ存在ノ意義ナキヲ以テ此ノ機會ニ解散スベシトノ意
見ヲ有スルモノアリト聞ク本會ノ將來ヲ如何ニスベキヤト諮リタル處
本會ハ國家非常時ノ今日益々結束ヲ計リ本會本來ノ皇室中心國家主義ノ下ニ多難ノ國家ニ
貢獻スルコソ故中安會長ノ靈ヲ慰メ且ツ本會ノ今日存スル所以ナリトシ、今後益々向上發
展シ國家ニ貢獻スベク努力スルコトニ一決セリ
ロ、後任會長ニ關スル件
ハ、會ノ維持費ニ關スル件
ニ、故中安會長ノ遺族優遇ニ關スル件
等ヲ協議シ、結局京都外十一地方代表者ヲシテ善後策委員會ヲ設置シ具體的協議ヲ爲スコト
トシテ閉會ス

三四四

SP. 249

357

一、昭和七年十一月十九日午前十一時ヨリ前記東洋亭ニ於テ善後策委員會ヲ開キ(京都)増田伊
三郎、荒川卯之助、小野田太郎、荒木丑松、牧主良之助、(東京)太田進一、蓮井繼太郎、(大
阪)山村森造、(滋賀)吉井千代吉、(岡山)花房仙太郎、(新潟)森田喜三、(三重)米澤房吉、
(小倉)石野俊策、(奈良)今田丑松、(廣島)和歌山缺席等出席、前日ニ引續キ協議ヲ爲シタ
ルガ容易ニ決定セズ、結局太田進一(東京)、増田伊三郎(京都)、梅田池彦(大阪)、今田丑松
(奈良)、吉井千代吉(滋賀)ノ五名ヲ常任委員ニ舉ゲ、全議案事項ヲ常任委員ニ一任スルコト
トナシ畫策ヲ共ニシテ散會ス
一、昭和七年十二月一日午前十時ヨリ京都市下京區河原町通り佛光寺上ル商工ビル四階ニ於テ
第一回常任委員會ヲ開催、吉井千代吉、増田伊三郎、山村森造(大阪)梅田池彦ノ代理、今田
丑松、太田進一ノ五名外ニ京都府本部荒川卯之助出席シテ協議シ
イ、後任會長ノ件ハ來ル六日東上シテ荒木陸相ニ會見人選方ヲ依頼スルコトトセリ
ロ、本會ノ維持費ニ關スル件
ハ、故中安會長ノ遺族優遇ニ關スル件
等ハ後任會長決定ノ上後任會長ニ一任シ向ホ協議スルコトト爲シ、午後ハ南座ニ於テ觀劇シ、
夜ハ西石垣四條下ル「ちもと」ニ於テ晚餐ヲ共ニシテ散會セリ
一、昭和七年十二月六日常任委員等五名ハ東京ニ落ち合ヒ荒木陸相ニ會見後任會長ノ人選ヲ依
頼シ、更ニ名譽總裁鈴木喜三郎、同顧問床次竹二郎ヲ訪問本會ノ狀況ヲ報告シ、並ニ後任會
長問題及會ノ將來等ニ付懇談シテ八日午後六時東京ニ於テ解散夫々歸省セリ

三四五

SP. 249

358

I-0726

天 誅 會

三四六

事務所 在京區田中西河原町 井上慶之助方

創立 昭和七年四月十九日

關係團體 反水平社團體國民研究會、部落改善團體田中大正會

資金ノ出所 會費トシテ會員ヨリ毎月五十錢ヲ徵收シ維持ス

幹部及主 會長―上田八重吉。副會長―村田清一。會計―井上清次郎。會員―飯田初治、井上

ナル會員 慶之助、杉本芳光、篠原末一

會員數 約五〇名

主義綱領

國家中心主義ヲ標榜シテ起チ穩健ナル思想ノ提唱ナリ

方 針

青少年ノ精神ノ涵養ニ努メ人格ノ修養、社會的地位ノ向上ナリ

主ナル行動

一、左京區田中西河原町(小數部落)ニ在ル田中淳成青年團ハ數年來全國水平社京都府聯合會

田中支部員等ノ占ムル處トナリ常ニ左翼的行動ヲ執リ來リシ處、昭和七年三月頃ヨリ同青年

團員中ノ上田八重吉、飯田初治等ハ之レニ憤慨シテ田中大正會(部落改善團體)幹部等相謀

リ水平社ニ對立シ之レヲ克服スベキ新團體ノ組織ニ着手ス

一、昭和七年四月十九日左京區田中西河原町養生浴場樓上ニ於テ飯田初治等主催トナリ左翼排

撃ヲスローガントシテ演說會ヲ開催、中途之レヲ天誅會發會式ニ變更

一、同年四月二十六日上田八重吉、飯田初治、山崎新三郎、篠原末一ノ四名ハ市内東七條反水

平社團體國民研究會事務所ニ會長渡邊豐次郎ヲ訪問、天誅會ニ對シ將來應援方ヲ依頼快諾得

タリ

一、同年五月十四日左京區田中西河原町獨證寺ニ於テ左翼撲滅演說會ヲ開催、天誅會上田八重

吉、山崎新三郎、健田定一、松田利七、井上慶之助、國民研究會渡邊豐次郎、野口西道、佐

野信三郎、熊野喜三郎等出演ス

一、同年五月二十八日會長上田八重吉及井上慶之助、飯田初治、村岡清一、井上清治郎等ハ田

中水平社員小林清一池四名ト口論衝突シ所轄下鴨警察署ニ檢束セラレ

日本愛國同志聯盟

事務所 上京區新町通鞍馬口上ル小山中溝町三二番地

創立 昭和七年一月十八日

背後ノ人物 福島佐太郎

幹部及主 理事長、教育出版部長―櫻井清一郎。組織宣傳部長―服部孝太郎。救濟慰安部長―

ナル會員 立川重治、財務部長―森井峰太郎

會員數 約一五名

主義綱領

日本愛國同志聯盟

事務所 上京區新町通鞍馬口上ル小山中溝町三二番地

創立 昭和七年一月十八日

背後ノ人物 福島佐太郎

幹部及主 理事長、教育出版部長―櫻井清一郎。組織宣傳部長―服部孝太郎。救濟慰安部長―

ナル會員 立川重治、財務部長―森井峰太郎

會員數 約一五名

主義綱領

日本愛國同志聯盟

事務所 上京區新町通鞍馬口上ル小山中溝町三二番地

創立 昭和七年一月十八日

背後ノ人物 福島佐太郎

幹部及主 理事長、教育出版部長―櫻井清一郎。組織宣傳部長―服部孝太郎。救濟慰安部長―

ナル會員 立川重治、財務部長―森井峰太郎

會員數 約一五名

主義綱領

日本愛國同志聯盟

事務所 上京區新町通鞍馬口上ル小山中溝町三二番地

創立 昭和七年一月十八日

背後ノ人物 福島佐太郎

幹部及主 理事長、教育出版部長―櫻井清一郎。組織宣傳部長―服部孝太郎。救濟慰安部長―

ナル會員 立川重治、財務部長―森井峰太郎

會員數 約一五名

主義綱領

日本愛國同志聯盟

事務所 上京區新町通鞍馬口上ル小山中溝町三二番地

創立 昭和七年一月十八日

背後ノ人物 福島佐太郎

幹部及主 理事長、教育出版部長―櫻井清一郎。組織宣傳部長―服部孝太郎。救濟慰安部長―

ナル會員 立川重治、財務部長―森井峰太郎

會員數 約一五名

主義綱領

日本愛國同志聯盟

SP. 249

360

SP. 249

359

I-0726

我等ハ過去幾多ノ政變ニ會シ願ミルニ、國家ノ政治ト云フヨリモ財閥中心ノ政治ト云フ方カ明
 察テアルカニ感シサセラル種々ノ立法ヲ見ル、殊ニ最近ハ其ノ甚シイ實證カアル、民政黨内閣
 ノ金輸出解禁及ヒ緊縮政策ヤ政友會内閣ノ金輸出再禁止ノ黨派的對立ト「三井、三菱ノ二大財
 閥ノドル買、ドル賣」カ總テヲ暴露シテキル、既成政黨ノ無能無策ナルハ久シイモノテアル
 カ、今日ノ立憲政治ノ頽廢墮落ヲ放任セントスルコトハ財閥專恣橫暴ノタメ、國家ハ災厄ヲ招
 キ之ヲ擴大セシムルノ感アルヲ遺憾トセネハナラス、現下ノ國情ハ内外共ニ頗ル多端ナルモノ
 アリ、外ニハ滿蒙事變ノ重大問題カ横ハリ、近クニハ二月二日ヨリベネグアニ開催サレル軍縮
 會議アリ、内ニハ歐洲大戰以來我國經濟界ノ激シイ動搖ニ過激思想ノ赤化運動カ巧妙ナル手段
 ヲ以テ急足ニ傳播サレ混頓タル狀勢ヲ孕ミ、一大思想國難ニ直面シテ居ル事體ハ國防ノ上ニ眞
 ニ憂慮ニ堪ヘナイモノカアル、今ヤ國民一致協力ヲ以テコノ難關ニ當ラネハナラナイ、然ルニ
 現在ノ議會政治ハ資本主義形態ノ下ニ國民大衆ノ福利増進ヲ度外視シテ爲政者ノ利害ト金融
 ルチヨアノ利益ノ爲ニ大衆ノ抑壓モアエテ惜マナイ、我等ハ國家百年ノ大業ニ根柢ヲ置キ、年
 々歳々多端ナラントスル時局ヲ鞭撻ナシ奮ツテ國運ノ隆昌ト國民大衆ノ經濟的解放ニ一路邁進
 スルハカリカ既成政黨ノ反證ヲ促シ、赤化運動ノ排撃ヲ行ヒ以テ世界平和ノ大理想ニ貢獻シ、
 日本主義ノ國體觀念ヲ高ク擧ケ我等自ラ大使命ヲ果サントスル

綱領

一、我等ハ萬世一系ノ皇室ヲ尊重シ義勇公ニシテ國運ノ開發ヲ期ス

主ナル行動

- 一、我等ハ智能ヲ啓發シ博愛ヲ衆ニ及ホシテ國民思想ノ作興ヲ期ス
- 一、我等ハ國家ノ財政、行政、經濟ノ倫理ヲ闡リ國民大衆ノ實際生活ヲ期ス
- 一、昭和六年十二月頃ヨリ最近思想的轉換ヲ爲シタル乙號特要服部孝太郎、愛國勤勞黨京都支
 部長福島佐太郎等ニ依リテ組織ニ着手サレ、其ノ後會員約十名ヲ得タリ
- 一、昭和七年一月十八日午後六時ヨリ上京區智恵光院通芦山寺上ル眞教寺ニ於テ結成式並ニ演
 說會ヲ開催ス
- 一、昭和七年二月二十七日午後八時ヨリ上京區御前通今出川下ル櫻井家ニ於テ緊急協議會ヲ開
 催、出席者櫻井清一郎外九名ニシテ
 - 一、上海出征軍人慰問方法トシテ演說會ヲ開キ之ヲ一括シテ市民有志大會ノ決議トシテ皇軍
 ニ慰問文ヲ送ルコト
 - 二、同志聯盟旗ヲ作製スルコト
 - 三、滿洲ニ於ケル我國ノ權益ニ對シ聲明書ヲ發表シ同志聯盟ノ態度ヲ明ニス
 - 四、出征軍ニ對スル代議士又ハ府市會議員ノ態度ニ對シ愛國の立場ヨリ警告文ヲ發スルコ
 ト
- 一、昭和三十七年四月二十一日神州報國會ガ相當活躍セルニ鑑ミ之ト提携スルノ有利ナルヲ覺リ、
 理事長櫻井、組織宣傳部長服部孝太郎ハ神州報國會長北野金三郎、理事長柴山滿ヲ訪問シ提
 等ヲ決議ス

I-0726

携ヲ約シ、場合ニヨリテハ合流スベシトノ意嚮ヲ述ベタリ
一、同年六月十四日國民大衆ノ生活安定ノ爲メニ土地及ビ家屋賃料ハ三割値下即時斷行等記載セル印刷物約千五百枚ヲ市内各方面ニ配布シタリ

三五〇

西陣賃業者組合

事務所 上京區仁和寺街道紙屋川東入 荒居芳太郎方
創立 昭和七年一月十六日
系統 國家社會主義
關係團體 日本國家社會黨、京都府支部聯合會
資金ノ出所 組合員ヨリ徴收スル組合費及一般ヨリノ寄附
幹部及主 組合長―佐々木民三郎。副組合長―荒居芳太郎。書記長―神谷一雅。常任執行委員
ナル會員 齊藤重廣、河原久次郎、仲源之助、久郷竹之助
會員數 約一四〇名
主義綱領
一、我等ハ現下ノ國情ニ即シ強固ナル組織ト有效ナル戰術ヲ以テ勞働條件ノ改善ヲ期ス
二、我等ハ現下ノ勞働階級ノ生活不安ハ資本主義經濟制度ノ矛盾ヨリ來ルモノト信シ之カ打倒ヲ期ス
三、我等ハ全西陣従業員ノ共存共榮ニ依ツテ生活ノ獲得ヲ期ス

SP. 249

363

四、我等ハ國家社會主義政黨ノ綱領、宣言決議ノ實現コソ勞働階級カ解放サルルモノト信シ此政黨ノ絶對支持ヲ期ス
主ナル行動

一、昭和六年十月末曩ニ全國勞働大衆黨聯合及全國勞働京都府聯合會ヲ脱退シ國家社會主義政黨準備會ニ加入シタル元全國勞働大衆黨府聯合會常任執行委員、元合同勞働京聯執行委員佐々木民三郎、元全國勞働大衆黨府聯合會同京聯執行委員荒居芳太郎等ハ右國家社會政黨京都地方支部ノ支持勞働組合トナスベク之ガ組織ニ着手シ組合員獲得ニ努ム
一、昭和七年一月十六日市内上京區柴野官西町佐々木民三郎方ニ於テ新年茶話會ト稱シテ事實上ノ發會式ヲ舉行、出席者二十名
一、同年三月一日佐々木民三郎、荒居芳太郎ノ兩名ハ日本國民社會黨準備會京都支部(昭和七年一月二十六日國家社會主義政黨京都地方準備會ノ名稱ヲ變更シタルモノ)ヨリ素行不良ノ故ヲ以テ脱黨ヲ勸告セラレテ脱黨シタル爲メ組合ハ右支部ト連絡ヲ斷ツ
一、同年四月二日市内上京區北大路大官西入大徳寺町佐々木民三郎方ニ於テ擴大執行委員會ヲ開催、出席者十三名ニシテ其ノ主要ナル協議決定事項左ノ如シ
一、昭和七年七月ヨリ組合員三十名以上ヲ有スル學區ニ支部ヲ設ケルコト
二、組合員及組合員ニ非ザルモ組合ノ運動方針ニ賛成ノ者ヨリ寄附ヲ募ルコト
一、同年同月二十五日事務所ニ於テ常任執行委員會ヲ開催シ上記ノ如ク綱領ヲ變更シタリ
一、同年六月十一日事務所ニ於テ常任執行委員會ヲ開催シ休機反對ニ關シ營業組合訪問、休機

三五二

SP. 249

364

I-0726

反對演說會開催等ニ付キ協議シタリ
一、同年同月二十六日事務所ニ於テ執行委員會ヲ開催シ組合トシテ政黨支持ヲ規定セザルコトヲ決定ス
三三二

(2) 學生團體

京都帝國大學猶興學會
事務所 左京區吉田神樂岡町四番地 山上市太郎方
創立 大正十五年六月二日
系統 國家社會主義
關係團體 京都愛國學生聯盟、日本新興學生協會、洛北青年同盟
資金ノ出所 創立當時ハ特別會員年額三圓、通常會員年額二圓トシ四月、九月ノ二回ニ分チ徵收シ、以テ其ノ維持ニ充テ居タルモ現在ニ於テハ必要ニ依リ會員ヨリ徵收ス
背後ノ人物 頭山滿、内田良平、吉田益三
幹部及主ナル會員 藤松佳晨(京大經三)、佐藤光廣(同)、吉村悟朗(京大法三)、武藤孝(京大經三)
會員數 二十名(京都帝國大學々生並卒業生)

主義綱領

我國建國ノ精神ニ則リ國民的理想ヲ確立スルニアリ
綱領

一、公正ナル立場ヲ以テ我國建國ノ根本精神ヲ究メ光輝アル傳統ノ維持及ヒ之カ發揚ニ努ム
二、浮華放縱ヲ斥ケ、輕佻詭激ヲ矯メ、重厚健實ナル日本精神ノ涵養振作ニ努ム
三、常ニ諸學ノ綜合的見地ヲ持シ、國民文化ノ研究ヲ進メ國民的自覺ヲ促サンコトヲ期ス
主ナル行動

一、大正十五年五月初メ頃ヨリ學聯事件ノ檢舉ニ依リ刺戟ヲ受ケタル海崎弘(經三)、德島一郎(法二)、江藤夏雄(經二)、江川周平(同)ハ左翼勢力ニ對抗スベク右翼團體ノ結成ニ努力シ、同月中旬結成スベキ團體ヲ猶興學會ト命名スルコトトシテ設立趣意書ヲ全國各大學、高等學校ニ發送シ、大正十五年六月二日吉田近衛町帝大學生集會場階上ニ於テ發會式ヲ舉グ
一、大正十五年六月十日吉田近衛町帝大學生集會場ニ於テ總會ヲ開催シ左記事項等ヲ決定ス
イ、總會ハ一ヶ月一回之ヲ開クコト
ロ、研究会ハ十日目位ニ一回開クコト
ハ、幹事選舉
庶務幹事―海崎弘、德島一郎、江川周平。會計幹事―篠原智雄、林茂。研究会幹事―萬木仙、江藤夏雄、藤井幸水

I-0726

- 三五四
- 一、大正十五年十月十日京大學生集會場ニ於テ總會ヲ開催、左記事項等ヲ協議決定セリ
 - イ、雜誌部活動ノ件―機關紙「新日本」ヲ發行スルコト
 - ロ、各班ノ研究會ヲ隨時開クコト
 - ハ、軍事教官長谷部大佐ヲ聘シテ露語ヲ研究スルコト
 - 一、大正十五年十月二十九日京大學生集會場ニ於テ京大矢野教授ヲ招聘シ講演會ヲ開催ス
 - 一、同年十一月五日京大軍事教官ヲ招聘シ露語ノ研究ヲ爲シ次回ハ每週火曜日ニ開催スルコトセリ

- 一、昭和二年五月十二日京大軍事教官長谷部大佐ヲ聘シ支那ノ現狀ニ關スル講演會ヲ開催ス
- 一、同年十月七日京大學生集會場ニ於テ秋季總會ヲ開催、會員二十一名出席、左記事項ヲ協議決定ス
- イ、研究コースノ件
- 毎週金曜日學生集會場ニ於テ研究會ヲ開催シ田口康信著「國家思想ノ研究」ノテキストヲ使用スルコト
- ロ、役員改選―左ノ通り役員改選ス
- 幹事長―須原哲榮(法二)。幹事―海崎勝一郎(同)、鬼島善次(經二)、松尾信行(法一)
- 一、同年十月二十四日市内三條栗田口良恩寺ニ於テ西郷南洲翁五十年祭ヲ執行、併セテ懇親會ヲ開催ス
- 一、同年十一月三十日京大法、經第一教室ニ於テ元廣島高師教授當時大邦社主筆田口康信ヲ聘

SP. 249

367

- シ講演會ヲ開催スルト共ニ學内一般學生ニ「純日本主義ニ依ル國家改造ヲ提唱ス」ト題スル印刷物ヲ配布ス
- 一、昭和三年二月衆議院議員總選舉ニ際シテハ無産黨候補者水谷長三郎、山本宜ニテ牽制スベク、既成政黨候補者中立豫備陸軍少將杉村勇次郎、實同黨野米太郎等ヲ應援ス
 - 一、同年六月九日學生集會所ニ於テ記念講演會ヲ開催、宮内省參事官法學士佐藤武ノ「復興ト皇道」ニ就テ及ビ安岡正篤ノ「大學ト教化ニ就テ」ト題スル講演ヲ聽ク
 - 一、昭和四年五月四日京大學生集會所南室ニ於テ春季總會ヲ開催、左記事項ヲ決定ス
 - イ、役員改選ニ關スル件
 - 幹事―深水千浪(經二)、田川博明(法一)、鬼崎末男(經二)、中川勇(經二)、高野徳次郎(經二)
 - ロ、研究會ニ使用スル書籍決定ノ件
 - 國體ノ疑惑
 - ハ、名士拓聘講演會開催ノ件
 - 一、昭和四年九月二十七日午後七時ヨリ學生集會所ニ於テ秋季總會ヲ開催、左記議案ヲ審議決定ス
 - 一、役員改選ノ件
 - 幹事―白川博明(法一)、野一色利衛(文一)、桂正美(農一)、深水千浪(經二)
 - 二、テキスト決定ノ件

SP. 249

368

三五五

I-0726

東亞經濟調查局發行ノ「國家的、私人的、經濟的組織基礎」
三、京大新聞部内紛ニ對スル對策ノ件

一、昭和五年一月二十日午後七時ヨリ學生集會所ニ於テ茶話會ヲ開催シ研究會ノテキストヲ決定ス

作田莊一著「自然經濟ト意志經濟」

一、同年十一月七日夜京大學生集會所ニ於テ左ノ通り役員ヲ改選ス
幹事(長格)―山中勇(經三)、鬼崎末男(同)、藤松佳晨(經一)

一、同年同月末ニ至リ前幹事山中、鬼崎等ノ後ヲ襲ヒテ左記幹事トナル
幹事(長格)―長尾郡太(法三)、佐藤光廣(經三)、吉村悟朗(法三)

一、同年十二月一日ヨリ一週間ニ互リ日本新興學生協會及ビ辛羊會ト共ニ滿洲事變戦死傷病者ノ遺族家族ノ慰問金募集ヲ爲シ應募金二百六十圓餘ヲ得、第十六師團ニ之ガ處置ヲ依頼ス

一、昭和五年三月十四日豫テ東上中ノ會員田倉利之(文一)ガ血盟團關係者トシテ警視廳ニ於テ檢舉取調ヲ受ケ更ニ會員森憲二(法一)、星子毅(經二)等ハ同ジク血盟團關係者ナルコト判明、三月十七日未明檢舉シ取調ノ爲出張セル警視廳刑事部員及當廳員ニ於テ取調ノ上翌十八日東京ヘ護送ス

一、同年五月三日京大學生集會所ニ於テ大日本新興學生協會ト合同協議會ヲ開催、左記事項ヲ協議決定シタリ

一、京都愛國學生聯盟ニ關スル件

京都愛國學生聯盟加盟ハ從來學校單位ナリシガ今後之ヲ個人加盟ニ改メ、聯盟員獲得ニ便ナラシムベク之ガ改正ヲ各學校ニ問合ハスコト

一、京大愛國學生聯合會ノ件

京大愛國學生聯合會ハ學生課ノ諒解ヲ得タルモ未ダ正式ニ届出ヲ爲サザルヲ以テ今後本聯合會ノ名稱ヲ用ヒザルコト

一、滿蒙問題座談會開催ノ件

猶興學會及新興學生協會共同主催ノ下ニ五月五日京大學生集會所ニ於テ京大配屬將校柳下大佐ヲ聘シテ滿蒙問題座談會ヲ開催スルコト

一、同年同月九日事務所ヲ市内左京區吉田神樂岡町四山上市次郎方ニ移轉ス

一、同年同月二十四日神州報國會事務所ニ於テ京都各右翼團體聯絡協議會ニ長尾郡太出席シ、神州報國會與國青年同盟等ト今後提携ヲ約ス

京都愛國學生聯盟

事務所 左京區吉田二本松町三二 西村幸三郎方(幹部京大法三)服山良雄下宿先

創立 昭和六年十二月六日

關係團體 京都帝國大學猶興學會、京都帝大日本新興學生協會、洛北青年同盟
資金ノ出所 必要ニヨリ會員ヨリ徴收

幹部及主 佐藤光廣(京大經三)、淵上雄二(京大法三)、藤松佳晨(京大經三)、脇山良雄(京大
ナル會員 法三)、長岡良徳(同志社高商三)
會員 數 京都市内各大學、高等學校、專門學校學生、生徒約五〇〇名
主義綱領

三五八

盟 誓
吾等ハ純真激濁タル學生ノ立場ニ依リ犧牲殉國ノ精神ヲ以テ團結シ、皇國日本ノ大理想ニ向ヒ
邁進センコトヲ誓フ

綱 領

- 一、吾等ハ非日本の思想ノ撲滅ヲ期ス
- 一、吾等ハ全人類ニ對シ皇道ノ宣布ヲ爲サムコトヲ期ス
- 一、吾等ハ常ニ愛國精神ニ基キ社國防衛ノ士タラムコトヲ期ス
- 一、吾等ハ正シキ輿論ノ喚起ヲ期ス

主ナル行動

一、昭和六年九月滿洲事變勃發スルヤ之ニ刺戟ヲ受ケタル京大猶與學會幹部長尾郡太、藤松佳
晨、森憲二等ハ京都地方ニ於ケル各學校ノ右翼學生ヲ糾合シテ強力ナル愛國學生團體ノ組織
ヲナサザルベカラズトナシ、昭和六年十月末頃ヨリ之ガ實現ニ奔走シ日本新興學生協會幹部
(京大)坂田勝郎、横山豊三、洛北青年同盟(同志社高商)中川裕、長岡良徳、立命館大學錦衛
隊員山本佐一、瀬川信夫、府立醫科大學學生森昇、滿上三郎、其ノ他十二校ノ右翼學生ノ共

SP. 249

371

鳴ヲ得テ、昭和六年十二月六日市岡崎グラウンドニ於テ京都愛國學生聯盟結成式ヲ舉行
シ、續テ京大學生課ノ應接ヲ得テ滿洲事變戰死者慰靈祭ヲ執行セリ、其ノ概況次ノ通り
一、出席參加校及人員

同志社大學七〇、同志社高商三〇、龍谷大學二三、三高一、武道專門二〇〇、府立醫大五〇、
大谷大學二〇、京都藥專五、臨濟宗大學二〇、繪畫專門五、高等工藝一〇〇、京都帝大五〇、
高等蠶業一五〇、京都專門五、立命館大學二五、計九四九名
二、主ナル來賓者
山本十六師團長、土屋聯隊區司令官、田島立命館學長、各高等專門學校長、各校軍事教官

372

三、決議文

- 一、我等ハ滿蒙ノ既得權ヲ死守シ日支懸案ノ徹底的解決ヲ期ス
 - 一、我等ハ軟弱外交ヲ排シ強固ナル國民外交ノ樹立ヲ期ス
 - 一、我等ハ祖國ノ危機ニ臨ミ斷乎トシテ一切ノ亡國の運動ヲ排撃ス
 - 一、我等ハ極力一致民心ヲ開導シ、輿論ヲ統一シ、國內ニ於ケル一切ノ矛盾ヲ匡正シテ帝國
國是ヲ確立ス
 - 一、我等ハ全日本愛國學生聯盟ノ結成ヲ提唱ス
- 式後決議文ヲ陸軍大臣、參謀總長、第二、第十六師團長、關東軍司令官、滿洲獨立守備隊司令
官、外務大臣、大阪、關東、愛國學生聯盟宛郵送ス
- 一、昭和七年五月十五日福岡市外香椎村字七田原香椎溫泉ニ於テ西日本學生愛國團體第一回連

三五九

SL. 49

I-0726

絡協議會ヲ開催シタリ、會同者及協議事項左ノ如シ

三六〇

一、合同者
京都愛國學生聯盟(京大) 脇山良雄、淵上雄二。福岡愛國學生聯盟(九大) 吉峯徳之助外五名。廣島愛國青年同盟(廣商) 福原忠秋

一、協議事項

一、情勢報告及今後ノ情勢交換

各代表ヨリ情勢報告ヲ爲シタル爲、今後週一回以上相互情勢ノ交換ヲ爲スコトニ決定

一、關東方面學生愛國團體ニ對スル連絡

學生愛國運動ノ全國的統一ヲ期スベク、關東方面各學生愛國團體ニ連絡方ノ交渉ヲ爲スコトニ決定、同交渉ヲ京都愛國學生連聯盟ニ一任

一、名稱

未ダ第一回協議會ヲ開催シタルノミニシテ名稱ノ決定困難ナリトシ一先保留シ、京都愛國學生連聯盟ニ於テ決定スルコトニス

一、大阪愛國學生徒聯盟ヘノ連絡

協議會ニ出席セザリシ大阪愛國學生徒聯盟ニハ京都學生連聯盟ニ於テ連絡ヲ執ルコトニ決定

一、昭和七年五月二十日前記脇山、淵上兩名ハ福岡ヨリノ歸途大阪愛國學生徒聯盟責任者(關大)

藤田藤一ト會見、前記協議會ノ狀況ヲ報告シ今後ノ提携連絡ノ交渉ヲ爲シタリ

一、昭和七年六月十九日中京區三條柳馬場角三條青年會館ニ於テ大阪市居住池崎忠孝ヲ聘シテ

ノ講演會ヲ兼テ聯盟大會ヲ開催シタリ、講演者及演題左ノ如シ

「舶來國家思想ノ批判」(同大) 馬場不二雄、「固キ結束ヘ」(帝大) 横田俊一、「國際主義ト

國家主義」(池崎忠孝)、「立憲政治ノ運命」(立大) 田中伊佐次

一、同年九月十八日滿洲事變一週年記念日ニ宣傳ビラ五千枚ヲ作成、加盟學校學生、生徒ニ手

渡セリ

日本新興學生協會

事務所 左京區吉田二本松町三二西村方、脇山良雄方

創立 昭和六年十一月二十七日

系統 國家社會主義

關係團體 京都愛國學生聯盟、京都帝國大學猶與學會

資金ノ出所 必要ニ應ジ會員ヨリ割當徴收ス

幹部及主 庶務部 武尾健藏(法三)、横山豊三(法二)。調査部 西岡光彦(法二)、山口一郎(法

ナル會員 一)、會計部 脇山良雄(法二)、淵上雄二(同)

會員數 一五名(京都帝國大學々生)

主義綱領

主義綱領ノ決定ナキモ設立趣意書次記ノ通り

日本民族カ大和島根ニ國ヲ建テテ以來、一貫不斷ノ生命ハ流レ流レテ悠々三千年、世界ヲ舉

三六一

SP. 249

374

SP. 249

373

I-0726

ケテ混迷ノ中ニアル、今吾等カ祖國日本ハ何處ニ行クカ？ 吾等カ眼前ニ見ルハ只第三期資本主義ノ行キ詰リニ依リテ惹起サレタル世界經濟恐慌ノ中ニ喘ク暗黒日本ノ姿テアル、個人ニテ恣恣キ國家否定ノ道ヲ進ラントスル

三六二

金融資本ハ資本利子ノアル處、祖國ヲ捨テテ或ハ「ドル」ト「ポンド」ト握手シ、産業資本ハヒタ向キニ利潤ヲ追求シテ吾等カ同胞ヲ顧ミナイ、飢餓線上ニ彷徨スル無産同胞ノ姿ハ吾等ノ正視スルニ堪エサル所、今ヤ日本ハ國民經濟ト實民主義トノ相反ニ懊惱シツツアルノテハナカラウカ、之ニ對シ無産階級ノ解放ヲ叫ブ者、或ハインターナショナルナリズムノ非現實性ヲ認識セス世界統一の經濟ノ出現ヲ空想シ觀念的社會運動ノ非科學性ヲ忘却スル、一ハ進歩ナキ秩序ヲ死守スルモノ、他ハ秩序ナキ進歩ヲ夢想スルモノ、頑迷固陋ト混沌亂離、兩ツナカラ「國家の道念ナキ徒輩」總テ我ノ組スル所テハナイ

然ラハ民族闘争ノ歴史ノ織リ出セル世界ノ現狀ハ如何？ 生産資源ノ國家的不平等所有、白人ニヨル有色人種壓迫コソカ世界ノ正義テアリ秩序テアルト爲サレテキル、一資源獨占狀態ノ維持ヲ目的トシノ永久化ヲ計ラントスル國際聯盟ハ、今ヤ日本國民經濟ノ正當ナル滿蒙資源要求ヲ阻ムコトニヨリソノ馬脚ヲ露ハサントシツツアルノテハナカラウカ、國際的資源貧弱國日本ハ假面的正義（世界現狀維持）ノ犧牲トナツテ衰亡ノ一路ヲ進ルノ外ナキカ、民族ヲ擧ケテ自滅ニ至ルノ外ナキカ、斯クテ幾多ノ問題ハ澎湃タル現下ノ思想界ニ提出セラレキルノ秋、祖國日本ハ何處ヘ？ コレソ吾等カ最大ノ關心事テアル、併シ乍ラ吾等ハ研究途

SP. 349

375

主ナル行動

- 一、昭和六年十一月二十七日滿洲事變ニ刺戟セラレタル京都帝國大學右翼學生坂田勝郎（法二）、横山豊三（同）、脇山良雄（同）等中心トナリテ創立セラレ創立ト同時ニ學生課ニ届出ヲ了シ、文學部教授矢野仁一ヲ指導教授ニ推ス
- 一、同年十二月一日ヨリ一週間友誼團體タル猶興學會及辛羊會ト共ニ滿洲事變戦死傷病者及家族並遺族慰問救恤金募集ヲナシ、募集金合計三百圓〇五錢ノ内ヨリ諸費用ヲ差引殘金二百七十六圓ヲ第十六師團ヲ經テ陸軍省ニ委託ス
- 一、昭和六年十二月六日京大猶興學會ト提携シテ京都ニ於ケル各大學、専門學校等ノ右翼學生々徒ヲ糾合シ京都愛國學生聯盟ヲ結成セシム
- 一、同年同月十一日午後三時ヨリ法經第一教室ニ於テ日本新興學生協會發會式ヲ舉行、終ツテ引續キ印度人志士ボーズ氏ノ講演ヲ聴取ス
- 一、從來會員十名内外ニシテ其ノ後活動ナカリシガ、新入學生ヲ會員ニ獲得スベク昭和七年五月三日學内各場示場ニ「現代日本ハ完全ニ混亂ニ陥リ皇國興亡ノ岐路ニ立ツテ思想ノ廓清、經濟組織ノ改革、滿洲國ノ教導、對外策ノ確立ニ貢獻スルコトコソ吾人ノ使命デアル、吾人

三六三

SP. 349

376

I-0726

ハ只日本の信念ノ養成、世界的認識ノ透徹、日本の行藏ノ勇健ヲ期スルコトニヨリ人類文化ノ進運ニ參與シ得ルモノト信ズ、同志諸君ノ加盟ヲ切望スル旨ノ揭示ヲ爲シタリ
一、同年六月十日京大樂友會館ニ於テ京大文學部教授文學士和辻哲郎ヲ聘シテ講演會ヲ開催シタリ、演題「現代日本ト町人根性」

三六四

377

二、大阪

(1) 一般右翼團體

吾妻會

事務所 港區九條通り一丁目九六
創立 昭和三年六月一日
關係團體 大日本國粹會
機關紙 吾妻會々報
資金ノ出所 會員ヨリ一ヶ月二十錢徴收
背後ノ人物 岩井正次郎、佐々木辰之進、小田信之
幹部及主 理事長―家村啓次郎。幹事長―鈴木田太郎。理事―伊藤友一、森川爲次郎
ナル會員 約六五名
主義綱領
本會ハ有ユル階級ヲ網羅シ、貧富貴賤ヲ問ハス時勢ニ覺醒シ、正義ノ大道ヲ踏ミ、人格ノ修養、社會奉仕ノ念ヲ抱ケルモノノ集團ニシテ、會員相互ノ人格ヲ向上シ交誼ヲ醇シ、吾カ國粹ノ美風ヲ涵養シ、職業ニ勉勵シ、節約以テ生活ノ安定ヲ計リ、純良ナル子孫ノ教養ヲ爲シ、舊ヲ忘

三六五

SP. 349

378

SP. 349

I-0726

レ新ニオクレサラシカ爲ノ修養練磨ヲ爲シ社會改善ノ促進ニ努力シ、事變又ハ災禍アラハ身命ヲ賭シ救援防護ニ任ス
主ナル行動
一、特記事項ナシ

三六六

愛國青年黨

事務所 西淀川區福町五五 月本松吉方
創立 昭和四年三月八日
系統 國家主義
關係團體 黑龍會、大洋會
資金ノ出所 黨員ヨリ月額五十錢ヲ徴シ、各種知名人士ヲ訪問寄付ヲ受ク
背後ノ人物 今北治作
幹部及主 黨主―月本松吉
ナル會員 數 一〇名
主義綱領
一、國體無視ノ朋黨政治ヲ排撃シテ天皇中心政治ノ確立ヲ期ス
二、國體冒瀆ノ社會主義、無產政黨運動ノ徹底的排滅ヲ期ス
一、武士道ヲ鼓吹シ忠國愛國ノ精神ヲ以テ國威ノ發揚ヲ期ス

St. 49 379

一、産業ノ振興ヲ計リ健全ナル國民生活ノ樹立ヲ期ス
主ナル行動

一、大洋會高橋哲二、福本照堂等ト共ニ民政内閣打倒演說會（昭和六年二月乃至三月下旬ニ互リ）ヲ開催シ、住友財團演說會（昭和六年九月頃）ヲ開催セシコトアリ
其ノ他參考事項

一、月本松吉ハ本年二月ノ總選舉ニ際シ政友會ヨリ出馬セシ鈴木八郎候補事務所ヲ訪問シ金錢ヲ強要シタルニヨリ檢束處分ニ付ス、尙同志時田榮治ハ昭和三年八月四日大阪地方裁判所ニ於テ暴力行爲等處罰ニ關スル件ニヨリ懲役四月ニ處セラレタルモノナリ

愛國奉公團

事務所 浪速區東關谷町二ノ八 泉捨治方
創立 昭和六年十月十五日
系統 皇室中心主義
資金ノ出所 役員一人月十錢、平團員一人一月五錢、其ノ他團員據金及有志寄附金ニ依ル
幹部及主 團長―森山留吉。副團長―廣島寅吉、森川直次郎。顧問―島田寅吉。元老―柴田甚
ナル會員 之助
會員數 四〇〇名
主義綱領
一、皇室中心主義ニ依リ義勇奉公ヲ尙ヒ國威ヲ發揚シ民族發展ニ資ス

三六七

St. 49 380

一、團員間ノ親睦ヲ計リ慶弔ニ際シテハ同情ノ意ヲ表シ又ハ慶賀ス
主ナル行動

三六八

一、昭和六年十月十五日滿洲事變ニ依リ組織ヲ計畫シテ之ガ組織ヲ見、出征兵士ニ對スル慰問
金贈呈ヲ計劃シ、給行商隊ヲ編成シ附近一般ニ之ガ販賣ヲ爲シ純益金百十圓六十四錢ヲ同年
十二月四日大阪毎日新聞社ヲ通ジテ寄贈ス

一、出征兵士ノ送迎ヲ爲ス

一、昭和七年三月八日大毎滿洲特派記者茅野一遭難ニ際シ前記方法ニテ純益五圓寄贈ス

一、同年三月八日爆彈三勇士ノ靈ニ對シテ敬意ヲ表シ前同様ノ方法ニ依リ金十圓ヲ寄贈ス

一、同年三月九日出征兵士宿泊セルニ際シ團員ノ據金ニ依リ兵士二十二名ニ對シ葉書二十枚宛
ヲ送ル

一、其ノ他團員家族ニ慶弔アル毎ニ之ヲ慶弔シ又ハ貧困者ニ對シテハ時ニ應ジテ援助ス

櫻 花 會

事務所 浪速區南阪町一五九 細川信吉方

創立 大正十三年二月十五日

系統 故野口榮次郎ノ配下

關係團體 大日本國粹會

資金ノ出所 會費月二十錢宛徴收

380

381

幹部及主
ナル會員 會長 細川信吉
會員數 六〇名

主義綱領

皇室中心主義ニ依リ仁俠ヲ本領トシ普ク憂國ノ志士ヲ糾合シテ國家ノ緩急ニ應シ奉公ノ實ヲ舉
クルト共ニ國民ノ公益ヲ擁護スルヲ以テ目的トス

主ナル行動

一、大正十三年八月大阪市電從業員ノ労働爭議ニ際シ、同月九日會長細川信吉、實行委員長入

江爲信ノ兩名ハ罷業團員ノ屯宿セル高野山合宿所ヲ訪問シ復職勸告ヲ試ミタルモ、當時已ニ

酒井榮藏並ニ高野山法主ノ兩名ニ調停ヲ一任シアリタルヲ以テ其ノ儘下山シ、大阪市内ニ滯

在中ノ同法主ヲ訪ヒ圓滿解決方ヲ依頼セリ

一、昭和三年二月衆議院議員選舉ニ際シ會長細川信吉ハ實兄信次郎ト共ニ政友會候補者山本芳

治ヲ後援シタリ

大阪中央市場國粹義團本部

事務所 此花區下福島三丁目、大阪中央市場

創立 昭和六年十一月八日

系統 國家主義

資金ノ出所 會員ヨリ毎月一圓宛納入

三六九

382

I-0726

幹部及主
ナル會員 部長 村井龍藏
會員 數 八〇一名
主義綱領
一系ノ皇室ノ尊嚴ヲ拜シ盡忠報國ノ誠ヲ致ス
主ナル行動
一、特記事項ナシ

大阪市敬愛會

事務所 西成區旭南通六丁目九番地
創立 昭和七年三月二十二日
資金ノ出所 會員ヨリ月額三十錢納入
背後ノ人物 上田孝吉
幹部及主
ナル會員 石川金藏、西川庄一、西島庄吉、堀英之助、徳廣定之助
會員 數 一三〇名
主義綱領
思想悪化シツツアル今日漫然看過拱手傍觀ス可キ秋ニアラス、奮然蹶起一路邁進成敗利鈍ヲ顧
ル邊ナク阻止防遏ニ全力ヲ注カサルヘカラス、此ノ際國民ノ精華タル日本魂ヲ發揚セサルヘカ
ラス

主ナル行動

一、大阪市防空運動ニ參加ノ豫定
一、産業組合法ニ依ル信用組合設立ノ豫定

大阪愛國青年聯盟

事務所 北區梅ヶ枝町一五七、梅ヶ枝ビル内
創立 昭和七年七月
系統 國家主義
關係團體 大阪愛國學徒聯盟、護國青年聯盟
幹部及主
ナル會員 木村義明(慶大卒)、岡市正夫(京大卒新聞記者)、藤田藤一(關大生)
主義綱領
盟 誓
吾等ハ純眞果敢ナル青年ノ立場ヨリ犧牲殉國ノ精神ヲ以テ團結シ、皇道宣布眞日本建設ノ前衛
タランコトヲ誓フ
暫定綱領
一、吾等ハ一君萬民、共存共榮ヲ以テ眞日本ノ理想トシ、凡ユル非日本の存在ヲ排撃ス
一、吾等ハ建國ノ精神ニ基キ大日本文化ノ興隆ヲ圖リ、苟モ帝國發展ノ前進ヲ阻害スルモノニ
對シテハ斷乎トシテ之ヲ排撃ス

I-0726

一、吾等ハ青年階級ヲシテ眞ノ愛國運動ノ中堅タラシメンカ爲、國家思想ノ養成、質實剛健ノ氣風作興ニ努メ柔弱怠惰ノ風ヲ驅逐ス
一、吾等ハ青年ノ社會的任務ヲ自覺シ、真理ノ探究、人格ノ陶冶ニ精進スルト共ニ一旦緩急アラハ身ヲ捧ケテ君國ニ殉センコトヲ期ス

三七二

主ナル行動

一、昭和七年八月八日結成宣言ヲ作成、約千部ヲ關係方面ニ配布セリ
一、創立以來大阪愛國學徒聯盟ト提携、在阪右翼青年ノ結集ニ努メツアリ

勤皇義會

事務所 天王寺區眞法町四七
創立 大正十三年九月十日
系統 國家社會主義
資金ノ出所 篤志家ノ寄附ニ依ル
幹部及主ナル會員 會長―永井義尙
會員數 二〇名
主義綱領
國家社會主義ヲ標榜シ、皇室ヲ遵奉シ、國體ヲ擁護シ、皇風ヲ鼓吹シ、君臣、父子、長幼ノ分度ヲ重シ、建國ノ大義名分ヲ明ニセンコトヲ期ス

SP. 249

385

主ナル行動

一、特記事項ナシ

極東亞細亞聯盟

事務所 中河内郡久寶寺村大字三津九二
創立 昭和二年六月一日
機關紙 亞細亞新聞(昭和五年一月以來廢刊)
資金ノ出所 亞細亞聯盟協會ヲ利用シ、贊同ヲ求メ會員ヲ要求シ以テ維持ス
幹部及主ナル會員 主幹―木本國三
會員數 約二〇名

主義綱領

遠ク數千年ノ往古ヨリ絢爛タル文化ノ花ノ咲キ誇リタル亞細亞カ、中興ノ歐米人ノ躍進ニヨリ今ヤ資本主義的侵略ノ魔手ヲ伸ハシツツアリ、此秋ニ當リ亞細亞民族ハ一大家族トシテ團結シ、亞細亞本來ノ教ニ歸リ、歐米ノ長ヲ採リ吾カ短ヲ補ヒ以テ亞細亞永遠ノ平和ト自由ヲ確立セントス

主ナル行動

一、航空獎勵ト航空先覺故人ノ招魂祭及ヒ體育獎勵ノ意味ニ於テ寒中水泳大會等ヲ開催
其ノ他參考事項

三七三

SP. 249

386

I-0726

一、常ニ大阪市内及郊外地ノ右傾團體ト交リ、會社、銀行及富豪ヲ歴訪シ亞細亞聯盟ノ趣意書ヲ見セ事業ノ援助方ヲ乞ヒ金員ノ供與ヲ受クルモノナリ

三七四

建國俱樂部

事務所 天王寺區石ヶ辻町一八 岡田豊一方
創立 昭和五年一月二十二日
系統 政友會院外團
資金ノ出所 篤志家ノ寄附ニ依ル
幹部及主 理事—岡松清、溝上憲政、三田尾大二雄
ナル會員 數 三〇〇名
主義綱領
會員ハ皇室中心主義錦旗ノ下ニ愛國無產者ヲ實踐的ニ抱擁スル正シイ政黨ヲ支持ス、是レ大和民族ノ感激ニシテ國民大衆ノ協力ヲ以テ健全ナル國民生活ノ確立ヲ期スヘク勇往邁進セントス
主ナル行動 一、特記事項ナシ

蛟龍會

事務所 此花區今開町二丁目二四

創立 大正十二年四月三日

資金ノ出所 會長ノ負擔

幹部及主 岩井忠勝

ナル會員 數 一〇一二名

主義綱領

本會ハ正義公道ヲ愛護シ精神ヲ修養シ、人格ノ向上ヲ計リ以テ健全ナル國民タルノ素質ヲ涵養シ、其ノ實ヲ舉クルヲ以テ信條トス

主ナル行動

一、特記事項ナシ

向友會

事務所 天王寺區國分町一九

創立 大正十五年四月十五日

系統 國家主義

資金ノ出所 篤志家ノ寄附ニ依ル

幹部及主 會長—大向惠一

ナル會員 數 約二〇名

主義綱領

三七五

SP. 249

388

387

SP. 249

I-0726

吾人ハ萬世一系ノ天皇ヲ奉シ國體ノ精華ヲ發揚センコトヲ期ス
一、忠君愛國ノ大本ニ則リ教育勅語、軍人勅諭ノ大精神ノ實現ニ努メ、放縱、浮華、輕薄ノ亡
念ヲ抑壓シ敢爲實實ノ氣風ヲ養フ
主ナル行動
一、特記事項ナシ

三七六

國士團

事務所 北區梅田町二九
創立 昭和二年五月二日
系統 民政系國粹主義
機關紙 國之光
資金ノ出所 團員ヨリ毎月五十錢ヲ據出
幹部及主 盟主―淺野新藏。顧問―廣瀬德藏
ナル會員 數 約一、〇〇〇名
主義綱領
趣旨
團員ハ相互ニ墮落ヲ戒メ眞ノ向上ヲ圖リ、外來思想ヲ排シ浮華輕舉ヲ慎ミ、吾等ガ美シキ國民
性ヲ發揮シ以テ自己ノ向上ヲ圖ル

SP. 249 339

綱領

一、自己ノ生活ノ安定ヲ圖ル事
一、仁タリ俠タルコト
一、國粹ヲ讚美スルコト
一、絕對眞面目タル事
主ナル行動
一、白米ノ共同購入ヲ爲シ實費ヲ以テ煩ツ
一、毎年五月總會開催

國柱會

事務所 南區千代町一七 中川良吉方
創立 昭和二年七月一日
系統 政友會院外團
資金ノ出所 會費ニ依リ維持スルコトナリ居ルモ現在納入スルモノナシ
幹部及主 會長―中川良吉
ナル會員 數 二〇〇名
主義綱領
皇室ヲ尊崇シ奉リ國體ヲ擁護シ赤心報國ノ忠誠ヲ期ス

三七七

SP. 249 390

I-0726

主ナル行動

一、昭和三年三月ヨリ雜誌「國柱」月刊ヲ發行シタルモ五月號限リ廢刊ス

國士會

事務所 此花區春日出町三一九 上山方

創立 昭和三年七月三日

機關紙

國華

資金ノ出所 會費トシテ月二十錢徵收及會社ノ寄附金若干アリ

幹部及主 會長―山本文太郎(職工)。副會長―山中彦平(同)、池中安次郎(同)。理事長―川崎

ナル會員 員(同)。顧問―佐伯長生(社員)、西田正一(同)、莊榮次郎(同)

會員數 約五〇〇名(内女八〇名)

主義綱領

一、我等ハ大日本帝國ノ本質ヲ把握シ「道ノ國」日本ノ完成ヲ期ス

二、我等ハ階級的鬭爭精神ヲ排除シ、正義人道ニ基キ共存共榮ノ實現ヲ期ス

三、我等ハ自己ノ本分ヲ盡スニ依テ地位ノ向上、生活ノ改善ヲ期ス

四、我等ハ質實剛健ノ精神ヲ發揮シ國民道德ノ實踐躬行ヲ期ス

主ナル行動

一、毎年三月定時總會、同七月記念大會ヲ開催スルノ外春季運動會ヲ開催ス

一、男子部及女子部ノ二部ニ分チ、男子部ハ毎年武術ノ鍊磨國士會講座(勞働問題、社會學)ヲ開設シ、女子部ハ茶道、裁縫等ノ講習會ヲ開催スル外隨時一般的講演會ヲ開催ス

國防社

事務所 東區北濱一丁目、國粹大衆黨内

創立 大正十五年六月十日

系 統

國家主義 關係團體 國粹大衆黨、亡國の軍縮排撃聯盟

機關紙

國防 資金ノ出所 笹川良一ノ出資

背後ノ人物 笹川良一

幹部及主 總裁―笹川良一。總務―笹川春二、岡田太郎、藤原天風

ナル會員 會 員數 五〇名

主義綱領

亡國の軍縮排撃聯盟ト同一主旨ニ依ル

主ナル行動

一、國粹大衆黨ト同一

I-0726

0255

國粹大衆黨

三八〇

事務所 東區北濱一丁目二八

創立 昭和六年二月二十一日

系統 國家主義

關係團體 亡國の軍縮排聯聯盟、國防社、國粹婦人聯盟

資金ノ出所 總裁笹川良一ノ私財ヨリ支出シ、會員ヨリ二十錢宛徴收スル形式ナルモ篤志家ノ寄附ニ依ル

幹部及主 總裁―笹川良一。總務―島山義雄、高田忠志、藤吉雄、岡田太郎、竹越卯一。書記長―川崎岡一。顧問―笹川春二、栗山珠外

會員數 約一、二〇〇名

主義綱領

大日本國民の自覺ニ基キ質實剛健、自己不中心主義ヲ體得シ、正義ノ大道ニ邁進ス

一、神武肇國ノ活精神ニ培ハレタル我國特有ノ文化ヲ擁護發展セシメ以テ國利民福ヲ期ス

一、産業上ノ自由競走ノ弊害ヲ芟除シ、相互扶助ノ精神ノ長養具現ヲ期ス

一、立法行政及地方自治ニ浸徹セル弊竇陋習ヲ打破シ神州正氣ノ伸張ヲ期ス

主ナル行動

一、昭和六年三月十日天王寺公會堂ニ於テ結黨式並ニ演說會ヲ開催ス

一、同年五月七日中央公會堂ニ於テ湯屋聯合會開催中黨員二名ハ湯錢値下ノ決議文ヲ手交ス

SP. 249

393

一、同年同月十三日島山、岡田、藤、竹越、高田等ハ船場ビルニ開催中ノ理髮組合聯合會ヲ訪問シ理髮値下促進ノ決議文ヲ手交ス

一、同年同月十四日府立實業會館ニ於テ開催中ノ對支、對露外交批判演說會ニ激勵ノ決議文ヲ發送ス

一、同年同月二十三日總務島山義雄ハ目下爭議中ノ住友合資會社製銅所ニ對シ爭議解決促進ノ勸告書ヲ手交ス

一、同年同月二十四日、朝日新聞五月二十五日附第一七七九三號第一面六段現業員大會遞信省內トアル記事ハ誤報ナリトシ、尙其ノ他最近ノ記事ハ爭議團其他ノ宣傳ニ關シ正否ヲ糾サズ報導スル傾向アルハ遺憾ナリトシ、警察部長、特高課長、大阪朝日新聞社長宛警告書ヲ發送ス

一、同年同月二十八日中央公會堂ニ開催中ノ公娼廢止期成會ノ講演會場ニ黨員六、七名侵入シ暴行ヲナシ所轄署ニ拘留サル

一、滿蒙事變ニ際シ出征歸還遺骨等將兵ノ送迎ニ其ノ都度黨員ヲ大阪驛ニ派ス

一、昭和七年三月二十日總裁笹川良一、總務島山義雄、岡田太郎、竹越卯一ハ清酒、漬物、菓子等ヲ携ヘ奉天ヲ中心トシテ各地ニ皇軍慰問ヲナシ翌四月九日歸阪ス

一、滿蒙事變ニ際シ大阪朝日新聞ノ論調非國民的ナリト稱シ之ヲ痛罵セル「パンフレット」ヲルンペン數十名ヲシテ街頭ニ立賣セシム

一、昭和七年五月二日中央公會堂ニ於テ第二回黨大會ヲ開催、宣言及宇内ノ形勢ニ鑑ミ國力ノ

三八一

SP. 249

394

I-0726

擴充ヲ圖リ、軍備ノ充實ヲ爲シ、以テ我大日本帝國ノ精華ヲ益々發現セシムル事ヲ期ス外四
項ノ決議等ヲ可決シ、引續キ演說會ヲ開催、滿蒙權益ノ確保、利權屋ノ滿蒙侵入排斥等ヲ叫
ビタリ

三八二

一、昭和七年八月二十二日總裁笹川良一ヨリ明糖問題ニ付高橋藏相以下二名ヲ背任罪トシテ東
京地方裁判所檢事局ニ告發ス

一、同年八月二十三日同問題ニ付大藏大臣ニ警告書ヲ郵送ス、越エテ同月二十六日中央公會堂
ニ國難打開明糖事件ニ關スル國民大會ノ名ノ下ニ時局批判演說會ヲ開催ス

國粹婦人聯盟

事務所 東區北濱一丁目二八、國粹大衆黨内
創立 昭和七年六月二十一日

系統 國粹大衆黨

關係團體 國粹大衆黨、國防社、大日本精華會

資金ノ出所 會費一ヶ月二十錢、其ノ他篤志家ノ寄附
幹部及主 名譽會長―笹川良一。理事長―小島光枝。副理事長―中山能子。常任幹事―橘貞子
ナル會員 主義綱領

日本婦人トシテ人格向上常識ノ涵養ヲ爲シ、婦道ノ顯揚ヲ期シ、以テ政治、經濟、宗教、社會
等ニ婦人ノ特性ヲ注入シテ難局打開、皇國ノ彌榮ニ獻身努力スルヲ以テ目的トス

pp. 249

395

國粹日本黨

事務所 南區末吉橋通一丁目、畏堀ビル三號室
創立 昭和六年十一月十九日

系統 國家主義

資金ノ出所 確實ナル出所ナシ

幹部及主 總裁―濱松政治郎。總務―杉野巖洞。幹事長―平地雄行。幹事―福田龍虎、河村壽
ナル會員 太郎、岡田奔馬
會員數 九名

主義綱領

一、本黨ハ立憲ノ大義ヲ重シ詔勅聖旨ノ普及徹底ヲ計リ以テ殉國ノ大業ニ任ス
一、本黨ハ純真ナル信念ニ燃ユル愛國者ノ人格結合ヲ計リ以テ昭和維新遂行ノタメニ殉國精神
ヲ貫徹ス

國防同志會

事務所 住吉區阿部野筋五丁目四一
創立 昭和六年八月十八日

系統 國權擁護

資金ノ出所 篤志家ノ出資ニヨル

三八三

pp. 240

396

I-0726

幹部及主 常任理事—大同和藏、近藤鼎
ナル會員 數 約三、五〇〇名
主義綱領

要旨

滿蒙特殊權益ノ確保、比隣各國ノ情勢並ニ國防智識ノ普及宣傳及赤化防止ヲナスモノトス
主ナル行動

- 一、昭和六年九月十五日以降三ヶ月ニ亘リ府下市郡部ヲ通ジ七十餘回ノ滿蒙問題講演會ヲ開催シテ統後ノ聲援ニ努ム
- 一、理事大同和藏ハ豫テ滿洲國移民準備委員トシテ奔走中ナリシガ、計畫具體化シタルヲ以テ昭和七年五月九日第一回移民トシテ約百八十家族四百名ヲ洮南方面ニ送ルベク神戸解纜「ウスリー丸」ニ乗船出發センメタリ

國防思想宣揚會

事務所 西區役所内
創立 昭和七年二月十日
資金ノ出所 役員幹事六十二名、評議員七百名カ年額金三圓宛寄附
幹部及主 會長—泉仁之助。副會長—川島清藏、南方熊次郎。常任幹事—高島長七
會員數 約一〇、〇〇〇人

主義綱領

趣意

國防ヲ充實シテ眞ノ平和ヲ生シ、平和ノ天地コソ人類ノ共榮ノ樂土ナリ、我帝國カ皇統連綿萬世一系ノ聖天子ヲ奉戴シ萬邦無比ノ國體ヲ誇リ、億兆世々鼓壤太平ノ生ヲ享クル者—ニ茲ニ因由スルモノナラサルハナシ……云々

小倉俠勇會

事務所 西區松島町二丁目三四
創立 昭和七年四月三日
資金ノ出所 會員ヨリ月額三十錢徴收
背後ノ人物 今北治作、榎谷寅吉
幹部及主 會長—小倉楠松。副會長—榎田友次郎、岸添仁三郎。幹事長—立花久吉。書記長—竹田留吉。會計監査—川添太郎、森田伊藏。會計—榎本忠生
會員數 五〇〇名
主義綱領

人格ノ向上、相互ノ親睦及交誼ノ醇厚ヲ圖リ、勤勉節約以テ生活ノ安定ヲ期シ、子孫ノ教養ニ努メ、緩急アル場合又ハ災厄ノ時ハ會員相互ハ勿論公衆ニ對シテモ急速ニ救援防護ニ任シ以テ義勇節義ヲ本領トス

主ナル行動

一、特記事項ナシ

護國青年聯盟

事務所 北區梅ヶ枝町、梅ヶ枝ビル内

創立 昭和七年六月十五日

系統 國家主義

關係團體 大阪愛國學徒聯盟、大阪愛國青年聯盟

資金ノ出所 會費一ヶ月一圓、其ノ他寄附金

幹部及主 理事—大野一郎、宮本巖、岡市正夫

ナル會員 數 八名

主義綱領

吾等ハ尊皇報國ノ誠ヲ致シ左ノ綱領ノ實現ニ一命ヲ賭スルモ悔ヒス

一、皇道主義世界ノ實現ヲ期ス

一、平和商權論ノ迷夢ヲ打破ス

一、自主獨立外交ノ實現ヲ期ス

一、經濟ヲ統制シテ外敵ニ備ヘヨ

一、救濟濟民事業ノ徹底化ヲ期ス

一、滿洲國ヲ即時承認セヨ
一、現在ノ國難ニ際シ絶對ニ軍部ヲ支持ス
一、以上ノ企圖ヲ阻止スルモノヲ擊破ス

主ナル行動

一、昭和七年七月一日滿洲國協和會來使節來阪ニ際シ「滿洲國即時承認ヲ提嘶スルノ檄」ト題スル檄文五千枚ヲ印刷シ之ヲ撒布ス

一、同年七月皇道主義ニ基ク青年運動ヲ起サムトシ、大阪愛國學徒聯盟、大阪愛國青年聯盟等ト相提携シ、同月十七日第一回委員會ヲ開キ、更ニ同月二十七日第二回委員會ヲ開キ、同月三十一日大阪衛戍病院ニ傷病兵ヲ慰問シタリ

小楠公菊水會

事務所 西成區東入舟町三七

創立 大正十四年四月

機關紙 小楠公菊水新聞

資金ノ出所 會員ヨリ一年三十錢徴收、毎年缺乏ヲ來シ會長之ヲ補充

幹部及主 會長—山中好松。副會長—天正秀太郎、上田保次郎

ナル會員 數 約七、〇〇〇名

主義綱領

小楠公ノ墳墓ノ地ナル中河内郡繩手村往生院ヲ後援シ、至忠至孝ノ小楠公ノ遺風ヲ極力顯揚シ

善良ナル民タルノ方便ニ敬神ノ念ヲ喚起シ、正シキ信仰ニヨラシムヘク全力ヲ傾ケ盡サントス
ルモノナリ

三八八

主ナル行動

- 一、昭和六年十一月一日府下中河内郡繩手村往生院ノ小楠公碑建立、大護摩供ヲ行フ
- 一、同年十二月十四日部内今宮第三小學校ニ於テ火災豫防、盜難豫防ノ講演會ヲ開催
- 一、同年同月二十日部内今宮第六小學校ニ於テ火災豫防、盜難豫防ノ講演會開催

昌武會

401

事務所 西區江戸堀北通五丁目二二
創立 大正十四年五月十一日

系統 國家主義
幹部及主 門福太郎
ナル會員 約九〇名

主義綱領

- 一、皇祖建國ノ精神ヲ奉戴シ君恩一日モ忘却ス可カラサル事
- 一、文武濟美ノ實ヲ致シ武士道ノ精神ノ發揚ヲ期スル
- 一、安キニ在ツテ亂ヲ忘レヌ業務ニ勵シテ緩急事ニ備フル事
- 一、本會ノ趣旨ヲ普及センカ爲メ武士道ヲ鼓吹シ辯論部ヲ設置スル事

SP. 249

若龍會

事務所 港區泉尾上通三丁目四二
創立 昭和六年四月二十六日

系統 國家主義
資金ノ出所 會費一人二十錢
幹部及主 會長一北端幸太郎
ナル會員 約七〇〇名

主義綱領

皇室中心ノ大主義ニ則リ、武士道ノ精華タル國粹道ニ立脚シ大義名分ヲ尊重ス
主ナル行動
一、辯論部、柔道部、野球部、演藝部等ヲ設ク

402

神州護國黨本部

事務所 此花區上福島南三丁目二四

創立 昭和六年十二月二十日
系統 國家主義
關係團體 日本生産黨
機關紙 東亞時報

三八九

SP. 249

I-0726

資金ノ出所 會費月三十錢
幹部及主 榎本佐市
ナル會員 數 一〇二名

主義綱領

祖國主義ヲモツテ本黨ノ黨是トス
一、皇室ヲ尊ヒ、祖國ヲ愛スヲ國民精神ノ中核トナス

主ナル行動

一、創立以來大阪毎日新聞ノ不買同盟ヲ煽動シ來リ現在ニ至ル

政研俱樂部

事務所 南區末吉橋通一丁目、長堀ビル内
創立 昭和三年八月五日

系統 政友會院外團
機關紙 政研

資金ノ出所 機關紙ノ廣告料及柔拳興行ノ利益金ヲ充當ス
幹部及主 總務―福本種市。幹事長―福本種市。書記長―木村重藏。幹事―岡松仙堂、時田榮

ナル會員 三郎、高橋哲二、木村鐵、谷治郎
會員數 約一〇〇名

主義綱領

一、皇室ヲ尊崇シ、國體ヲ擁護シ、報國ノ忠誠ヲ以テ皇室中心主義ノ下ニ議會政治ノ徹底ヲ期ス

主ナル行動

一、特記事項ナシ

正道會

事務所 東成區南生野町一丁目六七
創立 昭和四年一月十日

系統 黑龍會系
關係團體 大日本生産黨

機關紙 正道

資金ノ出所 正道購讀料及有志ノ寄附ニ依ル
背後ノ人物 板野友造

幹部及主 理事長―堀川成一。理事―梶谷泰湧、吉川寅藏、堀川修、田中稔
ナル會員 數 約四〇〇名

主義綱領

一、本聯盟ハ立憲ノ主義ヲ重シシ詔勅聖旨ノ普及徹底ヲ計リ以テ殉國ノ大業ニ任ス

I-0726

- 一、本聯盟ハ純真ナル信念ニ燃ユル愛國者ノ人格的結合ヲ計リ以テ昭和維新遂行ノ爲ニ殉國精神ヲ貫徹ス
- 一、本聯盟ハ時局ニ對シテ斷シテ左右ニ偏セス嚴正至純ノ宗教的信念ニ基ク皇室中心運動ヲ以テ主眼トス
- 主ナル行動
- 一、特記事項ナシ

泉州報國團

- 事務所 岸和田市上ノ町三二七
- 創立 昭和七年六月十日
- 資金ノ出所 必要アル毎ニ會員ヨリ據出
- 背後ノ人物 代議士山口義一
- 幹部及主ナル會員 幹事長―井上天瑞
- 會員數 五〇名
- 主義綱領

- 一、皇室ヲ尊ヒ、立國ノ精神ヲ體シ正義ヲ重シ、曲學ノ徒阿世ノ輩ヲ退ケ、共產主義ヲ排撃ス
- 一、國粹ヲ標語トシ鬪争ヲ避ケ、理智ヲ磨キ、國體觀念ノ普及徹底ヲ期ス

大日本正義團

- 事務所 淀川區豊崎西通一丁目三四
- 創立 大正十一年一月一日
- 系統 國家主義
- 機關紙 正義時報
- 資金ノ出所 各支部員月額二十五錢ヲ納入ス
- 幹部及主ナル會員 主盟―酒井榮藏。取締―森田廣吉、杉岡重吉、蓮井香次郎
- 會員數 約三五、〇〇〇名
- 主義綱領

- 一、忠君愛國、孝行信義ノ念ヲ專ラトシ、己カ稼業ニ精勵スヘシ
- 一、仁道正義ヲ旨トシ慈悲仁俠ヲ忘ルルナ
- 一、自重ノ念ヲ起シ廉恥ノ心ヲ養ヒ共同親和ノ實ヲ擧ケヨ
- 一、主盟ハ親ノ如ク、團員ハ子ノ如ク、團員同志ハ一家兄弟タリ
- 一、主盟ノ命ハ必ス之ヲ恪守シ、兄弟ハ互ニ相親ミ、相扶ケ、又禮讓ヲ忘ル可カラズ
- 主ナル行動
- 一、大正十三年七月大阪市電爭議ニ際シ主盟酒井榮藏調停ニ入り團員之ヲ補佐シ無事解決ヲ見タリ
- 一、大正十二年九月關東大震災ニ際シ、當時ノ後藤内相ノ許可ヲ受ケ交通、倒壊家屋ノ整理並ニ救護等ニ従事ス

三九三

SP. 249

406

405

SP. 249

I-0726

- 一、昭和二年三月奥丹後震災ニ際シ救援隊トシテ出勤並ニ慰問品ヲ贈呈ス
- 一、昭和四年六月 聖上陛下關西行幸ニ際シ、勞務奉仕トシテ行幸沿道十二萬間ノ抗打五萬七千枚ノ遊敷十二萬間ノ繩張リヲナス、出勤従事人員約三千名
- 一、昭和五年四月鐘紡兵庫工場従業員減給ニ依ル爭議ヲ調停ス
- 一、昭和六年二月前後三回ニ亘リ本部、京橋、今宮ニ於テ失業業者無料理髮ヲ舉行、施行人員一千二百名
- 一、昭和三年五月第三師團山東出兵見送りノタメ團員二千名築港棧橋ニ出場、安滿師團長ヨリ感謝狀ヲ受ク
- 一、昭和六年二月六、七ノ兩日ニ亘リ扇町公園京橋阿部野阪和今宮ニ於テ失業業者ニ對シ一萬杯ノうざんヲ施與ス
- 一、昭和七年一月滿洲事變出征將士ノ歡送並ニ戰死傷者、凱旋將兵ノ歡送等前後三十數回ニ及ビ出場團員一千名

三九四

大日本國光宣揚會

事務所 天王寺區西高津中寺町二五、福泉寺内
 創立 大正十一年四月三日
 關係團體 府下教化團體聯合團及中央教化團體聯合團
 機關紙 國光

SP. 249 407

資金ノ出所 會費一人一ヶ月二十錢ノ半年分前納及講演會ニ依ル寄附金
 背後ノ人物 陸海軍將官並ニ宗教家
 幹部及主 會長―陸軍中將權藤傳次。理事―太田日秀、佐本繁藏、住田幹作、大村恒次郎、水ナル會員 野惠壽

會員數 二、五〇〇名
 主義綱領
 本會ハ歷代天皇ノ御勅教ノ聖旨ヲ奉戴シ、日蓮主義ニ依リテ大義名分ヲ高揚シ、尊皇護國ノ大目的ヲ達成セムコトヲ期シ、明治天皇ヲ奉祀シテ御聖德ヲ宣傳シ、宗教道德ニ關スル同志ヲ糾合敢テ一宗一派ニ偏セス王佛一體ノ旨ヲ闡明シ、忠君愛國ノ觀念ヲ蘊蓄シテ一旦緩急ノ場合ニ備フヘキ國民思想ノ善導ヲ以テ目的トナス

主ナル行動
 一、機關雜誌「國光」ヲ發行シ毎月一回之ヲ會員ニ之ヲ配布ス
 一、會長、幹事ハ全國各支部其ノ他ニ出張講演ヲ開催シ、日蓮主義ノ宣傳ヲ爲シ思想ノ善導ニ努ム
 其ノ他參考事項
 一、全國ニ亘リ十八支部ヲ有ス

三九五

SP. 249 408

I-0726

大日本櫻花會

事務所 住吉區駒川町八丁目三七 所方

創立 大正十二年一月一日

關係團體 黑龍會、蛟龍會

資金ノ出所 會員ヨリ月五十錢納入

幹部及主 會長―所三五郎

ナル會員 數 五〇〇名

主義綱領

本會員ハ敬神愛國、天理人道ヲ守リ、眞ノ實業家の俠客團ヲ以テ組織シ、遊俠ノ人ヲ導キ、皇恩ノ萬分ノ一ナリ共報センノ目的ナリ

主ナル行動

一、特記事項ナシ

大成組祐護會

事務所 港區桂町一丁目一〇

創立 大正十五年六月十五日

資金ノ出所 會長ヨリ五百圓寄贈、會費一人一月五十錢

幹部及主 會長―小南久太郎。副會長―入江爲信

ナル會員

會員數 八五名

主義綱領

會員ハ仁義博愛ヲ經トシ、親善互助ヲ緯トシ、常ニ人格ノ向上發展並思想善導ヲ計ル

主ナル行動

一、會員ニ武道ノ鍊磨ヲスル外見ルベキ行動ナシ

大日本國士會本部

事務所 住吉區阪南町中二丁目一

創立 大正十五年七月二十日

系統 政友系皇室中心主義

資金ノ出所 篤志家ノ贊助ヲ受ケントスルモ贊助金出資者ナシ

幹部及主 會長―川島三郎

ナル會員 數 約二〇名

主義綱領

一、敬神愛國ノ精神ヲ體シ且ツ普及スル事
二、誤レル極端ナル左傾思想ニ反對シ其ノ破滅ヲ期スル事
三、物質文明ニ陶醉セル輩ニ反省ヲ促ス
四、東洋文化ノ復興ヲ期スル事

主ナル行動

一、大正十五年七月二十日柔道場ヲ新設、拳闘、柔道ノ試合ヲナスベク聲明セリ

三九八

大日本勞資會

事務所 岸和田市沼町五二一

創立 昭和二年十二月一日

機關紙 勞資新聞(發行豫定)

資金ノ出所 必要ニ應ジ會員ヨリ釀出

幹部及主 會長―鈴木武イノム。購買部長―東京孝三郎。托兒部長―鈴木末吉。顧問―川崎正一、原

靜村

會員數 約四五〇名

主義綱領

勞資協調。國粹保存

主ナル行動

一、特記事項ナシ

大日本精華會本部

事務所 東區今橋一丁目三

SP. 249

411

創立 昭和四年四月五日

資金ノ出所 篤志家ノ寄附ニ依ル

幹部及主 副會長―本林常吉。理事長―久保俊之助。理事―鈴木陽三、中井爲一。書記長―井

上滿

會員數 約一〇〇名

主義綱領

萬民協力一致シ民風ヲ作興シ、吾人ノ福利増進ヲ計リ、以テ國體ノ精華發揚ノ爲メ盡瘁シ、吾

人ノ使命ヲ果スヘキヲ契フ

主ナル行動

一、特記事項ナシ

大日本報國會

事務所 東成區森小路七丁目一四、波部悦三方

創立 昭和四年四月三十日

機關紙 大日本報國會時報

幹部及主 關西本部常任理事―波部悦三

會員數 約一五名

主義綱領

三九九

SP. 249

412

I-0726

建國ノ精神ヲ涵養シ思想國難ヲ打開シ、國家無窮ノ隆昌ノ爲ニ貢獻スルトコロアラントス
主ナル行動

- 一、創立以來見ルベキ行動ナシ
其ノ他參考事項
一、本會ハ東京ニ本部ヲ置キ、會長ニハ芝増上寺貫主道重信教ヲ顧問トシテ本郷房太郎大將、
其ノ他

大 洋 會

事 務 所 北區宗是町、中之島ビル内
創 立 昭和六年一月二十七日
系 統 政友會
關係團體 憂士會
幹部及主 會長—高橋哲二。幹事長—福本照堂。幹事—杉野巖洞、折居春峰
ナル會員 數 一四名
主義綱領
一、本會ハ天皇中心主義ニ基キ明ルキ國家ノ建設ヲ期ス
一、本會ハ國體ヲ無視スル過激思想ノ撲滅ヲ期ス
一、本會ハ勞資ノ協調ヲ圖リ産業立國ノ促進ヲ期ス

St. 349

413

一、本會ハ日本帝國ノ國威ヲ毀損セサル最善ノ大外交ノ徹底的擁護ヲ期ス
主ナル行動

- 一、特記事項ナシ

大 日 本 皇 國 黨

事 務 所 北區會根崎上二丁目二〇
創 立 昭和七年四月三日
系 統 國家主義
資金ノ出所 參謀高澤鐵三郎ノ私財
幹部及主 參謀—高澤鐵三郎。書記長—平岩靜逸
ナル會員 數 一〇〇名
主義綱領
第一、天皇ハ神ナリ、故ニ日本國民ハ天皇ノ尊影ヲ奉揭シテ日夜忠節ヲ誠ヲ致スヘシ
第二、團體改廢ヲ企圖スルモノハ事實上ノ日本國民ト認メ難キカ故ニ、其ノ思想行動タルト實
行運動タルトヲ問ハス其ノ生存權ヲ否定スヘシ
第三、マルクス亞流ト共產ロシアノ走狗ハ國體改廢ヲ企圖スルトセサルトニ拘ラス前條ノ理由
ヲ該當セシムヘシ
第四、日本國家ニ於ケル第二項ニ該當スルモノヲ支持スルモノハ之ヲ國外ニ追放スヘシ

St. 343

414

四〇一

I-0726

第五、自己ノ爲ニスル爭議指導者乃至爭議「ブローカー」ヲ科誅スヘシ
主ナル行動

四〇二

一、昭和七年三月頃ヨリ宣言、綱領ヲ各方面ニ頒布同志ノ糾合ニ努メ、同年四月三日之ヲ確立
スルト共ニ五月十七日大阪市中之島中央公會堂ニ於テ結黨大會ヲ兼テ國際聯盟排華、赤霧膺
懲國民大會ヲ開催セリ、其ノ後同年五月二十七日、六月四日、同月十五日同市港區田中町七
丁目田中尋常小學校等ニ於テ講演會ヲ開キ、又同年四月三十日「國體ヲ無視スルメーデー」
粉碎セヨ」ト題スル「メーデー」反對傳單約二萬枚ヲ同市内工場地帯等ニ撒布ス

大日本建國黨

415

事務所 西淀川區蒲島町一〇
創立 昭和七年六月二十日
系統 政友會院外團
關係團體 大洋會、愛國青年黨
機關紙 建國
資金ノ出所 機關紙代、廣告料
幹部及主 總理―松山信吉、幹事長―小林辰堂、總務―飯尾天龍、柴田龍雄、白水建次
ナル會員 數 三〇名
主義綱領

SP. 249

一、天皇中心主義政治ノ實現ヲ期ス
二、建國精神ニ則リ國威ノ發揚ヲ期ス
一、健全ナル思想ト健全ナル體軀ヲ持シ立憲政治ノ確立ヲ期ス
其ノ他參考事項
一、本黨主幹者ハ無爲徒食ノ輩ニシテ特ニ注意ヲ要ス

天 心 會

事務所 港區吾妻町二丁目二
創立 大正十三年十二月十七日
系統 皇室中心主義
幹部及主 常任幹事―白水靖海
ナル會員 數 一〇名

主義綱領

皇室中心主義ヲ標榜シ國體擁護ノ爲メ質實剛健ノ氣風ヲ涵養スルニ在リ

主ナル行動

一、創立當時ハ相當ノ會員ヲ有シ居リタルモ、最近ニ至リテハ一名ノ會員ナク維持不能ノ状態
ニ在ルヲ以テ何等ノ行動モナシ
其ノ他參考事項

四〇三

SP. 249

416

I-0726

一、本會ハ解體モ同様ニテ常任幹事白水ハ自己ノ生活ニモ困窮シ居リテ恐喝等不良ノ行爲ヲ爲スノ現狀ナリ

四〇四

天 祐 會

事務所 天王寺區大道一丁目五〇

創立 大正十五年八月一日

機關紙 神州日報

資金ノ出所 篤志家ノ寄附ニ依ル

幹部及主 會長―野村章三

ナル會員 數 三〇名

主義綱領

天皇主義ヲ奉戴シ肇國ノ大道ニ基キ國威ノ發揚ヲ期ス

一、吾人ハ常ニ皇道ヲ以テ其ノ教本トナシ國民性ノ團結ヲ圖リ以テ帝國思想ノ統一ヲ期ス

一、吾人ハ常ニ國是ヲ洽ク民衆ニ鼓吹シ以テ産業立國策ノ改善ニ致シ、國民民福ヲ増進シ皇國

ノ基礎ヲ強固ナラシムル事ヲ期ス

主ナル行動

一、大正十五年朴烈事件ニ際シ本會ヲ設立シ、其ノ後講演會ヲ開催シ小冊子「思想統一論」、「天祐昭和二大御製」等ヲ發刊シタリ

SP. 249

417

浪 花 會

一、昭和四年十二月神州日報社ヲ設立シ數回發行シタルモ最近休刊狀態ニアリ

事務所 浪速區東神田町八二五

創立 大正十一年十一月三日

資金ノ出所 最高幹部ノ據出ニ依ル

幹部及主 名譽總裁―曾根長三郎。名譽會長―藤村守壽、藤田松太郎。會長―能登榮吉

ナル會員 數 四、九二二名

主義綱領

一、本會ハ皇室中心主義ヲ基本トシ正義仁俠ヲ信條トス

一、本會ノ親善、修養及向上ヲ企圖シ、且ツ國家及社會ニ奉仕スルヲ以テ目的トス

主ナル行動

一、毎年(不定期)會員懇親會ヲ開クノ外特記事項ナシ

亡國の軍縮排撃聯盟

事務所 東區北濱一丁目二八

創立 昭和六年三月十二日

關係團體 國粹大衆黨、國防社

資金ノ出所 笹川良一

四〇五

SP. 249

418

I-0726

四〇六

幹部及主 會長―島山義雄。幹事―竹越卯一郎、岡田太三郎、高田忠志
員數 五〇名
主義綱領

輕佻ナル軍縮論ニ誤レル民心ヲ是正シ、國民ヲシテ國防軍備ノ正當ナル認識ノ上ニ立タシメ、
亡國の極端ナル軍縮論ヲ排撃シ、帝國ノ權利々益ノ擁護ヲ目的トス
主ナル行動

- 一、昭和六年三月二十三日午前十時宣傳ノタメ團員ハ八臺ノ自動車ニ分乗シ亡國の軍縮排撃聯
盟ナル旗ヲ立テ市内各所ヲ通過ス
- 二、昭和六年五月八日聯盟員十七名ハ宇垣陸相西下ニ際シ決議文ヲ手交セントシ全員會根崎署
ニ檢束ナル
- 三、同年同月十六日島山義雄ハ兵庫縣甲陽公園つるや支店ニ宿泊中ノ安保海相ニ面會ヲ求メ軍
縮反對ノ決議文ヲ手交セリ

憂士會

事務所 北區宗是町、中之島ビル内
創立 昭和六年二月三日
系統 政友會
關係團體 大洋會

SP. 49 419

資金ノ出所 寄附及會費ニ依ル
幹部及主 喜多達明、前芝蓮、杉本猛、齋藤武四郎
員數 六〇名
主義綱領

- 一、本會ハ天皇中心主義ノ本義ニ明ルキ國家ノ建設ヲ期ス
- 一、本會ハ全民衆のニ利害ノ調和ヲ圖ルト共ニ國民生活ノ健全ヲ期ス
- 一、本會ハ國家ノ産業ヲ全民衆の立場ヨリ徹底的改革ヲ期ス
- 一、本會ハ國體ヲ無視セル無產政黨ヲ克服シ、救貧政策、失業對策、國民保健政策ノ確立ヲ期
ス
- 一、本會ハ滿蒙其ノ他我國ノ有スル既得權ノ徹底的擁護ヲ期ス

主ナル行動
一、特記事項ナシ

立憲日本國粹黨

事務所 住吉區旭町二丁目九二
創立 昭和三年一月十九日
系統 皇室中心主義
關係團體 黑龍會

四〇七

SP. 249 420

I-0726

機關紙 國粹時事新聞
 資金ノ出所 黨員ノ據出及機關紙ノ廣告料ヲ以テ維持ス
 背後ノ人物 内田良平、今北治作
 ナル會員及主 黨主—沼中勇雄。顧問—瀧本喜一。相談役—坂田秀二
 會員數 約三〇〇名 (自稱)

主義綱領
 一、吾人ハ皇室中心主義ヲ奉シ建國義正ノ遺訓ニ基キ、國體ノ精華ヲ顯センコトヲ期ス
 一、吾人ハ人類愛ノ大義ニ基キ、世界悠久ノ平和ト共通ノ文化ニ貢獻センコトヲ期ス
 一、吾人ハ階級政治ヲ打破シ、國民總意ノ議會政治ヲ確立センコトヲ期ス
 一、吾人ハ國民生活ノ安定ヲ第一義トシ、産業振興並ニ國富諸政策ノ斷行ヲ期ス
 一、吾人ハ現代ノ教育制度ヲ改革シテ國粹主義教育ノ普及ヲ期ス
 主ナル行動
 一、組織後振ハザルモ常ニ新聞紙ヲ發刊シ貧困者ニ施米等ヲナセリ

(2) 學生團體

大阪愛國學徒聯盟

事務所 北區梅ヶ枝町一、五七四

創立 昭和六年十二月五日

系統 國家主義

關係團體 東京愛國學生聯盟、大阪愛國青年聯盟、護國青年聯盟
 幹部及主 委員長—阿部正貫(關大)。庶務—西村茂保(大高)、藤田藤一(關大)。會計—濱田利
 雄(大阪醫大)、多田一雄(商大)。研究部—十島某(高醫)、不塚某(商專)。事業部—
 椎名博(高醫)、穴田某(藥專)

會員數 約七六〇名

主義綱領

吾等ハ純真果敢ナル學徒ノ立場ヨリ犧牲殉國ノ精神ヲ以テ團結シ、皇道宣布、眞日本建設ノ前
 衛タランコトヲ誓フ
 一、吾等ハ一君萬民ノ共存共榮ヲ以テ眞日本ノ理想トシ、凡ユル非日本的存在ヲ排撃ス
 一、吾等ハ建國ノ精神ニ基キ大日本文化ノ興隆ヲ圖リ、苟モ帝國發展ノ前途ヲ阻害スルモノニ
 對シテハ斷乎トシテ之ヲ排撃ス
 一、吾等ハ學園ヲシテ眞ノ愛國運動ノ源泉タラシメンカ爲、國家思想ノ養成、質實剛健ノ氣風
 作興ニ努メ、以テ柔弱怠惰ノ風ヲ驅逐ス
 一、吾等ハ建學ノ本旨ニ則リ、眞理ノ探究、人格ノ陶冶ニ精進スルト共ニ一旦緩急アレハ身ヲ
 捧持シテ君國ニ殉センコトヲ期ス
 主ナル行動

一、昭和六年十一月二十一日關大ノ阿部、藤田、後藤等ノ主唱ノ下ニ在阪各大學專門學生ヲ糾

合シ浪速區惠美須町大阪展覧館ニ於テ結成準備委員會ヲ開催、急遽學聯ノ結成ヲ協議シ、十一月二十九日大阪愛國學徒大會ヲ開催スルコトヲ決定セリ

一、同年同月二十九日大手前公園ニ於テ約二十名ノ學生々徒結集シテ大阪愛國學徒大會ヲ開催ス、式終了後隊伍ヲ整ヘ街頭デモ行進ニ移リ、途中愛國マークノ賣却ヲ爲シ其ノ賣上金五百圓ヲ皇軍慰問金トシテ献納セリ

一、同年十二月五日知事官舎別館ニ於テ各專門學校、大學校長ノ推薦シタル各校責任者會合シ、聯盟結成式ヲ舉行セリ

一、同年同月十二日第四師團藤原衛生部隊ノ滿洲出動ヲ代表者五名大阪驛ニ歡送ス

一、昭和七年一月二日滿洲學生代表ノ母國訪問ニ際シ大阪驛ニ歡迎シ、大阪市内ニ於ケル案内ノ勞ヲ執ル

一、同年同月十日東京、京都學聯代表ヲ交ヘ大阪朝日會館ニ日滿學生代表交歡會ヲ開催シ、席上之ヲ機會ニ愛國學徒ノ全國的結成運動ヲ起スベキコトヲ申合セタリ

一、同年二月十一日建國祭當國、大阪商工會議所主催ノ中央公會堂ニ於ケル市奉祝大會ニ愛聯幹事トシテ阿部、藤田、椎名、西村ノ四名參加セリ

一、昭和七年二月十八日東京、京都、九州ニ於ケル學生愛國團體ノ代表來阪シ、大阪愛聯幹事藤田外數名ト全國愛聯結成ニ付協議シ、各自昭和維新ノ建設ニ付意見ヲ交換セリ

一、同年三月十日陸軍記念日當日、義勇學生隊約一ケ中隊(主ニ中學生)ヲ編成シ第四師團觀

兵式ニ參加ス

一、同年三月十八日同愛聯幹事ニ於テハ「大阪學生國防期成同盟」ヲ組織シ、愛國高射機關銃

一基(價格約千圓)献納ヲ目標ニ献金募集運動ヲ起スコトニ決定、越エテ四月十七日大阪朝日會館ニ於テ「防空基金募集音樂會」ヲ開催シ、入場料五百七圓ヲ防空基金トシテ第四師團司令部ニ献納セリ

一、同年七月大阪愛國青年聯盟、護國青年聯盟ト相提携シ、純真ナル青年ヲ結集シ愛國運動ニ邁進スルコト等ヲ約セリ

一、同年九月私立專門、大學ニ未ダ御眞影御下賜ナキヲ遺憾トシ關大、高醫、齒專、藥專ノ四私學ヲ以テ「御眞影奉戴促進同盟」ナルモノヲ結成シ全國的ニ輿論ヲ喚起スべく運動中ナリ

四一〇

SP. 249 423

SP. 249 424

四一一

I-0726

三、神戸

(1) 一般右翼團體

愛國天浪會

事務所 湊東區橋通一丁目一〇
 創立 昭和七年八月十九日
 系統 浪人會
 關係團體 浪人會頭山滿一派
 機關紙 バンフレット「憂國」ヲ會員及宣傳用トシテ配布ス
 資金ノ出所 會費及同情者ノ寄附金ニ依リ維持ス
 背後ノ人物 神戸市會議員前田二一六、大越兵藏、都筑得太郎等後援ヲ爲ス
 ナル會員 會長：柴田吉雄。菊水吉之助、小松三郎
 會員數 一七名
 主義綱領
 現時ノ情勢ヲ憂ヘ國家的觀念ニ立脚シ滿洲移民ノ獎勵ヲ爲ス
 主ナル行動

四二二

SP. 249 425

神戸市殊勳會

一、昭和七年八月十九日日本會設立ノ届出ヲ爲シタルガ、毎月一回機關紙「憂國」ヲ發行シ主趣
 ノ宣傳、會員ノ獲得ニ努メツアルモ大ナル進展ヲ見ズ
 一、隨時滿蒙問題ニ關スル講演ヲ爲スノ外目下特異ノ行動ナシ

事務所 神戸市中屬手通五丁目 内藤寛治方

創立 大正十四年九月三日

機關紙 會報

資金ノ出所 會費ヲ以テ維持ス

幹部及主 渡邊真吾、大越兵藏、法橋廣三郎

ナル會員 數 一七〇名

主義綱領

一、思想善導ヲ以テ目的トシ、軍事思想ヲ主トシ年金額達成ヲ期ス

其ノ他參考事項

一、本會ハ金鵝勳章ヲ下賜セラレタル者ノミヲ以テ組織ス

皇國誠進會

事務所 兵庫縣揖保郡河内村金剛山

四一三

SP. 249 426

I-0726

創立 大正十五年十月三十一日
 資金ノ出所 篤志家ノ寄附及會費
 幹部及主 木下俊藏、古林治策、金澤愛之助、岸野理三郎、六鹿惠快
 ナル會員 數 二一〇名
 主義綱領

- 一、皇室ヲ中心トシテ臣民ノ本分ヲ盡スラ本領トス
 - 二、精神修養ヲ以テ自己改廢ヲ主トス
 - 三、思想惡化ヲ防止シ思想善導ニ努ムヘシ
 - 四、正義人道ヲ確守シ仁俠ノ精神ヲ發揮スヘシ
 - 五、國民ノ大義ヲ闡明シ尊皇愛國ノ精神ヲ普及スヘシ
 - 六、社會ノ惡弊ヲ矯正シ勞資協調、地主、小作人ノ融和ヲ計ルヘシ
- 主ナル行動
 一、趣意宣傳ノ演說會ヲ時々開催スルノ外特記スベキ行動ナシ

國民明治會

事務所 神戸區北長狹通六ノ六五
 創立 昭和七年四月三日
 系 統 國家主義

SP. 249 427

關係團體 日本殉國青年聯盟
 機關紙 國民明治新聞

資金ノ出所 會長出資
 幹部及主 會長(終身)―増本光。會員―梶谷延久
 ナル會員 數 正規會員ナキモ創立總會ニ出席セル約三百名ノ共鳴者ヲ會員ト見做シ居レリ
 主義綱領

信條

明治天皇御肖像ヲ奉戴シ其ノ威德ヲ崇拜シ、勅語ノ趣旨ニ基キ思想善導ヲ期ス

目的

本會ハ國民明治會ト稱シ教育勅語ノ御趣旨ヲ奉戴シ、本會ノ信條ニ基キ教訓ヲ遵守シテ徒ニ智
 慧巧妙ヲ弄シ非道ヲ以テ世道人心ヲ毒セントスル爲政者、學者、宗教者、資本家、勞働者等ヲ
 淨化スルヲ以テ目的トス(會則第一條)

事業

- 一、國民明治會々堂建設
 - 一、日本文化研究所設置
 - 一、講演及教育映畫ニ依ル宣傳
 - 一、新聞、雜誌、著作物ノ發行(會則第二條)
- 主ナル行動

SP. 249 428

一、機關紙ノ發行、パンフレット頒布、講演會、其ノ他適切ナル手段方法ニヨリ社會ノ淨化、思想ノ善導ニ努力シ、主旨ノ普及徹底ヲ期シ居レリ

四一六

城北立憲濟美會

事務所 姫路市橋ノ町八

創立 大正十三年四月城北立憲青年會結成、昭和六年九月上記ノ通り改稱ス

系統 國家主義

關係團體 明倫會ニ合流セムト策動シツアルモ目下關係ナシ

資金ノ出所 必要ニ應ジ會員ヨリ徴收ス

幹部及主 會長—平田秀穂。副會長—矢野善寛。會計—市場壽、藪内正太郎。幹事—田中秀太

ナル會員 評議員—渡邊義一

會員數 四八名

主義綱領

一、皇室中心主義ヲ奉體シ、君民同治ノ大理想ニ生キ、質實剛健ノ氣風ヲ作興シ以テ思想ノ善導ヲ圖ル

二、政黨政派ニ偏倚セス立憲ノ本義ヲ體得シ、人格識見俱ニ卓越セル人土ヲ德源推薦シ、依ツテ以テ政治的覺醒ヲ促シ選舉ノ廓清ニ資ス

三、時事問題ヲ研究シ之ニ公正ナル批判ヲ加ヘテ以テ世道人心ノ向フ所ニ一道ノ光明ヲ與フ

SP. 249

429

四、地方自治ノ圓滿ナル發達ヲ期シ市民ノ福利ヲ圖ル

主ナル行動

一、大正十三年四月三十日城北立憲青年會ヲ組織シ主トシテ政治運動ヲ爲シ來レルガ、最近之ニ飽キ足ラズ國家主義ヲ標榜シ、昭和六年九月四日城北立憲濟美會ト改稱シ、前掲主義、綱領ノ精神ニ基キ時々講演會ヲ催シ又ハ文書ヲ以テ意見ノ發表ヲ爲シツツアルノ外特異ノ行動ナシ

其ノ他參考事項

一、本會ハ飾磨郡水上村野里五一九太田長次郎ガ現會長醫師平田秀穂ヲ傀儡トシテ組織シ、城北村ト姫路市トノ合併問題等地方的問題ニ携ハリ或ハ選舉母體等ノ役目ヲ司リツツアリシガ

最近明倫會大阪支部西尾信一ニ接近シ、本會ヲシテ明倫會ニ合流セシメ姫路支部ヲ設立セム

ト策動シツツアリテ姫路在郷將校陸軍中將圓藤作藏、今少將、堀尾晴光等ニ働キ掛ケ居ルモ

本團體ハ元來村市合併運動ノ爲メ結成サレタルモノニシテ目的達成後ハ有名無實ノ狀態ニア

ルガ、右太田ガ明倫會ニ加盟セムガ爲メ今尙有力團體ノ如ク装ヒ居ルモノト認メラルルモ現實

ニハ微力ナル團體ナリ

大日本拳闘會

事務所 兵庫縣武庫郡御影町柳九〇〇ノ四

創立 大正九年十月十日

四一七

SP. 249

430

I-0726

資金ノ出所 拳闘試合ニ於ケル収入及會費ニヨリ維持ス
背後ノ人物 村山龍平、本山彦一、嘉納治五郎、福田雅太郎
幹部及主ナル會員 會長—嘉納健治
會員數 一三〇名

四一八

主義綱領

拳闘術ヲ以テ心身ヲ鍛練シ武的精神ノ涵養、體育ノ向上ヲ計ル
主ナル行動

一、本會ハ東京ニ關東本部、大阪ニ關西本部ヲ置キ、總本部ヲ現在事務所々々在地ニ置キ、主義、綱領ニ基キ内外人ト月例試合及興業等ヲ爲シ各地ヲ巡業セルガ、會長嘉納健治ハ皇室中心主義ヲ標榜シ相當ノ勢力ヲ有シ、命令一下反動的行動ニ出ル虞アリ

大日本青年黨

事務所 西宮市與古道町

創立 昭和六年九月十三日

系統 大日本生産黨

機關紙 熱血

資金ノ出所 會費ニヨリ維持ス

幹部及主ナル會員 黨首—仙田茂吉。總務—加藤新一、吉本正治、住田徳一

SP. 249

會員數 一五名

主義綱領

一、皇室中心主義ノ徹底ヲ期ス

一、新日本ノ建設ヲ期ス

一、閥族政治ノ打破ヲ期ス

一、赤化共產黨ノ撲滅ヲ期ス

一、滿蒙ノ併合ヲ期ス

一、關西遷都ヲ期ス

一、地方自治制ノ確立ヲ期ス

主ナル行動

一、昭和七年十二月四日神武會幹部某ノ依頼ニ應ジ黨署名ノ大川周明保釋請願書ヲ要路ノ八大官宛郵送シタリ

其ノ他參考事項

一、本黨ハ阪神間ニ於ケル小新聞記者ヲ以テ結成シ、政治、經濟、教育、思想上ニ現ハレタル惡弊ヲ除去シ以テ黨ノ主義綱領ヲ遂行セムトスルニ在リ

中興會

事務所 神戸區山本通三丁目六一ノ七
創立 昭和四年六月二十五日

四一九

SP. 249

432

431

I-0726

資金ノ出所 會員應分ノ出資ニ依ルノ外縣市會議員、代議士等ヨリ物質的援助ヲ受ク
幹部及主 浦野茂義、井口史郎、稱垣信治、岡田音次郎、中谷吉次郎、本田碧巖
ナル會員 會員數 一〇名
主義綱領

一、本會ハ忠君愛國ノ大義ヲ基調トシ、團體ノ精華ヲ發揚シ帝國思想ノ普及ニ努メ、外來險惡
ノ思想排撃ヲ目的トス
主ナル行動

一、創立後特記スヘキ行動ナシ
其ノ他參考事項
一、政友系院外團ニ屬ス

日本殉國青年聯盟

事務所 神戸市神戸區北長狹通六丁目六五
創立 昭和七年七月十二日

系統 國家主義

關係團體 國民明治會、大衆國威聯盟大阪―東京總司令部

機關紙 國民明治新聞ヲ兼用スルノ外九月五日機關紙「殉國青年」創刊號(パンフレット)
發行ノ豫定

資金ノ出所 會長増本光ノ私財百五十萬圓提供ニ依リ財團法人設立準備中ニシテ、其ノ事業トシ
テ本團體ヲ結成セルモノ

背後ノ人物 國民明治會長増本光、陸軍少將奥村拓治
幹部及主 總裁―増本光。副總裁兼統制部長―増本九兵衛。出版部長―川崎一男。組織部長―
ナル會員 小西嘉雄。會計―藤澤萬次郎。蒼合、灘方面責任者―川崎一男。兵庫林田方面責任
者―加藤英躬。湊、湊東、神戸方面責任者―小西嘉雄

會員數 七五〇名

主義綱領

明治天皇ノ御肖像ヲ奉戴シ其ノ御威徳ヲ崇拜シ、勅語ノ主旨ニ基キ思想善導ヲ期ス
(國民明治會ノ主義、綱領ト同一ナルモ其ノ行動ニ於テ積極的ナラムトスルモノ)

信 條

一、本會ハ明治天皇ノ御眞影ヲ奉戴シ其ノ御威徳ヲ崇拜ス
一、本會ハ明治天皇ヲ禮拜シ左ノ禱詞ヲ唱フ
天地御代御惠。師君父母恩味

教 訓

一、會員ハ鹽、明礬ト心得ヘシ、百石ノ濁水モ一握ノ明礬ヲ投スレハ清淨ノ水トナル、凡ル味
ノ根源ハ鹽ナリ、鹽トナリ明礬トナリテ清メヨ
一、親シミ合ヒテイト清ク、羊ノ如クオトナシク柔ク、湯ノ如キ温情慈悲ヲ以テ人ニ當レ、物

四二二

I-0726

- ニモ當レ
- 一、腹ヲ立テルナ、偽ルナ、誠ノ心ヲ以テ日々ニ己ヲ省ミヨ
- 一、凡テノ物ニ味ヲ與ヘヨ
- 一、光モ清キ湖トナレ
- 一、隠レテ祈レ誠ノ心
- 一、天物ヲ尊ヒ粗末ニスルナ

御影町軍人至誠會

事務所 兵庫縣武庫郡御影町役場内
 創立 昭和七年三月六日
 系 統 國家主義
 資金ノ出所 會費一ヶ月十錢ヲ徵シ尙有志ノ寄附金ヲ以テス
 幹部及主 會長―柏木福藏。副會長―伊勢彌太郎
 ナル會員 數 一八二名
 主義綱領
 準旨ヲ奉體シ軍人精神ヲ鍛練シ、恒ニ軍人會ト連繫ヲ保チ郷土尙武ノ進展ニ努メ併テ會員ノ親睦ヲ計ルヲ以テ目的トス
 主ナル行動

SP. 249 435

養正護國會

一、昭和七年三月六日御影町立第二小學校ニ於テ發會式ヲ舉行シ、參會者會員一三五名、地方有力者九三名ニシテ閉會後講演會ヲ開催、大阪毎日新聞記者古市美津雄、大阪朝日新聞社計畫部長大江素天、森下少將、伊丹中將ノ日支紛争ヲ中心トスル時局問題ニ關スル講演ヲ爲セリ

436

SP. 249

事務所 神戸市神戸區山本通五丁目一ノ一三
 創立 大正十三年四月六日
 系 統 國家主義
 關係團體 在京黒龍會
 資金ノ出所 必要ニヨリ本部ヨリ給付ヲ受ケルコトアルモ平素ハ會費ニヨリ維持ス
 幹部及主 高石北龍、原武雄、渡邊和清
 ナル會員 數 六〇名
 主義綱領
 天皇主義ヲ奉シ國體擁護ニ任ス
 一、權勢ニ阿ラス、金力ニ屈セス、所信ヲ斷行ス
 二、國家ヲ蠱毒シ、國史ヲ汚辱スル社會主義ノ撲滅ヲ期ス
 三、道德ヲ破壊シ、美風ヲ紊亂セシムル賣名の學者、文士ヲ排撃シテ剛健ナル民風作興ヲ期ス

四、政權爭奪ト黨利、私利トニ没頭シ、國民民福ヲ圖ラサル政黨ヲ打破ス
五、憲政有終ノ美ヲ齎スヘク國民ノ覺醒奮起ヲ促ス
主ナル行動

四二四

一、大正十三年六月米國ニ於テ排日法案通過シ國論沸騰スルヤ、七月一日ノ國恥記念日ヲトシ「日本國民ニ激ス」ト題スル印刷物三萬枚ヲ作成シ配布セムトシタルカ、印刷遅延ノ爲同月同日神戸市及阪神沿線ニ撒布セリ
其ノ他參考事項
一、會員六十名ト稱スルモ實質上ハ高石北龍一名ノ活動ニ過ギズ、大正三年以來何等ノ行動ナシ

437

SP. 249

四、奈 良

(1) 一般右翼團體

大日本白龍會

事務所 南葛城郡御所町 今田森之助
創立 大正十五年十一月十六日
系統 國家主義系
機關紙 畝傍之光 (目下休刊中)
資金ノ出所 一定セル資金ノ出所ナク必要ニ應ジ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ
背後ノ人物 男爵中川良長
幹部及主 總務―今田森之助。幹事長―平本彌二郎。幹事―森家万次郎、楠本兼吉
ナル會員 數 三〇名
會員 數 三〇名
主義綱領
一、萬世一系ノ天皇ニ忠誠ヲ盡スベシ
一、世界無比ノ皇國ノ爲メ議論ナク一身ヲ捧ケヨ
一、皇國ノ理想ハ高遠ナリ之ヲ全世界ニ施セヨ

438

SP. 249

四二五

I-0726

主ナル行動

一、昭和二年二月十二日北葛城郡志都美村ニ於テ支部發會式ヲ舉ゲタル際、舊日本農民組合奈良縣聯合會ニアリテハ之ガ發會式ノ妨害ヲ企テ、右發會式會場ノ附近ニ於テ小作爭議批判演說會ヲ開催シ、双者互ニ對峙シ、白龍會員野澤啓一ハ遂ニ省線下田驛ニテ農民組合幹部千崎富一郎ニ傷害ヲ加ヘ、爾來尙モ兩者ハ反目ヲ續ケ來レリ
一、前記事件ノ加害者野澤啓一ハ傷害罪ニヨリ懲役二年三ヶ月ニ處セラレ、昭和四年九月二十一日滿期出獄セリ

四二六

日本油勝會

事務所 奈良市中辻町五 中井勝某方
創立 昭和六年四月五日
系統 國家主義系
資金ノ出所 會員ヨリ一ヶ月二十錢ヲ徴收ス
背後ノ人物 衆議院議員福井甚三
幹部及主ナル會員 會長—中井勝基。副會長—中井基祐、森田勝之助。總務—奥田信義
會員數 五五〇名
主義綱領 意氣ト仁俠ヲ以テ破邪顯正光輝アル國體ヲ擁護ス

SP. 249

439

主ナル行動

一、昭和六年四月五日奈良市春日神社々頭ニ於テ結盟式ヲ舉行
一、本會内ニ公道團ト稱スル會員ノ武道教養機關ヲ設ケ會員ノ心身鍛練ニ努ム
一、昭和六年九月二十五日執行ノ本縣々會議員總選舉ニ際シ總務奥田信義立候補シ當選セリ

440

SP. 249

四二七

I-0726

五、和歌山

(1) 一般右翼團體

大日本國士團

事務所 和歌山市屋形町四丁目二

創立 昭和七年八月四日

資金ノ出所 銀行、會社、其ノ他資本家ヨリ出資ヲ得ントシツアリ

幹部及主 團長―谷口新兵衛。幹事―荻協貞一

ナル會員 數 五名

主義綱領

大日本帝國建國ノ精神ニ基キ皇室中心主義ヲ奉體シ、思想善導、福利増進ヲ期スルカ爲メ正義人道ニ立脚シ勇往邁進シ

一、皇道尊奉、至誠奉公ノ精神鼓吹

一、偽善者國體冒瀆漢ノ致命の征伐

一、政治ノ改善ト偽政者ノ專横糾弾

一、赤化ロシアノ膺懲ト共產主義ノ撲滅

411

SP. 249

四二九

I-0726

右達成ヲ期ス
其ノ他參考事項

一、團長谷口新兵衛ハ大正十四年三月二日大阪區裁判所ニ於テ詐欺、文書偽造行使、横領、恐喝罪ニ依リ懲役一年ニ處セラレ

四三〇

六、徳 島

(1) 一般右翼團體

生活權防衛同盟

事務所 徳島縣海部郡牟岐町大字關 藤澤止一方
創立 昭和七年八月二日

系統 國家社會主義

關係團體 國家社會黨

資金ノ出所 會員及有志者寄附

幹部及主 幹部長―西村政治。書記長―後山忠俊。會計―久岡國夫。青年部長―岡崎英一。漁
民部長―森本龜太郎。情報部長―楠本貫太郎。商工部長―目良有遠。在郷軍人部長
―小島爲一。農民部長―大谷末吉。労働部長―藤澤止一。教育部長―池内勝藏。組
織宣傳部長―久岡國夫

會員數 六七一名

主義綱領

國家社會主義ヲ標榜シ、國民大衆ノ日常生活權防衛ノ爲ニ闘フ

四三一

SF. 249

443

SF. 249

442

I-0726

主ナル行動

德島縣下海部、那賀兩郡ニ於ケル勞働者、漁民、農民ヲ目標トシテ昭和七年七月十二日日本同盟

準備會ヲ創立シ會員ノ獲得ニ努メ、同年八月二日日本同盟ノ結成ヲ見ルニ至リタルモノニシテ

一、準備會創立當初海部郡内三ヶ町村ニ無産者診療所ヲ開設シ貧困者ノ無料診療ヲ開始シ

二、昭和七年七月十日ヨリ十五日迄ノ間同郡内數ヶ所ニ於テ電燈料即時値下、地主本位農會ノ

廢止、漁業組合ノ自主化、水害地方即時救濟等ノ「スローガン」ヲ掲ゲテ演說會ヲ開催シ會

員ノ入會ヲ勸誘シ

三、同年同月十五日幹部數名交渉委員トナリ電氣會社ニ對シ電燈料値下ノ要求ヲ爲シ

四、同年八月二日同盟ノ發會式ヲ舉行シ、爾後引續キ電燈料値下ニ關シ活動中

其ノ他參考事項

一、委員長西村政治ハ元大阪府編入思想要注人ニシテ共產主義者タリシガ、近時思想轉向シ

國家社會主義ヲ唱導スルニ至リシ者ナリ

一、本同盟ハ將來國家社會黨德島縣支部ヲ組織スルノ目的ヲ有シ同支部結成ノ曉ハ解消スルモ

ノト豫測セラレ

戴天社組織準備會

事務所 德島市富田浦町字堀南二〇三ノ五一
創立 準備中

SP. 249

414

四三三

幹部及主ナル會員

郡正三、植原愛算、立本勝重

主義綱領

一、欽定憲法ニ遵ヒ君民一致ノ善政ヲ徹底セシムル事

二、國體ト國家ノ進運ニ適合セサル制度、法律ノ改廢ヲ行ヒ、政治機關ヲ簡易化セシムル事

三、自給自足立國經濟ノ基礎ヲ確立スル事

415

SP. 249

四三三

I-0726

第三節 中部地方

一、名古屋

(1) 一般右翼團體

愛國誠進勤勞組合

事務所 名古屋市南區熱田東町横田三二

創立 昭和七年四月三日

資金ノ出所 各組合員負擔

幹部及主ナル會員 組合長―三木清。副組合長―羽月志男。主事―村林良平。會計―櫻井甚作、岩瀬市太郎

會員數 二三〇人

主義綱領

一、吾等ハ絶対皇室中心主義ヲ遵守シ、光輝アル國體ノ國威發揚ニ貢獻センコトヲ期ス
一、吾等ハ愛國ノ志士ヲ糾合シテ思想的、經濟的、政治的國難ヲ打破シ、大和民族ノ發展ニ資センコトヲ誓フ

四三五

SP. 449

446

I-0726

一、吾等ハ一般勤勞者階級ノ生活改善、能率増進ヲ計リ、人格思想ノ向上、勞資協調ノ實ヲ舉
ケ、之カ目的貫徹ニ邁進センコトヲ期ス
主ナル行動
一、昭和七年四月三日南區熱田町神戸町米本座ニテ本會記念講演會ヲ開催シ國家主義ヲ高揚シ
タリ

四三六

昭和維新會

事務所 名古屋市南區櫻見町二丁目二、水野文助方
創立 大正十五年四月八日
機關紙 大正維新（毎月一回發行）
資金ノ出所 會員負擔
幹部及主 會長―木野文助（毛筆製造販賣業）。副會長―尾張神社々司大澤月峯。幹事―築鈴三郎
ナル會員 會員數 一〇〇餘名
主義綱領
我國固有ノ思想及文化ノ淵源ヲ究メ以テ我皇國ノ國體ヲ闡明シ、廣ク人心ノ作興及民風ノ改善
ニ資スルコトヲ目的トス
主ナル行動
一、大正十五年十一月十二日東區千種町池ノ内小學校ニ於テ講演會ヲ開催、皇室中心主義ヲ鼓

SP. 249

417

吹ス

一、昭和二年三月三日會員ナル後備陸軍歩兵大佐箕形初太郎ハ「古事記ノ正調竝ニ國民教化ノ
經典トスル請願書」ヲ貴衆兩院ニ提出スベク知識階級三十餘名ノ調印ヲ取り上京シタリ
其ノ他參考事項
一、其ノ名稱從來大正維新會ナリシヲ昭和四年十月上旬現名稱ニ改ム

大日本會

事務所 名古屋市中區御器所町中屋敷二二
創立 昭和五年十二月二十二日
機關紙 國民訓練（月三回）
資金ノ出所 國民訓練ノ購讀料ノ一部及有志ノ寄附金
幹部及主 幹事―砲兵大佐四宮信治、山本米次郎、新聞記者青山鉦一、新聞記者三浦延治
ナル會員 會員數 二〇人
主義綱領
本會ハ對外的ニモ、對内的ニモ、精神的ニモ、物質的ニモ凡ユル方面カラシテ全ク行詰リノ現
狀ニアル日本ヲ革清スル爲メ國民ノ本分ヲ盡スヘキ精神ヲ喚起スルヲ以テ目的トス
主ナル行動
一、昭和五年十二月二十二日午後三時ヨリ市内中區南鍛冶屋町番茶ノ家ニ於テ座談會ヲ開キ青

四三七

SP. 249

418

年訓練振興策ニ付テ協議ス

四三八

大日本守國會

事務所 名古屋市中區熱田東町字玉ノ井五

創立 昭和六年十二月二十一日

機關紙 守國 (月一回)

資金ノ出所 寄附金及會員ノ會費

幹部及主 會長 一與吳鋼二(土木諸負業)

ナル會員 數 五〇名

主義綱領

- 一、本會員ハ絶對皇室中心主義ニ結束シ、光輝アル我カ國體ヲ擁護シ進ミテ全世界ノ皇化ヲ期ス
- 二、本會員ハ天皇政治ノ確立ヲ主張シ、政黨中心主義政治ノ廢除ヲ期ス
- 三、本會員ハ國民道德ヲ涵養シ、祖先ノ遺風ヲ顯彰シ品性ヲ高メ、人格ヲ重シ、正義ニ生キ、任侠ヲ以テ大和民族傳統ノ美風ノ完成ヲ期ス
- 四、本會ハ大日本主義ノ下ニ産業ノ國家的統成ヲ期ス
- 五、本會ハ失業者救済及防止策トシ滿蒙及シベリヤニ進出發展ヲナス事ヲ期ス
- 六、本會ハ世界平和ト國防ヲ計ルタメ軍備ノ充實ヲ期ス

SP. 249 419

主ナル行動

- 一、昭和七年一月二十二日軍備充實國威宣揚ノ印刷物一萬枚ヲ作成市内ニ貼付ス
- 一、昭和七年二月日南區西古渡町八幡劇場ニ對支問題講演會ヲ開催セリ、尙講演半バニシテ聲明書、決議文、慰問文ヲ朗讀可決シ、陸海軍大臣初メ關係當局ニ發送手續セリ
- 一、同年二月十一日會長總指揮者トナリ國旗宣傳示威運動ヲ舉行、同夜事務所ニ對支座談會ヲ開催ス
- 一、同年二月十三日南區熱田富江町蓬座ニ於テ神武會ノ時局問題演說會ニ應援、會長出演ス
- 一、會長ハ鐵兜百個ヲ購入シ陸軍省恤兵部ニ獻納スルト稱シ、同年二月二十日頃ヨリ「國防費獻金ニ就テ」ト題スル趣意書ヲ作成シ市内工場、會社ヲ歴訪献金募集中ナリ
- 一、東京市ニ本部ヲ有スル神武會名古屋支部ヲ設置スベク計畫中ナルガ、二月二十八日「滿蒙建國ニ次グハ何カ」ト題スルビラ二千枚ヲ作成シ趣旨ノ宣傳中ナリ
- 一、同年三月四日南區豐田町道德說教所ニ於テ時局問題批判演說會ヲ開催ス

其ノ他參項事項

大日本建國義勇團本部

事務所 名古屋市中區古渡町七丁目二四
創立 目下組織準備中

四三九

SP. 249 450

I-0726

系 統 國家主義
幹部及主 理事長—堤旭。團長—陸軍中將四天王延孝。理事—久田量馬、草間礦一、中内英文
ナル會員 主義綱領

- 一、惟神ノ大道ニ立脚シテ皇道ヲ中外ニ宣揚ス
- 二、天皇政治ヲ確立シテ議會中心主義ヲ打倒ス
- 三、日本國體ニ背反スル一切ノ既成政黨及無產政黨ヲ撲滅ス
- 四、共產主義、社會民主主義、國家社會主義等一切ノ社會主義ト對立シテ嚴乎トシテ之カ討滅ヲ期ス
- 五、日本主義ノ精神ニヨル産業ノ國家的統制ヲ行フ
- 六、日本主義ノ旗ノ下ニ「六治ヲ兼テ宇トナシ八紘ヲ掩フテ都ヲ開ク」建國ノ理想ヲ實現ス
- 主 張
- 一、滿蒙ニ對スル特權ノ確保及支配權ノ確立
- 二、國民皆兵實現ノ爲新制度創設
- 三、艦船、航空機、其ノ他重要兵器製造工場特別保護法ノ制定
- 四、閑職官吏ノ過剩人員淘汰及高級官吏ノ俸給値下ケト下級官吏ノ待遇改善
- 五、恩給令ノ徹底的改正
- 六、華族制度ノ改正
- 七、職權濫用又ハ收賄官公吏及職員ノ嚴罰制度制定

- 八、不當拘束、暴行、監禁等ノ絶對的撤廢
- 九、貧困者ノ裁判費用ノ國庫補助法ノ制定
- 一〇、所得相續、地租、營業收益等諸稅ノ高率累進賦課徹底並ニ土地財產其ノ他ニ依ル不當利得重稅法ノ新設
- 一一、生活必需品ノ消費稅ノ撤廢
- 一二、農業及商工業經營ノ合理的改革
- 一三、教育制度ノ根本的改革並小學校教員ノ優遇
- 一四、學生及青年訓練生等ノ軍事教育ノ徹底
- 一五、兵士ノ待遇改善及遺族ノ補助並待遇改善
- 一六、徵兵ニヨル家族窮乏ニ對スル國家保護方法ノ確立
- 一七、免囚保護方法ノ徹底

二、安濃津

(1) 一般右翼團體

神和會

事務所 飯南郡松坂町大字愛宕町一三三 山本喜三郎方
 創立 昭和六年三月十日
 關係團體 大日本國粹會松坂支部
 資金ノ出所 會員負擔ス
 幹部及主 會長 上森龜太郎。副會長 加藤貞太。幹事長 山本喜三郎。理事長 引地三郎。顧問 後藤脩、鈴木彦三郎
 會員數 四八名
 主義綱領
 一、本會ハ皇室中心主義ヲ以テ一種義勇團體トシテ地方有事ニ際シ獻身の奉公ノ實ヲ舉ゲ、和民族トシテ恥シナル精神ノ修養ヲ計ルヲ以テ目的トス
 主ナル行動
 一、昭和六年三月八日飯南郡松坂町火災ノ際消防組ト協力活動セリ

四四二

SP. 249 453

三重縣赤化防止團

一、昭和七年二月施行ノ衆議院議員選舉ニ第二區ヨリ立候補シタル顧問後藤脩ヲ推薦應援セリ
 事務所 津市榮町一〇 鯉江長藏方
 創立 昭和七年四月二十五日
 機關紙 三重民聲 (准)
 資金ノ出所 活動ナキモ團長自辨
 幹部及主 團長 鯉江長藏。團員 中井茂市、岩田利吉、稻葉昌一
 ナル會員數 四名
 主義綱領

宣言

抑々本縣ハ我等八千萬ノ同胞カ尊崇シ奉ル伊勢兩神宮鎮座ノ御聖地テアル、然ルニ國家否定運動者ノ續出シツツアル状態ハ祖國ノ憂患正ニ極マレトイフヘシ、コノ際吾人ハ敢然蹶起シテ光輝アル三千年ノ國體ヲ擁護シ、雄邦日本ノ再建設ニ邁進セントス
 綱領
 一、國家無視、國體冒瀆ノ社會主義、無政府主義、共產主義運動ノ徹底的撲滅ヲ期ス
 二、反國體ノ朋黨政治ヲ排撃シテ天皇中心政治ノ確立ヲ期ス
 三、融和ノ大精神ヲ普及シ以テ現實化センコトヲ期ス

四四三

SP. 249 454

主ナル行動

四四四

一、本團體ハ昭和二年末頃津市ニ於テ組織シ居タル津市水平社幹部タル本團長鯉江長藏ト、同
 鳥尾力男トノ間ニ水平社事務ニ關シ論争ヲ生シ遂シ鯉江ハ水平社ヲ脱退シタルガ、當時鳥尾
 ハ勞農黨其ノ他左翼團體ト密接ナル關係アリテ水平運動ト共ニ共產黨主義運動ニ走ラントシ
 ツツアリシヨリ、鯉江ハ之ヲ打倒セント昭和三年四月一日ヲ期シ、二、三名ノ同志ト赤化防
 止團ナルモノヲ組織シ、二回ニ涉リ「共產黨即時解散セヨ」ノ題下ニ印刷物ヲ出シ鳥尾一派
 ノ運動ヲ攻撃シタルガ、其ノ後三・一五、四・一六ノ共產黨ノ檢舉ニ次ギ勞農黨外ニ團體ノ解
 散アリテ所謂階級闘争モ表類勢ニ傾キタリト爲シ、其ノ後赤化防止團モ何等活動スルコトナ
 ク自然消滅ニ歸シタリ

二、然ルニ昭和六年九月以來日支事變發生スルヤ、同年末頃ヨリ之ニ刺戟サレ、准機關紙「三
 重民聲」ヲ以テ之ヲ宣傳シ更生シタルモノナリ

三重縣義勇會

事務所 桑名町三之九一〇三 小林榮五郎方

創立 昭和七年五月十五日

資金ノ出所 有志ノ寄附ニ依ル

背後ノ人物 衆議院議員加藤久米四郎

幹部及主 會長代理—小林榮五郎。副會長—神野隆雄

SP. 249

455

會員數 五〇名

主義綱領

我國ハ晩近思想國難、經濟國難ニ加フルニ更ニ國際的地位ニ未曾有ノ危機ヲ孕ムノ秋、我國民
 ハ協力一致外敵ニ當リ、以テ光輝アル三千年ノ歴史ヲ保持セサル可カラサルヤ論ナシ、徒ラニ
 國內ニ於テ蝸牛角上ノ紛争ヲ重ネ同胞相食ムハ愛國ノ士ノ探ルヘキ道ニアラス、茲ニ於テカ吾
 人志ヲ同シクスル者相集ツテ本會ヲ組織シ、専ラ社會正義ニ則リ我國民性ノ發揮ニ努メ、内ニ
 アツテハ勞資ノ協調ト思想ノ善道ニ力ヲ致シ、外ニアツテハ協力一致同志相互ノ扶助ニ努力シ、
 以テ團結ノ威力ヲ示スニ努メントス

主ナル行動

一、昭和七年五月十五日會長松本庸忠就任

一、同年五月二十三日會長松本庸忠辭任

一、同年七月七日會長代理ニ小林榮五郎就任

一、同年七月三日省線桑名驛前廣場ニ於テ發會式ヲ兼テ競馬會ヲナス

一、同年七月十八日發生シタル桑名郡西桑名町大字桑名村上鑄物工場ノ労働争議ニ資本主タル
 村上寅吉ノ代表トシテ介在、職工側ノ北勢一般労働組合ニ對抗シ闘争ヲ續ケツツアリタリ

三重愛國々民同盟組織準備會

事務所 未定

四四五

SP. 249

456

I-0726

創立 昭和七年六月九日

系統 國家社會主義

幹部及主 計劃者—服部周平(治安維持法違反ニテ目下刑執行猶豫中)

會員數 約四〇名

主義綱領 未定

主ナル行動

四四六

一、昭和七年六月飯南縣松阪町信用組合ホールニ社會自由黨準備會宣傳ノ目的ニテ演說會ヲ開催、聽衆約六百名、三重愛國々民同盟服部周平、國民青年前衛同盟白阪不二夫、國民勤勞者同盟小田孝、神戸市會議員青柿善一郎、社會自由黨本部宮本純一、同矢勝義雄等出席、各演壇ニ立チ熱辯ヲ振ヒ二三ノ注意、中止等ヲ受ケタルモ盛會裡ニ終了ス

SP. 246 457

三、岐 阜

(1) 一般右翼團體

愛國大道團

事務所 岐阜市金屋町 林茂方

創立 昭和七年三月十日

關係團體 在郷軍人會岐阜聯合會

機關紙 第一新聞、日本(雜誌)

資金ノ出所 篤志家ノ寄附及會員ヨリ一ヶ月十錢宛徴收ス

幹部及主 團長—元判事 中田武雄。副團長—豫備歩兵中佐 加納均一。參議—後備歩兵特務曹長

ナル會員 加藤治助、豫備歩兵少尉 林茂

會員數 五〇〇名

主義綱領

一、天壤無窮ノ皇運ヲ顯揚シ、國家興隆ノ大本ヲ扶翼シ、神國ノ大使命ヲ遂行ス
一、非國家的社會思想ヲ打破シ、與國安民ノ爲メ回天ノ機運ヲ促進ス
一、報國ノ信念ヲ陶冶シ國民ノ中堅タルノ實ヲ舉グ

四四七

SP. 249 458

I-0726

主ナル行動

四四八

- 一、汎ク同志ヲ糾合シ、純正ナル愛國運動ノ全國的擴大強化ヲ圖ル
- 一、帝國在郷軍人會岐阜聯合分會幹部等、我帝國ノ對内、對外的情勢ハ一大危機ニ直面シ、國民一致滿腔ノ誠忠ヲ以テ君國ニ盡スベキナリトテ同聯合分會長豫備陸軍歩兵中佐加納均一、同岐阜市中部分會長豫備陸軍歩兵中尉林茂等中心トナリ、一般愛國ノ志士ヲ糾合シ愛國大道團ヲ結成スベク奔走シタル結果、岐阜市ヲ中心トシテ在郷軍人、青年團員、其ノ他同志約五百名ニ達シタルヲ以テ、昭和七年三月十日創立發會式ヲ舉行、會同者百五十名アリ、團長ニ中田武雄ヲ推シ以下役員ヲ決定
- 一、昭和七年四月十日午後七時三十分ヨリ市公會堂ニ於テ趣旨宣傳ノ目的ヲ以テ陸軍參謀本部滿蒙委員花谷少佐、江藤名古屋刑務所長ヲ聘シ時局講演會ヲ開催、會同者三二〇名ニシテ相當感動ヲ與ヘタリ、當日同會場賭場キ場所ニ左ノ「スローガン」ヲ揭示ス
- 一、反日本主義ヲ驅逐セヨ
- 二、恐米思想ヲ葬レ
- 三、ロシヤニ備ヘヨ
- 四、皇道ヲ四海ニ宣布セヨ
- 五、舉國一致テ國難ヲ打開セヨ
- 六、昭和七年五月二十日岐阜市公會堂ニ於テ縣民大會ヲ開キ時局ニ關スル決議文ヲ作製シ各要

SP. 249

459

- 路ノ大官ニ發送セリ、續イテ大日本守國會長與吳鋼二、同顧問四宮砲兵大佐、其ノ他團員ノ演說アリ相當感動ヲ與ヘタリ、出席者七〇〇名
- 一、昭和七年五月二十八日岐阜市應見町團體事務所ニ於テ役員會ヲ開催シ左ノ件ヲ協議決定セリ、出席者二五名
- 一、普及部増員ノ件
- 二、標札取付ノ件
- 三、事務所移轉ノ件
- 四、時局問題講演會開催ノ件
- 五、團員徽章制定ノ件
- 六、參議推薦ノ件
- 一、昭和七年六月二十四日岐阜縣本巢郡穂積村ニ於テ趣旨宣傳演說會ヲ開キ、同村ニ支部ヲ設置スベク副團長加納均一、山田茂並在名大日本守國會長與吳鋼二等出張、愛國大道團ノ趣旨宣傳ニ努メタリ相當感動アリ、出席者六二名
- 一、同年六月二十八日岐阜市公會堂ニ於テ趣旨宣傳ノ爲左ノ演題ノ下ニ演說會ヲ催シ、後滿洲國承認並増兵ニ關スル決議文ヲ可決シ關係各省大臣ニ郵送ス
- 一、日本ヲ亡スハ日本人カ
- 二、滿蒙ヲ見テ
- 三、新日本ノ使命

SP. 249

460

大日本守國會長 與 吳 鋼 二
 愛國大道團副團長 加 納 均 一
 奧 平 中 將

四四九

I-0726

四、福井

(1) 一般右翼團體

光修會

事務所 福井縣丹生郡織田村織田第九十八號二八番地
創立 昭和三年二月二日
幹部及主 會長―林男助(旅館業産業組合事務員)。副會長―上田寬學(寺院住職)
ナル會員 數 三四名
主義綱領

利己的排他思想並ニ非現實主義ニハ敢然トシテ正義ノ叫ビヲ高唱シ相互覺醒ノ實ヲ舉ゲントス
主ナル行動
一、記スベキ行動ナシ
其ノ他參考事項

一、本會創立ノ動機ハ織田村民ハ政、民兩派ニ分離シ爲メニ村内ノ圓滿ヲ缺キ居タルヲ以テ之
ガ融和策トシテ本會ヲ創立シタルモノナリ

福井國粹會本部

四五〇

SP. 249 461

事務所 福井市乾新町二七
創立 大正十三年十二月二十五日

關係團體 國家主義

幹部及主 會長―青柳仙之助(新聞記者)。主ナル會員―淺野彌一郎(新聞記者)、西野西松(新聞記者)
ナル會員 數 約九〇名(會長自稱)

主義綱領

皇室中心主義ヲ奉持シ我カ國體ト相容レサル主義思想ヲ撲滅センコトヲ期ス
主ナル行動

一、創立以來認ムベキ行動ナシ
其ノ他參考事項

一、泡沫新聞發刊上他人ノ援助ヲ請フ手段トシテ創立シタルモノナルモ何等ノ行動ナク全ク有名無實ノモノナリ

四五二

SP. 249 462

I-0726

五、金澤

四五二

(1) 一般右翼團體

共榮會

事務所 金澤市胡桃町三〇
 創立 大正十五年七月十八日
 資金ノ出所 篤志家ヨリノ寄附及會費ヲ以テ充ツ
 ナル會員 奥村信猛、金鐘遠
 會員數 二五〇名
 主義綱領
 一、人類互愛ノ精神ニ基キ内鮮親善ノ徹底實現ヲ圖ルコト
 二、正義公道ノ精神ニ基キ民族の差別觀念ヲ撤スルコト
 三、自由平等ノ本義ニ立脚シテ思想及生活ノ安定ヲ圖ルコト
 四、共存共榮ノ本義ニ立脚シテ特ニ朝鮮人ノ教化事業ニ努ムルコト
 主ナル行動
 一、大正十五年七月十八日市公會堂ニ會長李正三、外四十名ノ會員出席ノ上發會式ヲ舉ゲタリ

SP. 249 463

一、大正十五年八月二十日以來在縣鮮人ニシテ病氣ニ罹リ療養ノ途ナキ者ノ保護ニ從事シ、最近ハ恩賜財團濟生會治療券ノ交付ヲ受ケ之ガ事業ヲ遂行ノ助トナシツツアリ、開始以來十二名保護ス
 一、内鮮融和、朝鮮事情紹介ノ一端トシテ朝鮮總督府ヨリ朝鮮事情ノフィルムヲ借り受ケ縣下一般ニ巡回公演ス
 一、金澤市内在住朝鮮人子弟ノ向上ヲ圖ルベク昭和七年六月十三日ヨリ毎奇數日ニ同會事務所ニ於テ夜學ヲ開設、目下出席者十八名

明治志士敬贊會

事務所 金澤市早道町七二
 創立 昭和二年十月二十七日
 系 統 國家主義
 資金ノ出所 會員一人ニ付年額六十錢宛及篤志家ノ寄附金
 ナル會員 清水兼三、中杉龍馬
 會員數 一〇〇名
 主義綱領
 明治維新ノ志士ヲ偲ビテ其ノ英靈ヲ祭り、國民精神ノ作興ニ資セントスルモノ
 主ナル行動

四五三

SP. 249 464

I-0726

一、毎年七月二十七日野田山墓前ニ於テ祭典ヲ行フ
二、五年或ハ十年毎ニ大祭ヲ行フ
三、毎年七月二十七日ニ於テ志士ニ關スル講演會等ヲ開キテ其ノ事績ヲ追慕シ國民精神ノ作興ニ資ス

四五四

SP. 249 465

六、富 山

(1) 一般右翼團體

伏木愛國青年同盟

事務所 射水郡伏木町
創立 昭和七年六月二十八日
系 統 國家社會主義
關係團體 立山十字軍
資金ノ出所 入會費五十錢、會費一ヶ月三十錢、其ノ他特志寄附金ニテ維持ス
幹部及主ナル會員 會長―松谷友知(海產物商)。顧問―高辻宗雄(醫師)、田中次作(銀行員)。指導者―
太田幸一
會員數 二八名
主義綱領
日本主義精神ノ發揚、青年日本ノ建設、青年自治ノ確立、青年道義ノ徹底、青年健兒ノ養成並
之ヲ貫徹スルニ努ムルニアリ

四五五

SP. 249 466

I-0726

主ナル行動

一、昭和七年六月二十八日創立ノ伏木青年協會ヲ同年八月十五日伏木愛國青年同盟ト改稱ス
二、同年十月四日同盟指導者太田幸一、神武會々頭大川周明釋放ノ嘆願書ヲ郵送セリ

四五六

SP. 249 467

第四節 中國地方

一、廣 島

(1) 一般右翼團體

尾福々山正真會

事務所 福山市船町 江里口虎太郎方
創立 昭和六年三月十四日
關係團體 國粹會ト連絡ス
資金ノ出所 會費又ハ寄附トス
幹部及主 會長―江里口虎夫(古物商)。副會長―加藤浩平。幹事長―木村英雄
ナル會員 數 一一四名
主義綱領
國民精神ノ作興ヲ主トシ會員相互ノ共存共榮ヲ期ス
主ナル行動
一、昭和六年三月十四日夜市内船町福山食堂ニ於テ結成總會ヲナス

四五七

SP. 249 468

I-0726

二、同年七月福山水製造業者が氷ノ値上ゲヲナスヤ、這ハ氷ヲ材料トシテ製造スル氷菓子行商
人ニ影響尠カラズトシテ小賣商人ヲ歴訪、結束シテ氷ノ不買同盟ヲナシ、結局仲裁者アリテ
解決シタルモ細民業者ノ爲メ活動セリ
三、團結ノ力ニ依リ時ニ時事問題ニ介入シ、就中會員ニシテ之レヲ利用シ暴行ニ出ズベキ傾向
アルヲ以テ相當注意中ナリ

四五八

正 民 義 團

事 務 所 廣島市觀音町五
創 立 昭和五年八月一日
系 統 國家社會主義系
資金ノ出所 必要ニ應ジ會員釀出
幹部及主 幹 三崎良一(無職)、新見勝美(日稼)、安岡末吉(實商)
ナル會員 數 四名(昭和七年四月訓)
會 員 數 四名(昭和七年四月訓)
主義綱領

主 張

今や我國ノ政治ハ普通選舉ノ實施ヲ一轉期トシテ閥族政治ノ打破、政黨政治ノ確立、非民衆的
施設ヨリ社會政策ト漸次ニ國家施設ノ大衆化ヘト變遷ヲ辿リツツアリ、斯ウシタ現實ノ中カラ
日本ノ歴史ヲ省ミ國民性ヲ洞察シテコソ將來我國民ノ共存共榮、國家存立ノ真意義ノ徹底ヲ期

SP. 249 469

スル事カ出來ルノテアル、第三インターナショナル思想ノ奉持者カ人類幸福ノ爲ニハ國境ヲ徹
廢セサルヘカラスト叫フト云ヘトモ唱フルトコロノ「ナショナルイズム」ハ全世界ヲ階級的ニ橫
斷對立セシメ、各國内ニ於テ隨所ニ階級ノ衝突ヲ澤成シ、鬭争ヲ國際的ニ統一化スル事テアツ
テ主張セル平和ハ其ノ假面テアル、若シ失レ第三「インターナショナル」ノ本元タル「ソヴェ
ット」露西亞ト其ノ正反對思想「フアシズム」ノ上ニ起ツ伊太利ト果シテ國境ヲ超ヘテ握手ヲ
ナシ得ルテアラウカ、否其處ニハ武力ノ干戈カ相起ルハ多言ヲ要シナイテアラウ、他國ヨリノ
侵略ニ對シテハ全國民舉ツテ戈ヲ持チテ防備ニ起ツ準備ノ必要カ入ルト等シク、國際經濟戰ニ
於テハ他國品ノ輸入侵略ニ對シ國產品愛國ノ戈ヲ持チテ輸入防止ノ防備ヲナサナケレハ國民經
濟ノ破綻ハ免レヌノテアル、各國共軍備ノ標準ハ防備ニ止メ置キ經濟的ニ他國ヲ侵略セント一
國ヲ舉フテ世界ノ市場ヲアセリ、實ニ今日以後ノ世界ノ問題ハ思想戰、經濟戰、防備ノ爲メノ
軍備量定ノ三大項目テアツテ、其レニ對シテハ各國ハ國民色ノ異様ナ交響樂ヲ思想ニ、經濟ニ、
軍事ノ上ニ奏シテ各國民ハ統率者ノ奏樂ニ合セテ整然タル國民運動ヲ起シテ居ルノデアル、斯
ノ如ク各民族カ共同生活ノ母體タル國家ノ下ニ統制サレテ力強キ動作ヲ爲シツツアル秋ニ當リ
テ日本ノ現狀ヲ見ルトキ、吾人ハ不覺ヲ歎セサルヲ得ナイ、封建ノ遺物タル因習ノ差別觀念ハ
未タニ其ノ跡ヲ斷タルカ爲メニ、少數同胞トノ間ニ深イ溝渠カ造ラレテ居ル、又經濟上ニ於
テハ資本家ト勞働者、地主、小作人間ノ紛擾ハ日ヲ追テ激増シ、双方共ニ精神上ニ經濟上ニ打
撃ヲ受ケ苦痛ト損失ノ分ケ取レヲ居ルニ止ラス、爭議ニ依テ兩者間ニ釀サレル階級鬭争心
ノ激成ハ往々ニシテ經濟社會國家組織ノ現制度ヲモ否認スル極端ナル過激思想ヲ生ミ出シ人類

四五九

SP. 249 470

I-0726

平和ヲ亂ス一大禍根ヲナシテキル、故ニ勞資協調ノ徹底ヲ圖リ以テ階級闘争ノ絶滅ヲ期スル事
ハ彼我ヲ問ハス共ニ現實社會ニ生クル者ノ共同責任デアアルマイカ、吾人ハ想ヲ茲ニ致シテ闘争
ハ社會ヲ退化セシメ調和ヨリ社會ヲ進化ニ導ク原動力デアアル事ヲ確信ナシ、日本ノ國情ニ則シ
テ社會正義ノ爲メニ果敢ナル運動ヲナサントスルモノデアアル

四六〇

綱領

- 一、吾人ハ人類文化ノ新氣運ニ協調シ、非人道ナ因襲的差別觀念ノ絶滅ヲ期ス
- 一、吾等ハ社會公正ノ位置ニ立チ、總テノ紛議ノ調停ヲ圖リ次テ社會平和ノ確立ヲ期ス
- 一、吾等ハ社會正義ニ立脚シテ道義觀念ヲ強調シ、殉道精神ノ涵養ニ努ム
- 一、勞働争議、小作争議、借家借地争議等總テ紛争ノ仲裁及調停
- 一、機關紙「パンフレット」等ノ出版物發行

主ナル行動

- 一、昭和五年九月七日午前九時ヨリ廣島市觀音町五番地三崎良一宅ニ於テ會員及來賓三十名ヲ集メ發會式ヲ舉ゲ、越旨、綱領、役員等ヲ定メ、午後二時ヨリ本團創立ヲ社會ニ發表スル爲メ廣島市廣瀬劇場跡廣場ニ於テ素人花角力ヲ催シ無料公開
- 一、本團體ハ主幹者三崎良一ガ昭和六年六月以來朝鮮各地ヲ徘徊中ニシテ歸來セズ、會員離散シ目下ノ處僅カニ二、三名ニ依リテ維持サレ居ル狀況

SP. 249

471

大日本青年國士黨

事務所 廣島市猿猴橋町八二
創立 昭和六年十一月五日

資金ノ出所 會員ヨリ出資

幹部及主 總裁兼副總裁―深川太一(表具師)。幹事長―竹内福松(無職)。書記部長―中本忠夫

ナル會員 (土方稼)。研究部長―豆谷音一(入夫)。會計部長―長峰惣吉(入夫)

會員數 八名

主義綱領

- 一、皇室中心主義ヲ奉ジ君國ニ報ユ
- 一、各自ノ人格ヲ研勵ス
- 一、社會ノ諸現象ニ對シテ適宜ノ行動ヲトル
- 一、政治問題ニ對シ皇室中心主義ノ立場ヨリ之ヲ批判ス

主ナル行動

- 一、昭和六年十一月十二日午後七時三十分ヨリ廣島市大須賀町修道院ニ於テ滿蒙時局演說ニテ國論喚起ノ演說會ヲ開催シ聽衆約二百五十名アリ、相當感動ヲ與ヘタリ

SP. 249

472

四六一

I-0726

(2) 學生團體

愛國青年聯盟

事務所 廣島市千田町五九八ノ三
 創立 昭和七年二月十一日
 系統 國家社會主義
 關係團體 東京愛國社、九州愛國社、大阪愛國聯盟等姊妹團體
 資金ノ出所 必要ニ應ジ會員ヨリ釀出
 背後ノ人物 九州帝大教授半田敏治等
 幹部及主 幹部及主 廣島文理科大学井上純一、(廣島高等工業學校)堀内正久、(廣島高等學校)福永忠秋
 ナル會員 數 一九名 (昭和七年四月調)
 會員數 一九名 (昭和七年四月調)
 主義綱領

主旨
 純情ト意氣トニ燃ユル青年團結ノ力ヲ以テ混沌タル主義黨派ヲ超越シ、大和民族ノ傳統的精神
 タル尊王國思想ノ下ニ天皇中心共存共榮ノ國家ノ實現ヲ希望シ、進ンテ世界ニ漲ル凡ユル不正
 義、不合理ノ撤廢ヲ期ス
 綱領

凝視セヨ、建國二千五百九十二年ノ皇國ト世界ノ現實ヲ、世ヲ舉ケテ「イヅム」ノ狂亂思想ノ
 怒濤、經濟ノ混亂澎湃タル國民運動ノ白熱化、醒メヨ、大和民族ノ血ノ燃ユル青年、何時迄陰
 鬱沈滞ノ情氣ニ沈ムカ、今ヤ世ハ救世ノ英雄ヲ渴仰シテキル、見ヨ、獨ノ「ヒットラ」、伊ノ
 「ムツソリーニ」、土ノ「ケマル」、印ノ「ガンデー」ヲ、昭和ノ大西郷出テヨ、青年躍起セヨ、
 而シテ救國ト人類救濟ノ聖戰ノ陣頭ニ立テ、明治維新ノ大業ハ凡テ青年ニヨツテ大成サレタテ
 ハナイカ、時ハ來タ、起テヨ全日本ノ青年、日本ノ建設ハ吾等ノ使命タ、何時迄老朽ニ頼ルノ
 タ、既成勢力ニ壓倒サレルノタ、愛國ノ志士奮起セヨ、而シテ天皇ノ下ニ集レ、凡ユル國內ノ
 不合理、腐敗情落ト非國民的亡者ヲ葬レ、世界ニ充滿スル不安、混亂、不合理ヲ改革シ行詰レ
 ル物質文明ノ殘骸ト苦惱スル世界人類ヲ日本精神文明ノ坩堝ニ投シ融合統一セヨ、醒メ起テ日
 本ノ青年、今ヤ日本ノ實力ハ世界ノ覇者タ、白人ノ壓迫ヲモ何者ソ、然レトモ一九三六年ハ目
 捷ニ迫ル倫敦條約ノ結果ニ依ル皇國々防ノ絕對劣勢ヲ來スノ時カ、思ヘ此ノ時ニ於ケル白人ノ
 魔手ヲ、時ハ今急キ起テ青年、滿蒙理想國家ノ建設、日本正義ノ貫徹ノ爲ニ天皇中心ニ躍起セ
 ヲ、國民總動員ノ決意ヲ以テ愛國ノ志士ヨ來リ集レ、我聯盟ノ旗ノ下ニ
 一、吾等ハ建國ノ精神ニ則リ教育勸語ノ本旨ヲ實生活ニ生カシ、國家ノ忠良ナル臣民タラシム
 事ヲ期ス
 一、吾等ハ國家中心民族自覺主義教育ノ徹底ヲ期シ、非國家主義的思想ノ撲滅ヲ期ス
 一、吾等ハ常ニ愛國ノ真隨ニ基キ祖國防衛ノ士タラン事ヲ期ス
 一、吾等ハ政治ノ公正ヲ期シ國內ニ漲ル不義不正、腐敗墮落ノ革正ヲ期ス

一、吾等ハ大陸政策ノ確立ト民族ノ使命遂行ヲ期ス
一、吾等ハ正義愛ノ信念ニ基キ正シキ輿論喚起ヲ期ス
主ナル行動

四六四

一、昭和七年二月十一日紀元節ヲトシテ井上純一主班ノ許ニ廣島高等師範學校、廣島高等工業、
廣島高等學校ノ學生有志十名ヲ以テ本聯盟ヲ組織シ、同時ニ之レガ發會式ヲ廣島比治山御便
殿境内ニ於テ簡單ナル茶菓ヲ以テ舉行
二、本會ノ擴大強化ヲ圖ル目的ノ爲メニ本會ノ主旨、綱領、宣言等ヲ檄文印刷物トシテ在廣中
學ニ夫々配布宣傳ニ努ム
三、第二回大會ヲ昭和七年二月二十一日午後一時ヨリ廣島高等工業學校講堂ニ於テ、九州帝大
教授半田敏治、東京愛國社岩田愛之助、其ノ他大阪、東京ノ各代表ヲ招キ開催シ氣勢ヲ舉グ

SP. 249

475

二、山 口

(1) 一般右翼團體

白色 同盟

事務所 宇部市大字中宇部九六五
創立 昭和四年八月二十九日
資金ノ出所 會員ヨリ月二十錢ヲ徴收ス
幹部及主 執行委員長―山本康尙。會計部長―藤村嘉助
ナル會員 數 一三名
會員 數 一三名
主義綱領

- 一、吾人ハ謬レル思潮ニ惑サレヌ
- 一、吾人ハ謬レル者ヲ導キ醒マサン
- 一、吾人ハ吾人ノ主義ヲ強調セン
- 一、吾人ハ常ニ同胞ノ福利ヲ意トセン
- 一、吾人ハ吾人ノ財ヲ外人ニ利セシメン
- 一、吾人ハ常ニ浪費ヲ誡メアハン

四六五

SP. 249

476

I-0726

主ナル行動

一、創立以來何等團體行動ナク、殆ド有名無實ノ状態ナリ

四六六

(2) 學生團體

由道會

事務所 山口高等學校

創立 昭和七年六月十八日

幹部及主 會長―石村教授。幹事―長井邦之助(文三乙)。

ナル會員 委員―松岡岩雄(理三乙)、有久純夫(文二甲)、保坂勇(文二乙)、山縣善夫(文一乙)、岩井次郎(理一乙)

會員數 四〇名

主義綱領

我建國ノ精神ニ則リ眞日本ノ建設ヲ期シ、日本精神ヲ尊重シ、以テ皇國日本ヲ確直面ノ危機ヨリ救ハムトス

主ナル行動

一、未ダ行動トシテ特記スベキ事項ナシ

SP. 249 477

三、岡山

(1) 一般右翼團體

青谷共存會

事務所 兒島郡甲浦村大字宮浦一、二四四

創立 昭和六年九月十二日

系統 國家主義

資金ノ出所 各會員ヨリ毎年會費トシテ金一圓二十錢宛ヲ徴收ス

幹部及主 會長―屋敷龜吉。副會長―難波福市。顧問―藤原義太郎

ナル會員 會員數 二六名

主義綱領

帝國主義ヲ奉シ共存共榮ヲ圖ルヲ目的トシ左ノ條項ヲ嚴守ス

一、會員ハ兄弟タル誓約ヲ爲スコト

二、我慾ニ類スルモノハ絶對ニ捨テラルコト

三、質素ニシテ天職ニ勉勵スルコト

四、名譽慾ニ走ラサルコト

四六七

SP. 249 478

I-0726

- 一、信義ヲ重スルコト
 - 一、時間ヲ嚴守スルコト
 - 一、正義人道ノ爲ニハ一命ヲモ惜マサルコト
- 主ナル行動

- 一、創立以來ノ事業左ノ通り
 - 一、村内ノ貧民一名ヲ救済セリ
 - 二、諸事節約敢行ヲ申合ハス
 - 三、篤志家ノ田地ニ反歩ヲ小作シ其ノ純益ヲ基金ニ充當シ居レリ
- 一 心 會

四六八

事務所 岡山市上伊福二三二
 創立 昭和四年十二月十三日
 系統 國家主義
 背後ノ人物 友澤昇、小山美登四
 幹部及主 會長―三宅操。會計―武田靜二
 ナル會員 數 三五〇名
 主義綱領
 一、敬神崇祖ノ念ヲ高メ一國一家ノ安泰ニ努ムルコト

SP. 249 479

- 一、國體觀念ヲ明ニシ其ノ擁護ニ努ムルコト
 - 一、共存共榮ヲ念トシ相互扶助ノ精神ヲ忘レサルコト
- 主ナル行動

一、創立以來格別ノ行動ナシ

岡山縣嚴正團

事務所 岡山市花畑六三
 創立 大正十三年四月二日
 系統 國家主義
 關係團體 大日本國粹會岡山縣本部
 機關紙 嚴正新聞
 資金ノ出所 機關紙ノ購讀料及廣告料
 幹部及主 團長―川口金次郎。幹事―門田房一
 ナル會員 數 二五〇名
 主義綱領

四六九

吾等ハ嚴正ニシテ國家主義ニ立脚シ、數千年間傳統シ來レル皇室ヲ中心トセル民族の大精神ヲ極力鼓吹シテ危險思想ヲ撲滅シ、國威ヲ宣揚シ、内民族ノ安泰ヲ圖ラン爲普ク同志ヲ糾合シテ國家ノ緩急ニ應ジ奉公ノ實ヲ擧ケ、正義任侠ヲ本領トシテ時弊ヲ匡救セントス

SP. 249 480

I-0726

主ナル行動

一、大正十三年三月岡山市花畑江原稔方ニ於テ特別要視察人と田久大郎外同志二十名ガ會合協
議中、創立直前ノ本團員十名同所ニ侵入不法ニ解散セシメタリ
一、創立當時有志ノ寄附ヲ募リ撤水車一臺ヲ購入シ岡山市花畑御幸通附近ニ撤水ス
一、本團事務所階下武道々場ヲ無料宿泊所ニ充テ無錢旅行者ニ宿泊セシム
其ノ他參考事項

一、團員ノ大部分ハ土方、仲士等ヲ業トスル自由労働者多ク、岡山市内ニ於ケル土木請負業川
口組、光岡組等ノ仲間ト親分、乾兒ノ關係ヲ結ビ、無智ニシテ本團ノ主義ヲ誤認シ動モスレ
バ暴力的行爲ニ出ヅルコト多ク一般市民ヨリ指彈セラル

青年更正會

事務所 岡山市網濱五八八
創立 昭和三年十月七日

系統 國家主義

關係團體 建國會

機關紙 建國新聞

資金ノ出所 會員ノ據金及有志ノ寄附ニ依ル
幹部及主 會長―高橋久一郎。副會長―岡本武吉。幹事―今瀧義榮、佐藤高治
ナル會員

一、日本國民タル自負ヲ以テ國家興隆發展ヲ圖ル

會員數 三三名

主義綱領

一、郷土祖國ヲ愛シ、皇室中心主義ニ立脚シ危險思想ヲ排撃ス
一、自ラノ信條ニ依リ絕對自由ノ立場ヨリ批判、主張、解剖、行動ヲ爲ス
一、人格向上修養ニ努メ、時流ノ潮勢ニ對シ觀察研究ヲ重ネ、以テ穩健中正ナル方法ニ依リ實
際解決ニ盡ス

一、日本國民タル自負ヲ以テ國家興隆發展ヲ圖ル

主ナル行動

一、本會創立以來毎月十日例會ヲ開催スル外行動ナシ

帝國更生會

事務所 倉敷市倉敷二四九

創立 昭和七年十二月十日

系統 國家主義

機關紙 帝國更生時報 (不定期)

資金ノ出所 寄附又ハ會員任意ノ出資

幹部及主 總務―和田友信、前原鶴間、武田一二、田中伊之助。理事―林壽男、楠木徳太郎、
鳥越雅亮、近藤勝忠

會員數 一二四名

主義綱領

帝國々民ノ共濟更正ヲ目的トシ、國家本位皇室中心主義ヲ遵奉シ、正義ヲ助ケ邪惡ヲ懲ス
主ナル行動

一、幹部前原鶴間ハ滿洲事變以後ノ新ナル社會情勢ニ刺戟セラレ、昭和七年九月頃ヨリ同志ヲ糾合シテ趣意書並ニ會則等ヲ作成シ、岡山縣下各方面ノ有識者四百餘名ニ配付シテ賛同ヲ求メ専ラ會員獲得ニ努メ來リタルガ、論旨詭激ニ互ルヲ以テ豫期ノ共鳴者ヲ得ザリシモ、昭和七年十二月十日倉敷市川西町辰巳劇場ニ於テ發會式ヲ舉ゲタリ、特ニ注意ヲ要スベキ行動ナシ

其ノ他參考事項

一、創立大會費トシテ岡山市中國合同水力電氣株式會社ヨリ金百圓ノ寄贈ヲ受ク

四、鳥 取

(1) 一般右翼團體

正義 團

事務所 米子市尾高町 兵主林太郎方

創立 昭和七年三月五日

系 統 國粹主義

資金ノ出所 團員及篤志家ノ寄附

幹部及主 團長―兵主林太郎。副團長―山崎健一

ナル會員 數 二〇名

主義綱領

苟モ我正義團員タルモノハ常ニ隱忍自重禮節ヲ旨トシ、一旦事アルトキハ會則ニ基キ正義人道ニ立脚シ水火ヲ辭セス、一死以テ國家社會ノ奉公ニ殉ス

主ナル行動

一、昭和七年三月五日米子市加茂町料理屋大名庵ニ於テ結成式ヲ舉グ

其ノ他參考事項
一、本團體ノ幹部ハ所謂地方ニ於ケル俠客仲間ニシテ過去何等統制ナク、一味ノ行動ハ一種無類漢視セラレルル狀況ニアリテ、統制アル組織ノ下ニ純正ナル行動ニ出デント此舉ニ出デタルモノト認メラル

四七四

SP. 249 485

五、松 江

(1) 一般右翼團體

島根愛國正義黨

事務所 簸川郡鹽冶村大字下鹽冶一、五七〇
創立 昭和七年三月十五日
系 統 國家社會主義
資金ノ出所 會費及寄附金
幹部及主 幹部・兒玉善之助
ナル會員 數 一一名
主義綱領
吾黨ハ建國特有ノ大精神ヲ尊重ス
日本魂ヲ發揮シ世界人類ノ平和ヲ指導ス
公明正大ニシテ天下ノ不合理ハ公敵トス
共存共榮ノ國民生活ノ安定ヲ向上セシメントス
一、皇室奉拜、敬神崇佛、國民精神ノ振興ヲ計ルコト

四七五

SP. 249 486

I-0726

- 二、國民大衆本位ノ政治ノ樹立ト惡税ノ撤廢、善政ノ簡易化
- 三、天皇直屬ノ下ニ軍務ト司法權ノ獨立要求
- 四、綱紀肅正、公民教育ノ擴張、普選改廢
- 五、新産業主義完全、自給自足ノ經濟立國

四七六

- 一、昭和七年三月十五日結社届出
- 二、創立後日尙淺ク行動トシテ見ルベキモノナシ

其ノ他參考事項

一、幹部タル兒玉善之助ハ昭和五年十一月十五日全國大衆黨島根支部ヲ組織シ、同六年八月二十日名稱ヲ全國勞農大衆黨島根支部ト變更シ其ノ主幹者タリシモ、何等特記スベキ行動ナク推移中現今ノ社會情勢ヨリ今回ノ黨ヲ組織スルニ至ル

一、本人ハ資産並信用ナク、黨員募集中ナルモ將來發展ノ見込ナシ

(2) 學生團體

大陸同志會

事務所 島根縣立松江事學校内
創立 昭和七年二月十九日

SP. 249 487

系 統 國家主義
資金ノ出所 寄附金ニヨル
幹部及主 會長―池田種(五年生、級長)。幹事―南家弘介(五年生)、門脇桂(同)
ナル會員 會員數 一七名
主義綱領

會則抜粹

第三條 本會ハ青雲ノ志ヲ有シ大陸ニ向ツテ雄飛セムトスル松中生徒中ノ同志者ヲ以テ組織ス
第四條 本會ノ目的ハ大和民族傳來ノ大陸策實現ニ協力シ、大日本帝國主義高調ノ貫徹ニアリ
第五條 會員ハ身心ノ修鍊、學業ノ精勵ニ注意スルモノトス

主ナル行動

- 一、創立後日尙淺ク勢力活動ノ見ルベキモノナシ

其ノ他參考事項

- 一、學 校 名 島根縣立松江中學校
- 二、教職員參加ノ狀況 顧問―(教諭)法橋純一、(配屬將校)山田重一

松江射擊會

事務所 松江高等學校内
創立 昭和七年二月十一日

SP. 249 488

四七七

I-0726

系 統 國家主義
資金ノ出所 會 費
幹部及主 委員—高橋元雄、理三甲、小松二郎(同)、岸本茂(同)
ナル會員 數 四〇名
會員 數 四〇名
主義綱領

四七八

松江高等學校射擊會規約

- 第一條 本會ハ松高射擊會ト稱シ職員、生徒ノ有志ヲ以テ組織ス
第二條 本會ハ小銃射擊ノ研究ヲ目的トス、但シ臨時講話ヲ以テ之ニ代フルコトアルヘシ
第三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
一、主任一名(本校教官中ヨリ依嘱シ本會ノ指導ニ當ル)
一、顧問若干名(本校職員中ヨリ依嘱シ會務ノ相談ニ與ル)
一、委員若干名(本校生徒中ヨリ依嘱シ本會ノ事務ニ當ル)
第四條 本會ハ會員ノ申合セニ依リ隨時之ヲ開キ別ニ開會ノ時期ヲ定メズ
第五條 本會ノ會費ハ其ノ都度之ヲ徴收ス
主ナル行動
一、創立後日尙淺ク勢力活動ノ見ルベキモノナシ
其ノ他參考事項
一、學 校 名 松江高等學校

SP. 249 489

- 二、教職員參加ノ狀況 會長—(教授)佐川市助。顧問—(教授)高島善一、(同)高橋寛丈(同)清水吉之助、(教官)原塚傳市、(講師)永田家三
三、本會ハ滿洲事變勃發以來愛國熱大イニ昂リ國防研究ノ爲組織セラレタリ

SP. 249 490

四七九

I-0726

六、松山

(1) 一般右翼團體

今治ハタラクキ會

事務所 今治市大字今治村甲六五
 創立 昭和三年四月二十九日
 資金ノ出所 會則ニ依ル會費
 幹部及主 會長―尼田治郎吉。理事―真木伸敏、宮川直徳、佐藤金藏。幹事―中野繁春、齋藤吉之助、大村光洲
 會員數 一七一人(昭和三年六月十日)。一三〇人(昭和四年七月)
 主義綱領 金匱無缺ナル我カ國體ヲ擁護シ天壤ト共ニ窮リナカラシメンコトヲ信條トシ、之ニ背反スル凡テノ主義團體ノ撲滅ヲ期スルト共ニ他面「働カサル者ハ食フヘカラス」ノ原則ヲ遵守シ、信ヲ尊ビ、義ヲ重シ、努メテ精神ヲ修養シ、智能ヲ啓發シ、勞資協調シテ相互ノ向上ヲ圖リ、産業ノ振興ヲ助ケ、依ツテ失業ノ救済ニ資シ以テ國運ノ發展ヲ期ス
 主ナル行動

一、昭和四年七月末創立以來何等ノ行動ナキノミナラズ會員名簿ノ整理等ナク有名無實ノ状態ニアルモ會長尼田治郎吉(土木請負業)ノ輩下ノモノ約三十名アリテ之等ヲ會員ト見做シ現在會員百三十名トス

八 洲 社

事務所 北字和郡三間材大字宮ノ下甲九五九
 創立 昭和六年五月十日
 系統 政教社(東京市芝區)、神武會(東京市麴町區)
 機關紙 日本道(發行部數百部)
 資金ノ出所 會員ノ負擔
 背後ノ人物 東京市小石川區金鷄學院内安岡正篤ノ指導ヲ受ク
 幹部及主 八洲社代表―竹葉秀雄、土居重雄
 ナル會員 數 約三〇名
 主義綱領 吾等ハ誓ツテ全世界ヲシテ日本天皇ヲ奉センメ、祭政教一致ノ理想世界ヲ實現セン
 誓 約 一、同シキ誓約ニ相結ヒ一死以テ日本道成就ヲ期ス
 一、皇國ノ幽玄ヲ探ラン

- 一、古今東西ノ書ヲ讀破シ、萬古ノ心境ヲ開拓セン
- 一、身命ヲ愛シ寸陰ヲ惜ミ、徒ラニ身命ヲ滅シ光陰ヲ無ニスル事ナシ
- 一、身命ヲ惜マス永遠ノ今ニ生キ
- 一、金剛不壞ノ身心ヲ鍛鍊セン
- 一、生命ノ終リノ日マテ戰ハシ

主ナル行動

一、創立者竹葉秀雄ハ喜多郡大洲町小學校訓導トシテ奉職中、國史ノ研究ニ熱心ノ結果極端ナル國家思想ヲ抱クニ至リ、昭和六年五月大洲町方面ノ同志ト謀リ八洲社ナル團體ヲ組織シ、支那問題ニ關シ首相、外相、陸相等ニ宛檄文ヲ郵送シタル等ノ事實アリタルガ其ノ後就職ヲ辭シ同年十二月現住所地ニ歸來シ、更ニ同月上京シテ東京市金鷄學院安岡正篤ノ下ニ赴キ國史ノ研究ニ努メツツアリタルガ、昭和七年三月歸省シ居村青年等ヲ糾合シテ八洲社ノ確立ニ努メ、尙同年四月二十日ヨリ機關紙「日本道」ヲ發行シツツアリ

一、昭和七年七月二十三日居村小學校ニ於テ村内有志ヲ招集シテ農村救濟研究会ヲ開催セムトシタルモ出席者僅ニ五名ナリシ爲メ無延期トナレリ

其ノ他參考事項

一、行動欄記載ノ如ク本團體ハ既ニ昭和六年五月十日創立シタルモノナリト稱シ居ルモ事實ハ確立シ居ルモノニアラズ、會員ノ如キモ主宰者竹葉ハ約三十名ヲ擁スト稱シ居ルガ正式入社シ居ルモノハ數名ニ過ギザル状態ナルヲ以テ、竹葉トシテモ今後會員獨得ニ努メタル上改メテ創立總會ヲ開催セムトスルノ意圖ヲ有シ居レリ

第五節 九州地方

一、長崎

(1) 學生團體

長崎高商日本精神研究会

事務所 長崎高等商業學校内
 創立 昭和七年六月十五日
 資金ノ出所 必要ニ應ジ有志ノ寄附ヲ受ケ經費ニ充當ス
 幹部及主 顧問—高畑得四郎、河野吉男、松野兼吾。幹事—濱上月待
 ナル會員 數 二五名
 會員 數 二五名
 主義綱領

趣意

我々ハ現下ノ社會的客觀情勢ノ實相ヲ見ル時、學的良心ノ止マレヌ推移顯現トシテ日本學徒タルノ本分ニ生キ爲メ、國家的正義觀ヨリシテ我カ國ノ歴史的特殊性ナル所謂日本精神相互研究ヲナシ、日本特殊の社會性ノ認識把握ヲ確立シ學徒ノ正シキ動向ヲ迪ラントスルモノヲア

ル、尙又我々ニハ品性向上ト學生相互友和ノ目的ニ添ハン爲メ相互修養研究ヲ目的トシ、希望社日本學徒聯盟ノ解散ヲ楔機トシテ希望社長崎高商聯盟ヲ解消シ、長崎高商日本精神研究會ヲ組織スルモノテアル

四八四

目的

一、本會ハ日本精神ノ研究ヲ目的トシ相互修養研究ニ努メ、以テ日本學徒タルノ本分ヲ全クセシコトヲ期ス

主ナル行動

一、昭和七年六月十五日午後五時ヨリ長崎高商食堂ニ於テ第一回準備會ヲ開催シ、希望社日本學徒聯盟ノ解散ヲ楔機トシテ希望社長崎高商聯盟ヲ解消シ本研究會ヲ組織スルコトニ決定シ、該準備會ヲ以テ發會式ニ代ヘ、顧問ニ同市高商教諭高畑、河野、松野ノ三名ヲ推舉シ、尙委員其他ノ役員ハ會員少數ノ爲メ當分保留シ全般ノ事務ハ幹事一名ニ於テ之レヲ處理スルコトトシ、本會ノ目的タル相互研究修養會ハ本夏期休暇後毎月第二、第三土曜日午後一時ヨリ學校内ニ於テ開催スルコト等ニ付協議決定ス

SP. 249

495

一、佐賀

(1) 一般右翼團體

大詔實踐團

事務所 佐賀市松原町 元石榮方
創立 大正十三年九月二十七日

系統 國家主義

幹部及主席 常務理事—元石榮

會員數 約三五〇名

主義綱領

- 一、本團ハ大詔聖旨ヲ奉戴シ至誠愛國ノ士ヲ以テ組織シ、各贊助員及一般會員ニ對シテ一切會費ノ援助ヲ乞ハス
- 一、本團ハ國家觀念ノ建實ナル日本人ヲ以テ組織シ、男女年齢ヲ定メス總員中ヨリ特志者ヲ募リテ代表實踐躬行ス
- 一、本團ハ純真ナル精神集團ナルカ故ニ一切會費ヲ徵收セサルト共ニ實踐ノ方法モ亦資金ヲ募スルカ如キ華佑ヲ避ケ、質實剛健ヲ信條トシテ卑近ナル小事ヨリ逐次漸進ス

四八五

SP. 249

496

I-0726

主ナル行動

- 一、幹部元石榮日蓮信者ヲ主タルバツクトシテ創立今日ニ至レルガ會員ハ本團ノ主義、綱領ニ活動ヲナスモノ皆無ニシテ、只幹部元石榮ニヨリ思想善導ニ關スル講演會又ハ活動寫眞會ヲ縣下各地ニ開催シツツアリ
- 一、昭和五年三月三十日軍縮問題ニ關シ帝國ノ原案貫徹方内閣總理大臣及軍令部長ニ打電ス、續イテ四月十七日右問題ニ關シ首相、外相及軍令部長宛建白書ヲ發送ス
- 一、昭和六年滿洲事變ニ際シ滿洲派遣軍武運長久祈禱會ヲ開催シ、慰問使トシテ元石榮ハ十一月三十日佐賀驛發渡滿、各地ニ我軍隊ヲ慰問シ或ハ日蓮主義ノ講演ヲ試ミ同年十二月十五日飯佐ス
- 一、昭和七年一月二十六日、七日第十二師團ノ招聘ニ依リ久留米市恩比須座ニ於テ「滿蒙戰線觀察」ノ講演ヲナス
- 一、同年三月十六日海軍大臣宛國軍ノ威信保持ニ關スル建白書ヲ發送ス

四八六

SP. 249

497

三、福岡

(1) 一般右翼團體

愛國無產同盟

事務所 若松市大字島郷字竹並二、二二六
 創立 昭和六年五月十日
 系統 國家主義
 幹部及主 盟主一重住正雄(小學校教員)
 ナル會員 數 二四名
 會議員 數 二四名
 主義綱領

結成ノ目的

吾等愛國無產同人ハ茲ニ愛國無產同盟ヲ結成ス、其ノ目的トスルトコロハ三惟道神ノ普及強調ニアリ、即チ天祖ノ御神勅ヲ遵奉シテ皇道ヲ宣揚シ以テ我民族建國ノ大精神ヲ發揮シ、神武天皇肇國ノ大御心ニ則リテ明治天皇王政復古ノ大業完成ヲ圖リ、世界全民族ノ獨立自治ト相互扶助トヲ實現シ、全人類ノ共存共榮ヲ達成センコトヲ我民族ノ使命トスル不拔ノ大信念ニ基キ左記綱領ヲ揚ケ身命ヲ賭シテ其ノ實行ヲ期シ皇恩ノ萬分一二報ヒ奉ランコトヲ誓フ

四八七

SP. 249

498

I-0726

網 領

- 一、惟神ノ大道ニ則リテ至誠皇室ヲ崇拜シ、神社讚仰、祖先崇拜ヲ發揮シテ忠孝一本ナル大和民族傳統ノ大精神ヲ宣揚ス
- 二、天皇ト國民大衆トノ間ニ介在シテ聖明ヲ蔽フ一切ノ中間勢力ヲ排撃シ、一君萬民君臣一家ノ本義ニ基キ搾取ナキ國家ノ建設ヲ期ス
- 三、人口問題、就職難ヲ積極的ニ解決シ、一人ノ無職浮浪ノ徒ナキヲ期ス
- 四、勞資協調ヲ徹底的ニ解決シ資本家ノ強慾專横ヲ戒メ、勞働者ノ勤勞精神ヲ鼓舞ス
- 五、赤化共産黨ノ撲滅ヲ期ス
- 六、世界全民族ノ獨立、自治全人類ノ共存共榮ヲ期ス

主ナル行動

一、昭和六年五月一日「メーデー」ニ際シ各種無産團體ノ策動アリト聞クヤ直ニ之カ撲滅ニ關スルピラ一萬枚ヲ作成シ福日、九日ノ兩新聞ニ折込ミ八幡、若松兩市及折尾町等ニ配布セリ

愛國日新會

事務所 福岡市西新町三丁目 樋口喜走方
 創立 昭和六年六月一日
 資金ノ出所 會員各自ヨリ會費一ヶ月十錢徴收
 幹部及主 樋口喜走、大塚角
 ナル會員

SP. 249

499

會員數 一〇名

主義綱領

人類協和ノ標榜ノ下ニ大日本主義ヲ以テ青年日本ノ精神ヲ發揚ス

- 一、祖宗ノ示教ヲ體シテ新シキ日本ノ前途ニ向フ
- 二、肇國ノ精神ヲ持シテ新シキ生活ノ展開ニ立ツ
- 三、相互依存ノ下ニ社會研鑽ノ正シキ批判力ヲ養成ス

主ナル行動

一、昭和六年十一月滿蒙問題ニ關シ輿論喚起ノ爲メ福岡市内六ヶ所ニ於テ演說會ヲ開ク
 一、昭和六年十一月滿蒙事變派遣軍慰問金ヲ募集シ同派遣軍ニ贈ル

愛國青年聯盟

事務所 門司市祝町四丁目
 創立 昭和七年三月十日
 資金ノ出所 必要ニ應ジ會員ヨリ支出ス
 幹部及主 委員長―知振儀太郎(洋服商)、委員―江頭今市(會社員)、田邊清(會社員)、委員思ナル會員 注―川關良雄(無職)

會員數 三〇名

主義綱領

SP. 249

500

日本ハ正ニ重大ナル秋テアル、滿蒙問題ノ進展、上海事變ノ紛糾ハ益々其ノ重大性ヲオブ、コレカ難局打開ノ如何ハ一ニ祖國ノ盛衰ニ關ス、而シテ之カ貫徹ハ只々國際場裡ノ外交官及滿蒙ノ野ニ立ツ同胞兵士ニ俟ツノミナラス、吾々國民ガ大同團結シテ以テ國論ヲ統一シ背後ヨリ之ヲ應援支持スルヲ要ス、カカル時一般民衆ハ極端ナル利己主義ニ陥リ先導者亦國民利福ヲ以テ使命トスルノ信念ヲ缺ク、斯クシテ國家的指導者ナク何處ニカ國論ノ統一ヲ望ムベキヤ？ 青年ハ國ノ力國ノ生命ナリ、真ニ然リ、而シテ國ノ鏡ナリ、現時青年ハ祖國重大ノ秋ニ際シテ氣力アリヤ！ 鬱ナル横顔ニ利那ノ瞬間の享樂ニ生キテ居ル彼等ニ何ノ氣力ガアルカ、信念ガアルカ、街ト言ハズ村ト言ハズカフエノ進出、麻雀俱樂部ノ増加、エロ・グロニ雜誌興業屋ノ繁榮ハ何ヲ物語ルカ、需要ガアルカラ供給ガアルノダ、コレガ現代日本ノ時代相デハナイカ、頹廢的日本青年ノ意志ノ表示デハナイカ、タマノ熱アルモノハ國體ヲ誤ル左傾分子ダ、カカル現狀デ日本ハヨイカ、三千年來光輝アル國史ガコノ歴シタ一時代ノタメニ汚サレテヨイノカ、感激性ナキ國民ハ亡ブ、コノ秋ニ當リ吾等青年ノ熱ト力ハ今ヤ必然の同志ノ結束トナツテ現ハレタ、「愛國青年聯盟」即チコレナリ、互ノ信條、正シキ理論、カタキ團結、正シキ者ヲ力アラシメカアルモノヲ正シカラシメヨ、コノ意味ニ於テ吾等同志青年ハ大同團結シ赤誠ノ力ヲ以テ輿論ヲ喚起シ國論ノ統一ヲ圖リ國難ヲ打開スルト共ニ新興日本青年使命ノ自覺遂行皇業ノ振作ニ盡瘁セントス、茲ニ吾等同志ハ衷心ヨリ滿腔ノ赤誠ヲ披瀝シ賢明ナル同志諸君ノ愛國心ニ訴ヘ其ノ目的ヲ達成セントス、心アル同志ヨ、オ互日本男子ダ、九州建兒ダ、ドウシテ拱手傍觀

シ居ラレ様、イザ起タウ、進軍ノラツバガ鳴ル、集合ダ、勇ンデ愛國青年聯盟ノ旗ノ下ニ集ラシコトヲ切望ス

主ナル行動

一、門司市祝町四丁目知振儀太郎等ニ在リテハ近時國民思想ノ惡化セルヲ遺憾トシ雜誌「希望」ノ讀者(市内ノミ)ヲ糾合愛國精神培養ヲ目的トスル「愛國青年聯盟」ヲ結成スベク企畫シ、會員募集中ノ處約三十名ノ加盟ヲ得タルヲ以テ昭和七年三月十日市内風師山ニ於テ結盟式ヲ舉ゲ、爾來聯盟ノ強化ヲ策シツアレドモ入會者尠ク、未ダ正式發會式ヲ舉グルノ運ビニ至ラズ

愛國青年同盟

事務所 小倉市小性町七二
創立 昭和七年二月十一日
資金ノ出所 同盟員ヨリ毎月二十錢據出
幹部及主ナル會員 會長―市會議員住野市松。書記長―大本榮(生花商)。出版部長―時田實(無職)。池田隆次(無職)
會員數 九〇名(小倉商業學校年業生及大字大久保水平社)
主義綱領 國家主義

I-0726

- 一、本同盟ハ國體ニ反スルノ一切ノ主義國體ノ絶滅ヲ期ス
- 一、本同盟ハ光輝アル我が國威ノ宣揚ヲ期ス
- 一、本同盟ハ日本國民ノ幸福利益ノ増進ヲ期ス
- 一、本同盟ハ民間ノ軍隊ニシテ實行ヲ本旨トス

四九二

主ナル行動

一、書記長大本榮(警視廳編入特要甲號)ハ三・一五事件ニ連座シ東京市市ヶ谷刑務所收容中ノ處昭和六年一月保釋出所ノ處分ヲ受ケ同月部内小倉古船場町居住實父ノ許ニ歸省セリ、然ルニ本名ハ刑務所收容中大イニ感ズル處アリ、出所後ハ一切左翼運動ヨリ遠ザカリ誠實業務ニ勵シ漸次思想變遷シツツアリシガ、危機ニ直面セル日本ノ現狀ニ憤起シ之ノ重大ナル局面ヲ打開スル爲メニハ現在ノ青年ヲ陶冶シ堅固ナル思想ノ鼓吹ニ努ムルノ要アリト爲シ、其ノ方法トシテ反共產主義運動ヲ敢行ス可ク同愛ノ士小倉商業學校卒業生劍道部員及小倉市大字富野字大久保居住水準社ノ有力ナル闘士十五名ヲ糾合、昭和七年二月十一日建國祭當日ヲ期シ前記大本榮方ニ於テ發會式ヲ舉ゲ、當日建國祭記念闘争トシテ共產主義撲滅等ノ檄文外五種目二千枚ヲ印刷部内各所ニ貼付シ相當ノ成績ヲ舉ゲタリ、其ノ後書記長大本榮ノ手ニ依リ同盟ノ聲明書一千枚ヲ印刷市内ニ配布同盟員ノ獲得ニ狂奔、漸次組合員増加シ現在九十名アリ、次デ四月十九日小倉市淺野埋立地ニ於テ開催セラレタル縣下消防組々頭大會當日國防火宣傳ニ關スル檄文約三千枚ヲ印刷市内ニ於テ配付セシガ、本同盟ハ爾來積極的活動ヲ續ケ

SP. 249 3003

ツツアル處、中心人物書記長大本榮ハ昭和七年五月二十九日結成セル日本國家社會黨ノ中央委員ニ選任セラレ、一方會長住野市松ハ最近神武會トモ聯繫アルモノノ如ク神武會機關雜誌(日刊日本)ヲ會員ニ配付スル等ノ舉アリ、將來本同盟ハ複雑ナル關係アルモノト思料セラル

大日本愛國立憲正義團

事務所 福岡市住吉東領三丁目 大西新太郎方
 創立 昭和七年四月二十八日
 系統 大日本主義
 幹部及主 團長—大西新太郎。幹事—北辰之助、福田岩彦、田中廣實
 ナル會員 數 一五名
 主義綱領

宣言

ソレ靜カニ祖國ノ現狀ヲ觀察スレハ吾人ハ襟ヲ正シテ慄然タラサルヲ得ス、即チ世界大戰ノ反動タル變調好況ニ影響サレタ傾向カアツタ、其ノ必然の結果ハ財界恐慌ヲ齎シ經濟國難ヲ叫ハサルヲ得サルニ至ツタ、コレ誰ノ罪テモナイ、一世ノ指導者トシテ國政ニ參與スル政治家ノ責務ニ缺クル處アリシニヨルト斷スル、帝國ノ現狀維持ハ父祖ノ國ヲシテ滅亡セシムルモノテアル、我等ハ默視スルニ忍ヒナイ、斷固トシテ全日本精神ノ上ニ立脚シ日本精神ニ反スル一切ノ

四九三

SP. 249 504

I-0726

政治家及ヒ國民ニ對シ戰フ事ヲ茲ニ宣言ス

四九四

我等ノ斷呼タル決意ヲ以テ此處ニ結束セシ所以ハ……建國三千年父祖ノ血管ヲ通シテ脈搏高鳴
リシ純潔ナル日本精神ハ没却セラレ、政治ハ腐爛シ思想泥迷ソノ極ニ達シ、剩サヘ經濟ノ破綻
ニ瀕セル危急ニ直面シテハ憂國ノ血慨然沸然タルモノアレハナリ、亡國ノ民トナツテ世界ニ流
浪センカ其處ニ吾人ハ猶太ノ悲痛ヲ知ル、寧ロ亡國流浪ノ民トナランヨリ生命ヲ賭トテ、然リ
正義誠心反日本精神ノ徒ニアタラン

主ナル行動

一、昭和七年四月二十八日創立大會ヲ開催シタルモ日向淺ク特記スベキ事項ナシ

大日本愛國團

事務所 小倉市鍛冶町五丁目八四
創立 昭和七年四月
系統 國家社會主義
機關紙 愛國
資金ノ出所 主幹者小林徳一郎ニ於テ出資ス
幹部及主 主盟—小林徳一郎(請負業)。發起人—辯護士林信雄、吉田慶三郎(新聞經營)
ナル會員 數 約二、〇〇〇名

SP. 249

505

主義綱領

一、一君萬民ノ光輝アル國體觀念ノ認識ヲ新ニシ忠誠以テ皇室ニ奉シ、國家ニ對スル臣民ノ分
義ヲ盡サムコトヲ期ス
二、國家根本ノ基礎ヲ危殆ニ陥ラシムル不逞思想ヲ撲滅シ社會不安ノ禍根ヲ艾除セムコトヲ期
ス
三、國民各個品性ヲ陶冶シ修養ニ努メ愛國運動ヲ起シ、外ニ日本民族ノ使命ヲ達セムコトヲ期
ス

主ナル行動

一、組織後日向淺ク特記事項ナシ

帝國黨

事務所 福岡市西新町本通二丁目二七四
創立 昭和七年六月二日
資金ノ出所 會員ノ負擔
幹部及主 總務—林初三郎(牛肉商)、内田義直(無職)、尾形徳雄(新聞記者)、久保山秀雄(無
ナル會員 職)
員數 七名

四九五

SP. 249 506

I-0726

吾等ハ國際主義、自由主義、マルクス主義、フアシズムノ思想ヲ無視シタル新帝國正義ノ原理ニ立脚シ明日ノ日本ヲ躍動セシムヘク鋼鐵ノ如キ意思ヲ以テ大同團結ス

四九六

一、昭和七年六月二日福岡市西中洲縣公會堂ニテ結黨式ヲ舉行ス

福岡國民社會黨

事務所 福岡市材木町九

創立 昭和七年七月二十三日

系統 國民社會主義

資金ノ出所 黨員ヨリ毎月十錢據出

幹部及主 執行委員長兼財務部長―山下庸太郎(仲介業)。統制委員長―出田繼治(請負業)。書記長―宮本増喜(仲介業)。組織部長―福田鐵男(活動寫真興業)

黨員數 六〇名

主義綱領

一、吾黨ハ天皇ト國民大衆トノ間ニ介在スル不當ナル中間勢力ヲ排撃シ、一君萬民ノ本義ニ基キ採取ナキ新日本建設ヲ期ス

一、吾黨ハ王道政治ヲ徹底シ資本主義ヲ基調トスル産業組織ニ根本的改革ヲ加ヘ、個人資本ノ奉還ニ依ル産業大權ノ確立ニヨリテ全産業ノ國家的統制ヲ期ス

SP. 249

507

一、吾黨ハ資本主義ノ傀儡タル特權政黨並ニ國性ヲ無視セル無產政黨トニ對立シ之カ克服ヲ期ス

一、吾黨ハ人種平等資源衡平國際正義ノ原則ニ基キアジヤ民族ノ解放ヲ期ス

主ナル行動

一、結黨後何等見ルベキ行動ナシ

立憲愛國雄進同盟

事務所 八幡市東町二丁目 森勝三方

創立 昭和六年八月十六日

資金ノ出所 事業ヲ營ミ其ノ收益ニ依リ維持ス

幹部及主 顧問―市會議員井本孝。會長―佐藤滿(職夫)。副會長―永野忠夫(職工)。幹事長―波多江秀三(職工)

黨員數 三〇〇名

主義綱領

趣旨

一、今ヤ國民ノ多數ヲ占ムル労働者ノ生活狀態ヲ改善シ、精神向上ヲ促シ、國民全般ノ文化ヲ増進セシメル經濟運動ハ稍モスルト我國特有ノ美風ヲ忘レ、某國ノ赤化的、歐米ノ理屈一點張リノ思想ニ捉ハレ誠實ナル労働者ノ平和ヲ破リ國家産業上深憂ニ堪ヘス、我等ハ先ツ正道

四九七

SP. 248

508

I-0726

ニ誠實ト責任ヲ加ヘ茲ニ同志相結合シ立憲愛國雄進同盟會ヲ組織スルモノナリ
 一、吾等ハ正義ノ尖端ニ立チ自ラ働キ、自ラ努メ、精神ヲ作興シ思想ノ改善ヲ期シ、産業ノ隆盛ヲ圖リ光輝アル國家ノ確立ヲ理想トス、本會員ハ剛健敏活、真劍味ヲ以テ勤儉力行シ、經濟國難ヨリ來ル思想ノ不安ヲ此ノ熱烈ナル正義ノ力ニテ征服スル大覺悟ヲ爲ス
 一、眞ニ國家ヲ憂フル者ヨ、謹ミテ我カ國ノ前途ヲ思ヘ、而シテ本會ノ真理ニ共鳴スル者ハ起テ、本會ハ工場労働者ヲ目的トシテ組織シタルモノニシテ、此ノ正義ニ雄進スル意力ヲ以テ現在社會ノ害惡タル賣名の組合ノ百出スルヲ掃蕩シ、撲滅シ、高潔ナル人格者ヲシテ善政ノ實施ヲ期セシメ、地方自治ノ向上ヲ圖ラントス

主ナル行動

- 一、會長タル佐藤滿ハ豫テ八幡市内ニ於ケル無産黨ノ行動並ニ言動カ過激ニ互リ公安ヲ害スルモノ多キヲ憂ヒ之ガ撲滅策ニツキ考究中ノ處、同志永野忠夫、波多江秀三ノ應援ニ依リ、皇室ヲ中心トスル反動團體ヲ組織シ之カ撲滅ヲ徹底スル事トシ、昭和六年七月初旬ヨリ創立準備ニ奔走シ愈々同年八月十六日創立大會ヲ開催スルニ至レリ
- 一、昭和六年九月施行ノ縣會議員改選ニ當リ民政黨公認候補井本孝ノ應援ヲ爲セリ
- 一、其ノ後見ルベキ行動ナシ

四、熊 本

(1) 一般右翼團體

昭和青年聯盟

事務所 球磨郡人吉町字大工町 高山秀造方
 創立 昭和七年三月一日
 系 統 國家社會主義
 資金ノ出所 會員負擔
 幹部及主 高山秀造、片山廣、内田武臣、松見靜馬、遠山三重、井ノ口正利
 ナル會員 數 七〇名
 主義綱領
 滿蒙ニ進出シ新日本ヲ建設シ昭和維新ノ斷行ヲ期ス
 主ナル行動

一、滿蒙進出昭和維新ノ斷行ヲ目的トシテ組織セラレタルモノニシテ、先ヅ會員獲得ノ爲メ球磨郡一圓ニ互リ演說會ヲ開催シテ之ガ普及宣傳ニ努メ、昭和七年三月二十三日ヨリ事務所ニ於テ滿蒙研究殊ニ支那語ノ研究ヲ爲シツアリ、又未懇地ヲ借用シテ滿蒙開拓養成ノ爲メ實

地指導ノ計畫ヲ進メツツアルモ資金難ノ爲メ實現性薄シ、尙聯盟歌ヲ作成シテ會員ニ配布シ
居ルモノナリ

五〇〇

SP. 249 511

五、鹿 兒 島

(1) 一般右翼團體

鹿兒島國粹會

事務所 鹿兒島市南林寺町五二
創立 昭和四年十月三十日
系 統 國家社會主義
關係團體 關東國粹會
資金ノ出所 會員ヨリ維持費據出
背後ノ人物 最高顧問―床次竹二郎。顧問―崎山武夫。相談役―相良安之助、久米田新太郎
幹部及主 會長―兒玉實良。幹事長―畑武平。副幹事長―相良弘、福追清。幹事―野元善吉、
ナル會員 迫勇藏、岩本十太郎、徳重亮平、四元宗治、橋廣龜次郎、山崎修治、佐藤岩次郎、
戸場半八郎、池口清一、山田實五郎、谷山金三郎
會員數 三〇〇名
主義綱領

SP. 249 512

五〇一

I-0726

- 一、本會ハ一意専心皇室中心主義ニ結束シ、益々實行的威力ヲ濫蓄スルト共ニ最モ其ノ行動ヲ慎重ニシ我國體ヲ擁護シ、其ノ精華ヲ發揚スル爲好機ニ投シテ全力ヲ傾注センコトヲ期スヘシ
- 二、本會ハ政派ヲ超越シテ嚴正批判ノ位置ニ立脚シ、苟クモ我國體ノ基礎ヲ搖カシ道德ノ淵源ヲ危タスル一切ノ事相ヲ艾除センコトヲ圖ルヘシ
- 三、本會ハ現時ノ世態ニ鑑ミ進ンテ社會的正当防衛ノ衝ニ當リ、誠實ナル公論正義ヲ擁護シ其ノ健全ナル發達ニ貢獻センコトヲ努ムヘシ

行動規範

- 一、吾人ハ一ニ教育勅語ヲ規範トシテ行動シ、苟モ我國體ト相容レサル思想ハ之ヲ防遏ス
- 二、吾人ハ政黨政派ニ超越シ嚴正批判ノ位置ニ立チ政界ノ腐敗ヲ豫防ス
- 三、吾人ハ勞働者ノ惡風ヲ矯正シ、資本家ノ橫暴ヲ抑制シ、國際的經濟戰ノ優勝ヲ期ス
- 四、吾人ハ動モスレハ危險思想ニ感染シ易キ不遇ノ徒ヲ指導救済シ、之ヲ感化シテ蠻的兇行ニ出テサラシム
- 五、吾人ハ弱ヲ扶ケ強ヲ挫キ最大ノ幸福ヲ得シメンコトヲ期ス

主ナル行動

- 一、會員中ニハ粗暴危激ノ言動ヲ弄シ、動モスレバ直接行動ノ舉ニ出デ暴力行爲ヲ敢行スル虞アルモノ尠カラザルヲ以テ常ニ注意取締中ナルガ、會員ニシテ檢舉處罰ヲ受ケタルモノ一再

其ノ他參考事項
ナラズ
一、幹事長以下會員ハ概ネ管下在住ノ博徒(自稱俠客ト稱スル連中)ナリ